



ロケーション インテリジェンス

# Spectrum™ Technology Platform

バージョン 2019.1.0

Global Geocoding モジュール ガイド



# 目次

## 1 - はじめに

---

はじめに	5
Global Geocoding モジュール ワークフロー	5
GCM および GGM 用の Enterprise Designer マッピング	7

## 2 - ジオコーディング データ セットの追加

---

Global Geocoding モジュールのデータベース ソースの追加	29
データベース リソース変更後のジオコーディング データフローのリセット	31

## 3 - 入力レコードの作成

---

入力住所に関するガイドライン	34
グローバル ジオコードの入力フィールド	34
グローバル リバース ジオコードの入力フィールド	36
入力レコードのフォーマット	37

## 4 - グローバル ジオコード

---

グローバル ジオコード オプション	39
ジオコーディングでのグローバル デフォルト値	39
国オーバーライドの設定	40
フィルタ	42
マッチングの優先設定	44

ジオコーディングの優先設定	46
データセット オプション	51
戻り値	53
デフォルト リターン フィールド	59
ジオコーディングに使われるデータセット構成 プレビュー	63 65

## 5 - グローバル リバース ジオ コード

---

入力、優先設定、出力フィールド	70
-----------------	----

## 6 - グローバル インタラクティ ブ ジオコード

---

入力、優先設定、および出力フィールド	92
--------------------	----

## 7 - グローバル キー検索

---

入力、優先設定、および出力フィールド	98
--------------------	----

---

付録 A : 国固有の優先設定とフィールド

オーストラリア (AUS)	102
カナダ (CAN)	123
フランス (FRA)	126
ドイツ (DEU)	127
英国 (GBR)	128
ニュージーランド (NZL)	129
ポルトガル (PRT)	131
シンガポール (SGP)	132
スウェーデン (SWE)	133
米国 (USA)	134

## 付録 B : カスタム データセット ビルダ

---

カスタム データセット ビルダ	172
フィーチャ	172
制限事項	172
ソース データの必要条件	173
カスタム データセット ビルダを使用する前に	173
カスタム データセット ビルダのコマンド	174
カスタム データセット の構築	176
Spectrum との統合	176
1 ケ国用の設定ファイルの作成	177
サポートされているすべての国に対応する設定ファイルの作成	179
ジオコーディング設定のカスタマイズ	179
ユーザ定義フィールドへのアクセス方法	187
カスタム データセット ビルダのサポート対象国	187

## 付録 C : 結果コード

---

米国のマッチ コードとロケーション コード	196
グローバル結果コード	223

## 付録 D : ISO 3166-1 国コード

---

国参照一覧と ISO 3166-1 国コード	235
------------------------	-----

# 1 - はじめに

## このセクションの構成

---

はじめに	5
Global Geocoding モジュール ワークフロー	5
GCM および GGM 用の Enterprise Designer マッピング	7

## はじめに

このガイドには、Global Geocoding モジュールの使用法に関する情報が含まれています。Global Geocoding モジュールには、120 を超える国のジオコーディングサポートが組み込まれており、次のステージが含まれています。

- **ジオコード サービス**: 入力住所を使用してフォワード ジオコーディングを実行し、位置情報などの情報を返します。
- **リバース ジオコード サービス**: 入力座標値を使用してリバース ジオコーディングを実行し、そのポイントに最も適切に一致する住所情報を返します。
- **インタラクティブ ジオコード サービス**: 入力中に入力内容に応じて住所や場所の名前の候補を返します。
- **キー検索サービス**: ユニーク キーが指定された場合に、ジオコーディングされた候補を返します。キーは住所に対してユニークなので、住所でマッチングを行うよりも効率的です。Global Geocoding モジュール は米国のデータに対しては pbKey™ ユニーク ID を、オーストラリアのデータに対しては G-NAF をサポートします。

Global Geocoding モジュール は Spectrum™ Technology Platform モジュールとして提供され、他のコンポーネントと同様にステージに組み込むことができます。Spectrum™ Technology Platform が先にインストールされている必要があります。

これらのステージには、ジオコーディングデータセットリソース、検索およびマッチング条件、その他の優先設定をグラフィカル インターフェイスで制御できるオプションがあります。

Global Geocoding モジュールのインストールと展開が終わったら、Management Console を使用して各機能をひとつお試し、返される候補を確認してください。Enterprise Designer で GGM ステージをデータフローに含めることもできます。

追加の機能や優先設定は、REST API を介して使用できます。[グローバル ジオコーディング API の概要](#) を参照してください。

## Global Geocoding モジュール ワークフロー

以下の手順は、Spectrum™ Technology Platform で Global Geocoding モジュールのインストール、セットアップ、実装を行うための抽象レベルの高いワークフローを示しています。Management Console を使用して、データセットを追加および設定し、グローバル ジオコーディング データフ

ローに適用されるデフォルト設定とオーバーライドを作成します。Enterprise Designer を使用して、実際のデータフローを作成および編集します。

あらかじめ、インストールに付属するリリースノートに目を通しておいてください。

1. Spectrum™ Technology Platform および Global Geocoding モジュール を先にインストールしておく必要があります。手順については、使用するプラットフォーム向けの『*Spectrum™ Technology Platform インストール ガイド*』を参照してください。
2. Web ブラウザで Management Console にアクセスするには、次の URL にアクセスします。

`http://server.port/managementconsole`

ここで `server` は、Spectrum™ Technology Platform サーバーの名前または IP アドレスで、`port` は Spectrum™ Technology Platform が使用する HTTP ポートです。デフォルトの HTTP ポートは 8080 です。

3. 有効なユーザ名とパスワードを入力します。

管理ユーザ名は "admin" で、そのデフォルトのパスワードは "admin" です。

**重要:** システムに対して不正な管理者アクセスが行われることを回避するために、Spectrum™ Technology Platform をインストールした後すぐに admin パスワードを変更してください。

4. Enterprise Designer クライアント ツールをインストールします。これは、Windows アプリケーションです。
  - a) Enterprise Designer をダウンロードするには、ブラウザに Spectrum サーバーとポート番号を入力し、ログインします。例: `myserver:8080`。  
Spectrum™ Technology Platform ホーム ページが開きます。
  - b) Enterprise Designer のインストーラを取得するには、**[プラットフォーム クライアント ツール]** > **[デスクトップ]** を選択します。このページに記載されている手順に従って、これらのツールをダウンロードしてインストールします。

この他に、Job Executor、Process Executor、管理ユーティリティなど、スクリプトの作成やタスクの自動化に便利なオプションのコマンドライン ツールもあります。コマンドライン ツールをダウンロードするには、Spectrum™ Technology Platform ホーム ページで **[プラットフォーム クライアント ツール]** > **[コマンドライン]** を選択します。

5. ジオコーディング データセットをダウンロードし、インストールします。手順については、使用するプラットフォーム向けの『*Spectrum™ Technology Platform インストール ガイド*』を参照してください。
6. Management Console で Spectrum データベース リソースを使って、ジオコーディング データセットをデータベース リソースとして追加します。手順については、「[Global Geocoding モジュールのデータベース リソースの追加 \(29ページ\)](#)」を参照してください。
7. Management Console のすべてのグローバル ジオコード ステージのデフォルト値、オーバーライド、データセット オプションを入力します。

グローバル デフォルト値、オーバーライド、データセット設定オプションにより、各データフローを必要に応じてカスタマイズできます。Management Console にあるこれらの設定とオーバーライドは、Enterprise Designer で作成するすべてのグローバル ジオコーディング データフローに適用されます。これらの設定は Enterprise Designer でもオーバーライドできます。

GeoComplete モジュールから Global Geocoding モジュールに移行するユーザは、「[GCM および GGM の Enterprise Designer マッピング](#)」を参照してください。

8. ステージで使用する入力レコードを作成します。入力フィールドと入力レコードのフォーマット要件については、各ステージのセクションを参照してください。
9. Enterprise Designer でジオコーディング データフローを作成します。データフローは、ソースからデータを受け取り、そのデータを処理し、デスティネーションに出力を書き込むという一連の操作です。Enterprise Designer の使い方とデータフローのセットアップ方法の詳細については、『*Spectrum™ Technology Platform Dataflow Designer ガイド*』を参照してください。
10. それぞれの Global Geocoding モジュール ステージには、検索、マッチング、ジオコーディングを行ったり、Management Console で作成したデフォルト設定やオーバーライドよりも優先される戻り値を設定したりするための Enterprise Designer のオプションがあります。詳細については、各ステージのセクションを参照してください。
11. データフローを保存して実行します。
  - 各ステージの入力、優先設定、出力については次を参照してください。ジオコーディング「[入力、優先設定、および出力フィールド](#)」、リバース ジオコーディング「[入力、優先設定、出力フィールド \(70ページ\)](#)」、インタラクティブ「[入力、優先設定、および出力フィールド \(92ページ\)](#)」、グローバル キー検索「[入力、優先設定、および出力フィールド \(98ページ\)](#)」

## GCM および GGM 用の Enterprise Designer マッピング

GeoComplete モジュールが非推奨となり、製品から削除されました。同じ機能は Global Geocoding モジュールで使用できます。GCM のデータフローがある場合は、以下の入力住所および優先設定に関する表を参照して、GGM への移行を行ってください。

表 1: 入力住所マッピング

GeoComplete モジュール	Global Geocoding モジュール	説明
AddressLine1	MainAddressLine	単一行入力住所
StateProvince	AreaName1	州または省
City	AreaName3	検索する都市。AddressLine1 と組み合わせることによって、ターゲット エリア内の候補を返します。
PostalCode	PostCode1	郵便番号
Country	Country	3桁のISO国コードまたは国の名前。すべての国を対象とした検索を行うためのダイレクトマッピングはGGMにはありません。
OriginLatitude	OriginX	X座標の原点
OriginLongitude	OriginY	Y座標の原点

表 2: 優先設定マッピング

GeoComplete モジュール	Global Geocoding モジュール	説明
ファジー マッチ設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Hard_Match</li> <li>• Soft_Match</li> <li>• なし (デフォルト)</li> </ul>	マッチ モード <ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準 (デフォルト)</li> <li>• 閉じる</li> <li>• 緩和</li> </ul>	実行するマッピングのタイプ



## GeoComplete モジュール

## Global Geocoding モジュール

## 説明

### 検索タイプ

- 住所をジオコンプリート
- POI をジオコンプリート
- ジオコンプリートのカテゴリ
- すべてジオコンプリート (デフォルト)
- 最も近い POI を検索

### 検索タイプ

- 住所 (デフォルト)
- ALL
- POI (ポイント情報)
- POI (ポイント情報) カテゴリ

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

実行する検索のタイプ候補を検索して返すにはライセンスを持つインスタトル済みのIPデータが必要

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

---

です  
最も近い  
IP  
を検索は  
MGG  
ではサポートされていません

---

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

---

未サポート

管理エリア検索

検索を制限する管理上の境界郵便番号エリアなど。これはオプションです。

---

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

住所番号の一致

住所番号の一致

住所番号に対する一致  
これはオプションです

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

---

検索距離

検索距離

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

---

与えられた原点から候補を検索する距離(半径)を指定します。この距離は検索距離の制限にも使用さ

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

れ  
ま  
す

検索中心点からの距離

検索距離テキスト ボックス

Y X  
検索  
中心  
点か  
らの  
最大  
距離  
で指  
定す  
る検  
索エ  
リア  
範囲

距離単位

- キロメートル
- マイル
- メートル
- フィート

距離単位の選択リスト

- フィート
- キロメートル
- メートル
- マイル

検  
索  
距  
離  
の  
距  
離  
単  
位



## GeoComplete モジュール

## Global Geocoding モジュール

## 説明

座標系

座標系

使用する座標系現在 ~~WGS~~ がサポートされています

制約なし (検索)

追加/ユーザ データベース制約

- すべてのデータセットを検索 (デフォルト)
- 住所データセットを検索
- ユーザ データセットのみを検索する

データセット検索

## GeoComplete モジュール

## Global Geocoding モジュール

## 説明

## データベースの優先設定

- 両方の辞書を使用 (デフォルト)
- ユーザ辞書のみを使用
- 標準辞書のみを使用
- ユーザ辞書を優先
- 標準辞書を優先

## データセット マッチの優先設定

- 優先設定なし (デフォルト)
- 住所辞書の一致を優先
- ユーザ辞書の一致を優先

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

追加ユザデータベース制約がすべてのデータセットを検索するに設定されている場合は各国の標準住所辞

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

書またはユザ辞書を優先するように設定できます。

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

---

インストールされているデータベース リソースを並べ替 未サポート  
え

データセットの検索順序デフォルト設定は読み込まれた順序です

GeoComplete モジュール

Global Geocoding モジュール

説明

未サポート

すべての使用可能な情報を返す

候補に関して使用可能なすべての情報を返します。これはオプションです。

## GeoComplete モジュール

## Global Geocoding モジュール

## 説明

最大候補数

**MaxResults** が返ります  
デフォルトは 5 です。

返す候補の最大数  
1 ( ~ )  
。 または許容される最大数の候補  
を返す場合は 1 - を指定します

## GeoComplete モジュール

## Global Geocoding モジュール

## 説明

---

境界ボックス内

優先設定としてはサポートされていません。入力フィールドとしての **OriginX**、**OriginY** を参照してください。

検索を境界ボックスの座標に限定します。

---

右上経度フィールド

優先設定としてはサポートされていません。入力フィールドとしての **OriginX**、**OriginY** を参照してください。

境界ボックスの東側の境界を表す座標

---



## GeoComplete モジュール

## Global Geocoding モジュール

## 説明

---

左下経度フィールド

優先設定としてはサポートされていません。入力フィールドとしての OriginX、OriginY を参照してください。

境界ボックスの北側の境界を表す座標

---

右上緯度フィールド

優先設定としてはサポートされていません。入力フィールドとしての OriginX、OriginY を参照してください。

境界ボックスの南側の境界を表す座標

---

## GeoComplete モジュール

## Global Geocoding モジュール

## 説明

---

左下緯度フィールド

優先設定としてはサポートされていません。入力フィールドとしての OriginX、OriginY を参照してください。

境界ボックスの西側の境界を表す座標

---

GeoComplete モジュール	Global Geocoding モジュール	説明
ロケール	未サポート	MGGの最も近いIPを探索]索で有効ですこの機能はMGGではサポートされていません

# 2 - ジオコーディング データセットの追加

## このセクションの構成

---




Global Geocoding モジュールのデータベース リソースの追加	29
データベース リソース変更後のジオコーディング データフローのリセット	31

## Global Geocoding モジュールのデータベース リソースの追加

新しいデータベース リソースをインストール、または既存のデータベース リソースを変更するたびに、**Management Console** で定義して、システム上で使用できるようにする必要があります。以下では、**Global Geocoding** モジュールのデータベース リソースを追加または変更する手順について説明します。

- 複数のデータベース リソースを設定する前に、**GGM** の **REST API** を使用しているアプリケーションがないかどうかを確認します。該当のデータベース名を含めるように **REST API** コールを変更して、新しいデータベース リソースと矛盾しないようにする必要があります。
- この機能を使用する際に、既存のデータ フローがある場合、データ フローのすべてのデータベース リソースを確認して更新してください。ない場合は、データ フローのデータベース リソースを変更する必要はありません。

注：下位互換性という点では、古いフローをインポートすると、2019.1 で作成された最新のデータベースのデフォルト値が設定されます。

1. そのようなインポートを行っていない場合は、コマンドライン インターフェイス (CLI) コマンドを使用して、データセット ファイルをシステムにインストールしてください。データベースのインストール手順については、『**Spectrum™ Technology Platform インストールガイド**』を参照してください。
2. **Management Console** で、**[リソース]** の下の **[Spectrum データベース]** を選択します。
3. 新しいデータベース リソースを作成する場合は、追加ボタン  をクリックします。既存のデータベース リソースを変更する場合は、それを選択してから編集ボタン  をクリックします。データベース リソースを削除する場合は、それを選択してから削除ボタン  をクリックします。

注：Global Geocoding データベース リソースは、コピーして、インストールされている別のモジュールで使用することができます。ただし、Global Geocoding モジュールは1つしかデータベース リソースを持つことができないため、これに対してデータベース リソースをコピーすることはできません。

4. 新しいデータベース リソースを作成する場合は、**[データベースの追加]** ページで、データベース リソースの名前を **[名前]** フィールドに入力します。
5. **[プールサイズ]** フィールドで、このデータベースで処理する同時要求の最大数を指定します。

最適なプールサイズはモジュールによって異なります。一般的には、サーバーが搭載する CPU の数の半分から 2 倍のプールサイズを設定すると、最適な結果が得られます。ほとんどのモジュールに最適なプールサイズは CPU 数と同数です。例えば、サーバーが 4 つの CPU を搭載している場合は、プールサイズを 2 (CPU 数の半分) ~ 8 (CPU 数の 2 倍) の間で試すことができ、多くの場合、最適なサイズは 4 (CPU 数と同数) です。


ヒント：さまざまな設定でパフォーマンステストを行って、環境にとって最適なプールサイズと実行時インスタンスの設定を特定してください。

6. **[モジュール]** フィールドで [GlobalGeocode] を選択します。**[タイプ]** フィールドで、表示されたデフォルトの [Global Geocode データセット] を使用します。

.SPD ファイルを展開して \server\app\dataimport フォルダに配置した場合、Spectrum はこれらのファイルを自動的に \repository\datastorage フォルダに追加します。[データベースの追加] 画面にデータセットのリストが表示されます。

7. データベースにリソースとして追加するデータセットを選択します。長いリストからデータセットを検索するには、[フィルタ] テキスト ボックスを使用します。

8. データベースを保存します。

9. ジオコーディングで照合するカスタム辞書がある場合は、追加ボタン  をクリックし、辞書の名前、国、およびパスを指定します。追加ボタンは、標準データベースへのデータセットの追加に使用しないでください。

カスタムデータベースとは、ジオコーディングに使用可能な住所および緯度/経度座標を含むユーザ定義のデータベースです。

注：カスタム辞書の設定およびジオコードを行うためには、ライセンスのある標準データベースがシステムになければなりません。

10. 起動中の Enterprise Designer セッションがある場合は、[更新] ボタンをクリックすると、新しいステージが表示されます。

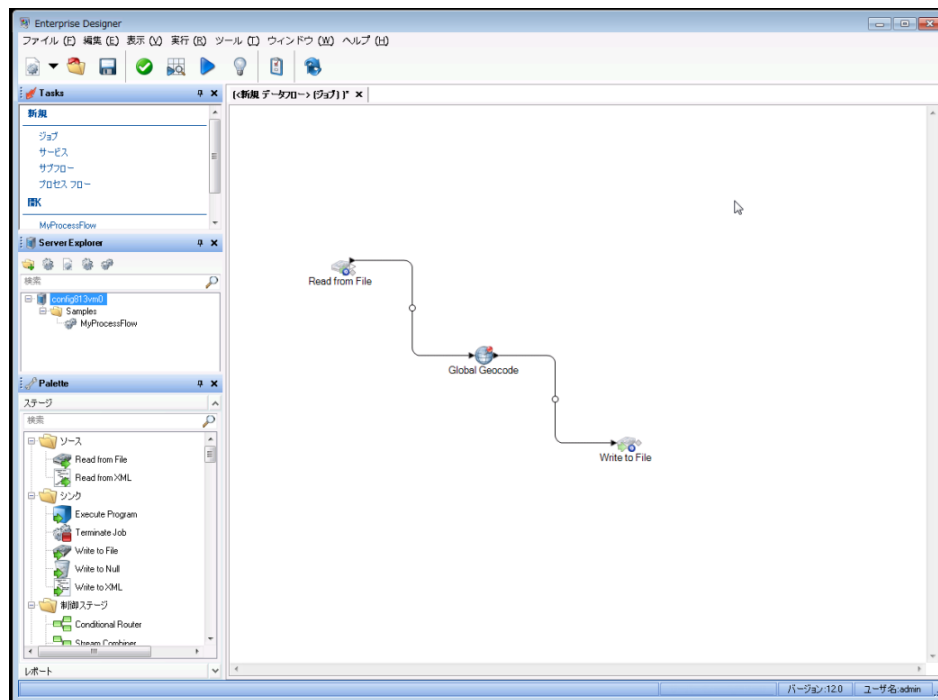
注：リソース不足でデータベースを設定できない場合は、Java 仮想マシン (JVM) の初期ヒープサイズ (Xms) の拡大、および最大ヒープサイズ (Xmx) の追加が java.vargs ファイルで必要になる可能性があります。このファイルは、

SpectrumDirectory\server\modules\GlobalGeocode フォルダにあります。ここで、SpectrumDirectory は Spectrum のインストール ディレクトリです。

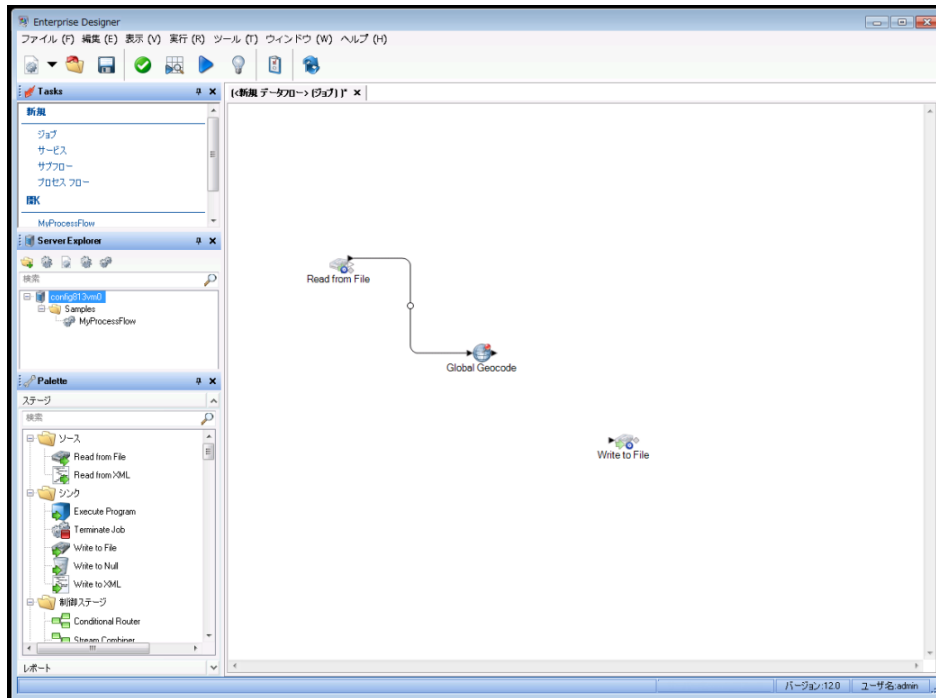
## データベース リソース変更後のジオコーディング データフローのリセット

確立されているデータフローがあり、その後、ジオコーディング データセットの追加または削除によってデータベース リソースを変更した場合は、Enterprise Designer を終了して再起動するか、データフローをリセットするために次の手順を実行する必要があります。

1. Enterprise Designer のジオコーディング データフローで、グローバル ジオコードまたはグローバル リバース ジオコード ステージと出力ステージとの間の出力ポート チャンネルを選択します。次の例では、これがファイルに書きこみ ステージになっています。



2. チャンネルを削除します。



3. グローバル ジオコードまたはグローバル リバース ジオコード ステージ上の出力ポートを出力ステージに再接続します。
4. データフローを保存します。  
データフローはリセットされ、設定および実行する準備が整います。



# 3 - 入力レコードの作成

## このセクションの構成

---

入力住所に関するガイドライン	34
グローバル ジオコードの入力フィールド	34
グローバル リバース ジオコードの入力フィールド	36
入力レコードのフォーマット	37

## 入力住所に関するガイドライン

最適なパフォーマンスを得るために、住所に関する以下のガイドラインに従ってください。

- できる限り完全で正確な住所を入力します。入力住所に誤りがあっても、**Global Geocoding** モジュールはその住所をジオコーディングできる場合がありますが、複数の一致候補が得られる可能性が生じます。
- 郵便番号がわかる場合は、それを入力住所に含めます。これは必須ではありませんが、郵便番号があれば、**Global Geocoding** モジュールは郵便番号ジオコーディングを実行できます。これによって、国や、他の住所コンポーネントの完全性と精度にも依存しますが、一部の住所に対してより正確な結果が得られる場合があります。
- 入力住所を一貫した形式でフォーマットします。**Global Geocoding** モジュールは、多様なフォーマットの入力住所を処理でき、また、フォーマットされていない(単一行の)入力も処理できます。しかし、入力住所が一貫した形式でフォーマットされており、国固有の住所規約に従っているならば、より正確かつ高速に結果を得ることができます。住所が単一行に入力されている(フォーマットされていない)場合でも、住所コンポーネントが一貫した順序で並んでいれば、より良い結果とパフォーマンスが得られる可能性があります。
- 国に特有の詳細な住所ガイドラインについては、[付録 A - 国固有の情報](#)を参照してください。

## グローバル ジオコードの入力フィールド

以下の表は、ジオコーディング入力フィールドを定義したものです。

フィールド名	タイプ	説明
--------	-----	----

注：次の住所要素の意味、有効値、サポートの有無は、国によって異なります。

- placeName
- mainAddress
- lastLine
- areaName1
- areaName2
- areaName3
- areaName4
- postCode1
- postCode2
- country

各国に固有の情報を確認することが重要です。各国の情報については、付録にある[国固有の情報](#)セクションを参照してください。

placeName	文字列	<p>入力住所に関連する建物名、場所名、POI (ポイント情報)、会社または企業名。これはオプションです。例:</p> <p><b>Pitney Bowes</b> 4750 Walnut St. Boulder, CO 80301</p>
<b>POST:</b> mainAddressLine <b>GET:</b> mainAddress	文字列	<p><b>単一行入力</b> — 他のフィールドが全く入力されていない場合、mainAddress の内容は単一行入力として処理され、複数の住所フィールド要素をまとめて入力することができます。住所フィールドの入力順序は、その国の通常の住所書式に従う必要があります。これはオプションです。例:</p> <p><b>4750 Walnut St., Boulder CO, 80301</b></p> <p><b>複数行入力</b> 住所フィールド (placeName、lastLine、postalCode など) が個別に入力されている場合、このフィールドの内容は通り住所として処理され、会社名、家番号、建物名、および通り名を含めることができます。これはオプションです。</p> <p><b>交差点の入力</b>—交差点を入力するには、2 個のアンパサンド (&amp;&amp;) で区切られた 2 つの通り名を指定します。</p>
<b>POST:</b> addressLastLine <b>GET:</b> lastLine	文字列	住所の最終行。これはオプションです。

フィールド名	タイプ	説明
areaName1	文字列	最大の地理的エリアを指定します。通常は、州または省です。これはオプションです。
areaName2	文字列	二次的な地理的エリアを指定します。通常は、郡または地区です。これはオプションです。
areaName3	文字列	都市または町の名前を指定します。これはオプションです。
areaName4	文字列	都市の下位区分、または地方を指定します。これはオプションです。
<b>POST:</b> postCode1 <b>GET:</b> postalCode	文字列	各国の標準フォーマットで表記された郵便番号。これはオプションです。
<b>POST:</b> postCode2	文字列	各国の標準フォーマットで表記された郵便番号。これはオプションです。
country	文字列	ISO 3166-1 Alpha-3 国コード。必須国コードについては、 <a href="#">国参照一覧</a> と <a href="#">ISO 3166-1 国コード</a> (235ページ) を参照してください。

## グローバル リバース ジオコードの入力フィールド

以下の表は、リバース ジオコーディング入力フィールドを定義したものです。

フィールド名	タイプ	説明
x	Double	緯度 (単位: 度)。必須例: -79.391165
y	Double	経度 (単位: 度)。必須例: 43.643469
country	String	3文字の ISO 国コード。例: CAN。これはオプションです。ISO コードの一覧は、 <a href="#">国参照一覧</a> と <a href="#">ISO 3166-1 国コード</a> (235ページ) を参照してください。

## 入力レコードのフォーマット

Enterprise Designer では、使用中のデータフローのタイプで許容される入力ファイルフォーマットが指定されます。通常、データフローは入力レコードの読み込みをテキスト、データベース、または XML ファイルのいずれかとして行います。これらの入力ファイルタイプのそれぞれに特定のフォーマット要件があります。詳細については、『*Spectrum™ Technology Platform* データフロー デザイナーズ ガイド』を参照してください。例えば、入力テキスト ファイルについては、許可されるレコードタイプ、文字エンコーディング、フィールド区切り文字などをこのガイドで取り上げています。

以下に、入力レコード テキスト ファイルの 2 つの例を示します。これらの入力レコードの例には、オプションのヘッダー行や、オプションの入力フィールドが含まれています。

### ジオコーディング入力レコードの例

次の図に、米国の住所が記されているテキスト入力レコード ファイルの例を示します。

```
mainAddress;areaName3;areaName1;postalCode;country
26 EDISON DR;NISKAYUNA;NY;12309;USA
92 MCCRACKEN RD;MILLBURY;MA;01527;USA
22 CARRIAGE LN;NEWARK;DE;19711;USA
8 HARBOR VIEW RD; S BURLINGTON;VT;05403;USA
124 VERNON RD;GREENVILLE;PA;16125;USA
31 FORD ST;MAUMEE;OH;43537;USA
155 WINTER ST;S WALPOLE;MA;02071;USA
```

### リバーズ ジオコーディング入力レコードの例

次の図に、入力座標が記されているテキスト入力レコード ファイルの例を示します。

```
X|Y|Country
-72.672229|42.076406|USA
-82.436915|34.870463|USA
-95.7849|42.1603|USA
-113.532|53.5421|CAN
-71.2577|46.8461|CAN
-115.423|32.6561|MEX
```

# 4 - グローバル ジオコード

## このセクションの構成

---

グローバル ジオコード オプション	39
ジオコーディングでのグローバル デフォルト値	39
国オーバーライドの設定	40
フィルタ	42
マッチングの優先設定	44
ジオコーディングの優先設定	46
データセット オプション	51
戻り値	53
デフォルト リターン フィールド	59
ジオコーディングに使われるデータセット構成	63
プレビュー	65

## グローバル ジオコード オプション

Global Geocoding モジュール は入力住所を受け取り、ロケーション データやその他の情報を返します。マッチングおよびジオコーディング条件、戻り値、その他の優先設定を制御できるオプションを使用できます。

## ジオコーディングでのグローバル デフォルト値

グローバル デフォルト値の設定は Management Console と Enterprise Designer の両方で行うことができます。Management Console でオプションを設定するときに保存した設定は、Global Geocode ステージを使用するすべてのデータフローに適用されます。Enterprise Designer でオプションを設定する場合は、Global Geocode ステージの特定のインスタンスに設定が適用されません。

## Management Console でのグローバル デフォルトの設定

### グローバル デフォルト値の入力

次に説明する手順は、Management Console でグローバル デフォルト値を入力する方法です。多くの場合、グローバル デフォルト値を入力することは、既存のデフォルト値をそのまま使用することです。

1. [サービス] タブで、[GlobalGeocode] を選択します。
2. リストから [Global Geocode] ステージを選択します。
3. [Country Filter (国フィルタ)] ドロップダウンで [Global Defaults (グローバル デフォルト)] を選択します。
4. グローバル デフォルトを入力するタブをクリックします。

選択したタブによっては、いくつかの設定があり、選択したり有効化することができます。ドロップダウン コントロールでは複数のオプションを選択でき、チェックボックスを使用すると、別のオプションを有効化できます。また、値を手動で入力できるフィールドもいくつかあります。複数のオプションについて国固有のオーバーライドを作成することもできます。詳細については、「[国オーバーライドの設定 \(40ページ\)](#)」を参照してください。

5. [保存] をクリックします。



## Enterprise Designer でのグローバル デフォルトの設定

### グローバル デフォルト値の入力

次に説明する手順は、Enterprise Designer でグローバル デフォルト値を入力する方法です。多くの場合、グローバル デフォルト値を入力することは、既存のデフォルト値をそのまま使用することです。Enterprise Designer で設定するすべてのオプションは、Global Geocoding ステージの 1 つのインスタンスに特有のものであり、Management Console で行われた設定をオーバーライドすることに注意してください。

1. Enterprise Designer を起動します。
2. **[Tasks (タスク)]** パネルで、作成する新しいタイプのデータフローを選択します。また、既存のデータフローを開いて、変更することもできます。
3. **[Palette (パレット)]** パネルの **[Stages (ステージ)]** リストで、**[Global Geocode (グローバル ジオコード)]** ステージアイコンを選択し、**[New Dataflow (新しいデータフロー)]** パネルにドラッグします。
4. そのステージアイコンをダブルクリックして、**[Global Geocode Options (グローバル ジオコードのオプション)]** ウィンドウを開きます。
5. **[Filters (フィルタ)]** パネルで **[Global Defaults (グローバル デフォルト)]** をクリックします。
6. グローバル デフォルトを入力するカテゴリを開くために、矢印をクリックします。

選択したカテゴリによっては、いくつかの設定があり、選択したり有効化することができます。ドロップダウン コントロールでは複数のオプションを選択でき、チェックボックスを使用すると、別のオプションを有効化できます。また、値を手動で入力できるフィールドもいくつかあります。

7. 選択が終わったら、**[OK]**  ボタンをクリックし、**[保存]**  ボタンをクリックしてデータフローを保存します。

## 国オーバーライドの設定

グローバル ジオコーディングの値を設定するとき、いくつかのグローバル デフォルト値を国単位でオーバーライドすることができます。Management Console で設定したオーバーライドは、基本的な設定であり Enterprise Designer で Global Geocoding ステージを使用するすべてのデータフローへの適用に 使用します。

注：このオーバーライドの機能は、Management Console によってのみ使用できます。Enterprise Designer ではサポートされていません。



## Management Console での国オーバーライドの設定

### 国オーバーライドの入力

以下の手順では、国固有のオーバーライドを入力、表示、および削除する方法を説明します。

1. **[サービス]** タブで、**[Global Geocode]** を選択します。
2. **Global GeoCode** モジュールで、リストから **[Global Geocode]** ステージを選択します。
3. **[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで **[Global Defaults (グローバル デフォルト)]** を選択します。
4. 国オーバーライドを作成するタブをクリックします。
5. オーバーライドを作成するオプションの横にある **[追加] +** アイコンをクリックします。

**[Override Value (オーバーライド値)]** ポップアップが表示されます。

6. このポップアップで、**[追加] +** アイコンをクリックして、オーバーライドを追加します。

ドロップダウンが表示され、このオプションの **[国]** 列にある **[追加] +** アイコンが、数字を強調表示した **1** アイコンに変わります。これは、そのオプションに1つオーバーライドがあることを示しています。オーバードライブは、データセットで利用可能なすべて国に対して作成できます。数字のアイコンは、オーバーライドを追加するごとに数字が増やされます。

7. ドロップダウンで、オーバーライドを作成する国を選択します。
8. チェックボックスをオンにして、オーバーライドを有効化します。
9. ポップアップを閉じるには、グレーの **[閉じる] ✕** アイコンをクリックします。
10. **[保存]** をクリックします。

### すべての国オーバーライドの表示

1. **[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで **[Overrides (オーバーライド)]** を選択します。
2. オーバーライドを表示するタブをクリックします。

そのタブに、オプションのすべてのオーバーライドが初期のグローバル設定とともに表示されます。初期のグローバル設定では、**[Country (国)]** 列に **[ALL (すべて)]** が設定されています。さらにこのオプションに関連付けられたオーバーライドの数を示す数字が強調表示されたアイコン **1** が表示されます。デフォルトのグローバル設定の下に、各オーバーライドが一覧表示され、**[Country (国)]** 列には対応する国コードが表示されます。**[国]** 列の横に、赤い **[削除] ✕** アイコンも表示されます。**[Setting (設定)]** 列に各オーバーライドのチェックボックスが表示され、オーバーライドが有効かどうかを示されます。

### 国オーバーライドを国別に表示

1. **[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで、オーバーライドを表示する国を選択します。
2. オーバーライドを表示するタブをクリックします。

初期のグローバル設定に加えて、選択した国固有のオーバーライドが表示されます。初期のグローバル設定では、**[Country (国)]** 列に **[ALL (すべて)]** が設定されています。さらにこのオプションに関連付けられたオーバーライドの合計数を示す数字が強調表示されたアイコン **②** が表示されます。デフォルトのグローバル設定の下に、国固有のオーバーライドが一覧表示され、**[Country (国)]** 列には対応する国コードが表示されます。**[国]** 列の横に、赤い **[削除] ✕** アイコンも表示されます。**[Setting (設定)]** 列に各オーバーライドのチェックボックスが表示され、オーバーライドが有効かどうかが表示されます。

### 国オーバーライドの削除

1. **[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで、オーバーライドを削除する国を選択します。
2. 国オーバーライドを削除するタブをクリックします。

国固有のオーバーライドがその横の赤い **[削除] ✕** アイコンとともに表示されます。

3. 削除するオーバーライドの削除アイコンをクリックします。  
オーバーライドがリストから消えて、強調表示された数字の数が減ります。
4. **[保存]** をクリックします。

## フィルタ

フィルタはオプションと設定の表示を制御します。

### Management Console でのフィルタ

**[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウン内のオプションは、タブでのオプションおよび設定の表示をフィルタします。

### グローバル デフォルト

**[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウン内の **[グローバル デフォルト]** を選択すると、タブにはすべての国に共通のオプションが表示されます。グローバルデフォルトオプションを変更した場合、特定の国へのオーバーライドを入力しない限り選択内容はすべての国に適用されます。

オーバーライドは、ジオコーディング データセットがインストールされていて、カスタム オプションや戻り値を持つ特定の国に設定することができます。ほとんどの国はグローバル デフォルトによって処理されます。

### オーバーライド

**[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで **[Overrides (オーバーライド)]** を選択すると、入力したすべてのオーバーライドを確認できます。

### 国の一覧

ここでは、ジオコーディング データセットがインストールされていて、国固有の追加のマッチング オプションや戻り値を持つ国の一覧が示されます。国を選択すると、その国固有のオプションや戻り値がタブに表示されます。ほとんどの国はグローバル デフォルトによって処理されます。

## Enterprise Designer でのフィルタ

**[フィルタ]** パネル内のオプションは、右側のパネルでのオプションおよび設定の表示をフィルタします。

### グローバル デフォルト

**[フィルタ]** パネル内の **[グローバル デフォルト]** をクリックすると、右側のパネルにはすべての国に共通のオプションが表示されます。

グローバルデフォルトオプションを変更した場合、選択内容はすべての国に適用され、国ごとには変更できません。その後、ある国を選択してそのオプションを表示した場合、変更されたグローバル デフォルト オプションは GUI で非アクティブになります。

このケースの例外は、米国の **[マッチ モード]** 設定です。すべての国に適用されるグローバル デフォルトとしてマッチモードを設定できます。その後、米国については、グローバルデフォルトのマッチモードを使用することも、米国用の2つの追加マッチモード オプション (**[CASS]** および **[インタラクティブ]** マッチモード) を選択することもできます。これらのマッチモードの詳細については、「」を参照してください。

## 国の一覧

ジオコーディングデータセットがインストールされていて、カスタム オプションや戻り値を持つ国の一覧を示します。国をクリックすると、選択された国のカスタム オプションや戻り値が右側のパネルに表示されます。ほとんどの国はグローバル デフォルトによって処理されます。

## マッチングの優先設定

マッチ条件および制約の設定により、必要に応じてマッチングの基準を厳しくしたり緩めたりできるようにする場合に使用する優先設定です。以降のセクションでは、すべての国で使用可能な、マッチングの[グローバル デフォルト](#) オプションについて説明します。国固有の優先設定については、一部の国々に適用される[カスタム優先設定およびフィールド](#)を参照してください。

Management Console でのグローバル デフォルト値の設定手順については、[Management Console でのグローバル デフォルトの設定](#) (39ページ) を参照してください。

Enterprise Designer でのグローバル デフォルト値の設定手順については、[Enterprise Designer でのグローバル デフォルトの設定](#) (40ページ) を参照してください。

Management Console では、国単位で、マッチングのグローバル デフォルトにオーバーライドを追加できます。オーバーライドを設定して有効にすると、Global Geocoding ステージを使用するすべてのデータフローに適用されます。この機能は、Enterprise Designer ではサポートされていません。詳細については、[国オーバーライドの設定](#) (40ページ) を参照してください。

## マッチングの優先設定

優先設定	説明
マッチ モード	マッチ モードにより、入力住所と参照データとの間のマッチングに適用される柔軟性が決まります。入力と求める出力の品質に応じて、マッチ モードを選択します。以下のマッチ モードがあります。
<b>標準</b>	近似一致が求められ、適度な数の一致候補が生成されます。デフォルト
<b>完全一致</b>	非常に厳格な一致を要求します。一致候補の数が最小となる制限の厳しいモードです。処理時間は短くなります。このモードを使用する際には、入りに綴りの間違いや不完全な住所などの問題がないことを確認してください。
<b>緩和</b>	あいまいな一致を許し、生成される一致候補数は最も多くなります。処理時間は長くなりますが、結果としてより多くの一致が得られます。入りに綴りの間違いや不完全な住所などの問題がないと確信できない場合は、このモードを使用します。
<b>カスタム</b>	【カスタム モードの必須一致フィールド】の設定により、マッチング条件を定義できます。

米国には次の追加マッチ モードがあります。これらは、グローバル デフォルト オプションが上記のマッチ モードのいずれかに設定されている場合でもオプションとして使用できます。

**インタラクティブ** 単一行住所マッチングに対してのみ使用可能です。このモードは、インタラクティブ マッチングにおける特定のマッチング問題に適切に対処することを目的に設計されています。インタラクティブ モードでは、より柔軟なマッチングパターンが可能で、緩和検索モードよりも多くの一致候補が返される場合もあります。

**CASS** USPS CASS 規格を確実に遵守するために追加ルールを適用します。このマッチ モードの目的は、USPS の料金割引を受けるために、配達可能な住所を作成することです。郵送用に入力を正規化する場合にこのモードを使用します。このモードでは、多数の一致候補が生成されます。

## 優先設定

## 説明

カスタムモードの必須一致フィールド これらのオプションは、マッチ候補を決定するためのマッチ条件を設定します。これらのオプションを有効にするには、**[マッチモード]**を**[カスタム]**に設定する必要があります。デフォルトでは、これらのオプションは無効です。

注：米国の場合、カスタムモードの必須一致フィールドは、単一行処理に使用できません。

Management Console では、これらのオプションに国固有のオーバーライドを作成できます。これは、**[マッチモード]**オーバーライドが**[カスタム]**に設定された国のみに作成できます。

住所番号	入力住所番号が一致する必要があります。
Street	入力通り名、タイプ、方位記号の各フィールドが一致する必要があります。
郵便番号	入力住所郵便番号が一致する必要があります。
都市/町の下位区分	入力住所の都市/町の下位区分が一致する必要があります。  注：このオプションは、米国ではサポートされていません。
都市/町	入力住所の都市/町が一致する必要があります。
州/省の下位区分	入力住所の州/省の下位区分が一致する必要があります。  注：このオプションは、米国ではサポートされていません。
州/省	入力住所の州/省が一致する必要があります。

## ジオコーディングの優先設定

ジオコーディングカテゴリ内の優先設定を使用すると、場所の座標がどのように決定されるかを制御できます。以降のセクションでは、ジオコーディングの**グローバル デフォルト**優先設定 (すべての国で使用できます) と**国固有のジオコーディングオプション** (一部の国にのみ適用されます) について説明します。

### Management Console のグローバル デフォルト

いくつかのグローバルデフォルト オプションには、国ごとにオーバーライドを作成できます。これらのオプションには、[Country (国)] 列の値の横に **+** が表示されます。オーバーライドの作成方法については、「[国オーバーライドの設定 \(40ページ\)](#)」を参照してください。

### Enterprise Designer のグローバル デフォルト

グローバルデフォルト オプションを変更した場合、選択内容はすべての国に適用され、国ごとには変更できません。その後、ある国を選択してそのオプションを表示した場合、変更されたグローバル デフォルト オプションは GUI で非アクティブになります。

優先設定	説明
ジオコードのタイプ	<p>住所のジオコーディングを行う方法は複数あります。以下にジオコーディングタイプを、精度の高いものから低いものへの順に示します。</p> <p>これらのジオコード タイプのサポートは、設定されているジオコーディングデータセット内で使用可能なデータのタイプに依存します。ジオコーディングレベルのサポート情報については、該当する国のセクションを参照してください。</p>
住所	ジオコードは通り住所になります。データとマッチの品質によっては、通り セントロイド、補間された家住所、またはポイント住所になる可能性があります。デフォルト
郵便番号	ジオコードは、郵便番号エリアのセントロイドになります。
地理的レベル	ジオコードは、地理的エリアのセントロイドです (例: 都市、郊外、または村)。



## 優先設定

## 説明

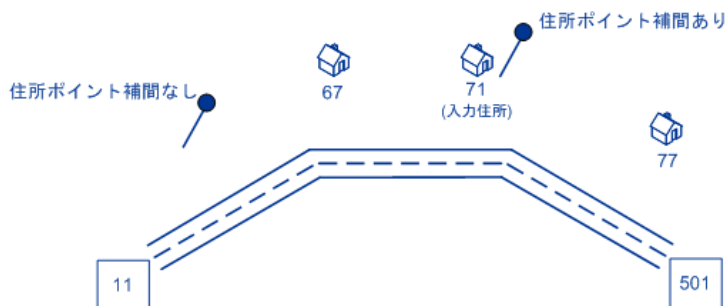
## 住所ポイント補間を使用

住所ポイント補間は、補間ポイントをより正確なものにする特許処理です。通りセグメントだけを使用するのではなく、補間処理でポイント データを使用することにより、通常の通りセグメント補間を向上させます。デフォルトは無効です。

注：住所ポイント補間には、通りレベルとポイントレベルの両方のジオコーディング データセットが必要です。

注：米国の場合、この機能は補助ファイルのポイント住所に使用できません。

次の図に、住所ポイント補間の仕組みを示します。この例では、入力家番号は 71 です。ジオコーディング データベースには、67 と 77 の住所ポイントが含まれています。通りセグメントの範囲は 11 から 501 です。住所ポイント補間を利用した場合、入力家番号 71 は、67 と 77 のポイントを使用して補間されます。住所ポイント補間を利用しない場合、補間は通りセグメントの終点 11 と 501 を使用して実行されるため、結果の精度ははるかに低くなります。



## 郵便番号セントロイドで代替

住所レベルのジオコードが決定できない場合は、ZIP Code (郵便番号) セントロイドを返すことを試みます。デフォルトでは有効です。

注：米国の場合 - [マッチ モード] を CASS に設定している場合、このオプションは無視されます。

## 地理的セントロイドで代替

住所レベルのジオコードが決定できない場合は、地理的エリアのセントロイドを返すことを試みます。ジオコードは、入力に基づいた最も正確な地理的セントロイドを返します。例えば、入力に有効な都市と州が含まれる場合、都市セントロイドが返されます。デフォルトでは有効です。

## 世界ジオコードで代替

国固有のジオコードで住所レベルのジオコードを決定できない場合でも、世界のジオコーディング データが設定されていれば、検索は World Places にフォールバックされます。通常、ジオコードがない国で使用されたり、該当する国のデータが存在しない場合に使用されたりします。デフォルトは無効です。



## 優先設定

## 説明

---

World ジオコードのみ

World ジオコードに対するジオコーディングのみを行います。GGM では1つのデータベースしか設定できないので、すべてのデータをGGMに追加し、この優先設定を使用すると個別の設定を行うことなく世界のデータを実行できて便利です。この優先設定はフォワードジオコーディングでのみ使用可能です。

---

## 優先設定

## 説明

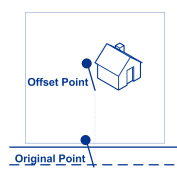
## ポイントの位置付け

## 通りオフセット

通りレベルのジオコーディングに使う通りセグメントからのオフセット距離を指定します。オフセット距離は、ジオコードが通りの中央に位置付けられるのを防ぐために、通りレベルのジオコーディングで使われます。通りレベルのジオコーディングを行うと、住所が位置する通りの中心点の緯度/経度が返されますが、これを補正するのがオフセットです。住所が指し示す建物は通りの真上に建っているわけではないので、路上のポイントに相当する住所のジオコードが返されるのは不都合です。ジオコードは、通りに面して建つ建物の場所を表している必要があります。

例えば、50 フィートのオフセットは、ジオコードが通りの中心から 50 フィート離れた場所を表すことを意味します。距離は、住所の通りセグメントから垂直方向に計算されます。また、オフセットは、通りをはさんで向かい合う住所が同じポイントになるのを防ぐ目的にも使われます。デフォルト値は 7 メートルです。

以下に、オフセット ポイントと元のポイントとの比較図を示します。

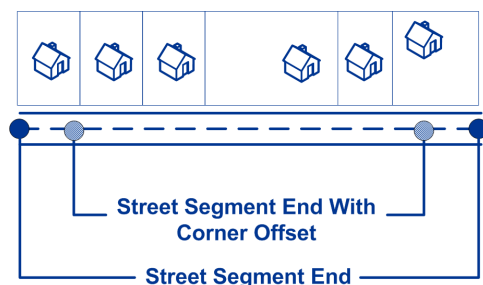


距離単位には、フィートまたはメートルを選択できます。

## コーナー オフセット

通りレベルでのマッチングに使う通りの終端からのオフセットを指定します。この値は、通りの角の住所に交差点と同じジオコードが与えられるのを防ぐために使われます。角に対するジオコード ポイントのオフセット位置を定義します。デフォルト値は 7 メートルです。

以下に、通りの終点とオフセット終点の比較図を示します。



距離単位には、フィートまたはメートルを選択できます。

## データセット オプション

**Enterprise Designer** では、このオプションはデータセットと呼ばれ、カテゴリとして表示されます。**Management Console** では、[Dataset Options (データセット オプション)] というタブです。いずれの場合も、カスタムユーザデータセットと標準住所データセットの両方がインストールされている場合に、検索およびデータセット マッチングの優先設定を設定できます。

オプション名	国のサ ポート	説明
住所/ユーザ データセット制約	すべて	カスタムユーザ辞書と標準住所データセットの両方をサポートしている国については、マッチングにどちらのデータセットを使用するかを指定できます。
	すべてのデータ セットを検索する	インストールされているすべてのユーザ データ セットと標準住所データセットを検索します。こ ちらがデフォルトです。
	住所データセット のみを検索する	カスタム ユーザ データセットと標準データセッ トの両方がインストールされている場合、標準住 所データセットでのみ検索を行います。標準住所 データセットがインストールされていない場合、 この設定は無視されます。
	ユーザデータセッ トのみを検索する	カスタム ユーザ データセットと標準データセッ トの両方がインストールされている場合、カス タム ユーザ データセットでのみ検索を行います。 カスタム ユーザ データセットがインストールさ れていない場合、この設定は無視されます。

オプション名	国のサ ポート	説明
データセット マッチの優先設定	すべて	該当する候補がどちらのタイプのデータセットにも見つかった場合、候補のマッチ結果でどちらのデータセットを優先するかを指定できます。
		<b>優先設定なし</b> データセット マッチのタイプを問わず、最高品質のマッチを返します。こちらがデフォルトです。
		<b>住所データセット マッチを優先する</b> 該当する候補がユーザ データセットと標準データセットの両方に見つかった場合は、標準住所データセットの候補を優先します。ただし、最高品質のマッチ候補は、たとえ優先されていないデータセットから見つかったものであっても返されます。
		<b>ユーザ データセット マッチを優先する</b> 該当する候補がユーザ データセットと標準データセットの両方に見つかった場合は、ユーザ データセットの候補を優先します。ただし、最高品質のマッチ候補は、たとえ優先されていないデータセットから見つかったものであっても返されます。

## 戻り値

戻り値カテゴリでは、一致とともに返すフィールドを選択できます。以降のセクションでは、**グローバル デフォルト**戻り値 (すべての国で使用できます) と**国固有の戻り値** (一部の国にのみ適用されます) について説明します。

Management Console では、いくつかのグローバル デフォルトに国固有のオーバーライドをセットアップできます。これらのオーバーライドのセットアップについては、**国オーバーライドの設定** (40ページ) を参照してください。

### グローバル デフォルト

オプション名	国のサポート	説明
すべての使用可能な情報を返す	すべて	有効になっている場合は、利用可能なすべてのリターンフィールドを返し、国固有のオプションも含め、利用可能なすべてのオプションが有効になります。無効になっている場合は、以下に示すものからリターンフィールドを選択できます。デフォルトは無効です。
		<p><b>品質記述子</b> 結果コードを返します。結果コードは、入力住所と既知の住所とのマッチングや入力住所への場所の割り当てがどの程度適切に行われたかを示します。マッチング試行の全体的なステータスも示します。すべての国については、「<a href="#">グローバル結果コード</a>」を参照してください。米国には追加の結果コードがあります。詳細については、「<a href="#">米国のマッチコードとロケーションコード</a>」を参照してください。</p> <p><b>パース済み住所</b> mainAddressLine、areaName&lt;1-4&gt;、郵便番号、国など、個別の住所フィールドを返します。これらのフィールドのいくつかの意味は、国によって異なる場合があります。返されるパース済み住所フィールドとその定義の一覧については、「<a href="#">付録 A - 国固有の情報</a>」の該当する国のセクションを参照してください。</p> <p><b>ポイント</b> 入力住所の緯度/経度座標を返します。</p>

## 国固有の戻り値

オプション名	国のサ ポート	説明
AUS		オーストラリアには、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。
省略形を使 用		デフォルトである完全なスペルの通り タイプの代わりに、省略形の通り タイプが返されます。
通りの入り 口		GNAF ジオコーディングデータセットから返される座標は、標準ポイントまたは通りの入り口ポイントとして返すことができます。標準ポイントは、使用できる最も精度の高いポイントであり、デフォルトで返されます。このオプションは、候補の場所の入り口に配置し直されたポイントを返します。通常、これはルーティングアプリケーションに適しています。
原点		GNAF の元の緯度/経度座標、またはユーザ辞書にある元の緯度/経度座標 (該当する場合) を返します。
レベルおよ びロット		住所のレベル タイプおよび番号と住所のロット識別子を返します。
GNAF 識別 子		GNAF (Geocoded National Address File) ジオコーディングデータセットに対する一致から次の GNAF 識別子フィールドを返します。GNAF PID、Principal PID、Meshblock ID、Geocontainment、Geofeature、Address class、SA1、および Parcel ID。
これらの出力フィールドの詳しい説明については、『 <a href="#">オーストラリア (AUS)</a> (102ページ)』の「 <a href="#">カスタム出力フィールド</a> 」セクションを参照してください。		

## オプション名

国のサ  
ポート 説明

CAN	<p>カナダには、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。</p> <p><b>フォーマット 済み範囲</b> 住所のフォーマット済み範囲を返します。 注：このフィールドは、郵便番号セントロイド候補に対してのみ返されます。</p> <p><b>Census</b> マッチングが行われた住所の場所について、次の <b>Census</b> フィールドを返します。Centrus Tract (CT)、Census Metropolitan Area (CMA)、Census Division (CD)、Census Subdivision (CSD)、および Census Dissemination Area (DA)。</p> <p>これらの出力フィールドの詳細な説明については、<a href="#">カナダ (CAN)</a> の「<a href="#">カスタム出力フィールド</a>」セクションを参照してください。</p>
IND	<p>インドには、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。</p> <p><b>農村部ステータス</b> 候補の住所が農村部(村)にある場合に表示されます。</p> <p><b>POI カテゴリ</b> POI (ポイント情報) カテゴリ。銀行、ATM、レストランといった POI の種類を表すリターンフィールドです。</p> <p><b>ブロック</b> ブロック情報を返します。</p> <p><b>地方下位区分</b> 地方 (areaName4) の下のレベルの行政区分を返します。</p> <p>これらの出力フィールドの詳細な説明については、<a href="#">インド (IND)</a> の「<a href="#">カスタム出力フィールド</a>」セクションを参照してください。</p>
ITA	<p>イタリアには、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。</p> <p><b>過去の郵便番号</b> 該当する場合には、住所の以前の郵便番号を返します。</p>

オプション名	国のサ ポート	説明
	JPN	<p>日本には、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。</p> <p><b>住所コード</b> 一意の住所を表すポイント ID を返します。</p> <p><b>住所データ</b> chooaza (町・大字)、chomoku (丁目)、go (号) および banchi (番地) 住所フィールドを返します。</p> <p>これらの出力フィールドの詳しい説明については、<a href="#">日本 (JPN)</a> の「<a href="#">カスタム出力フィールド</a>」セクションを参照してください。</p>
	NZL	<p>ニュージーランドには、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。</p> <p><b>UFI</b> ニュージーランドの UFI を返します。この一意識別子 (UFI) は、ジオコーディングされた住所が属する通りセグメントを識別します。UFI は、New Zealand Post によって割り当てられる最大 7 桁の数字列であり、各郵便配達ポイントを一意に識別します。</p> <p><b>メッシュブロック</b> ニュージーランドの Meshblock 識別子を返します。Meshblock は、ニュージーランド統計局が統計データを収集するために作成した最も小さい地理的な単位です。Meshblock のサイズは、街区の一部から地方の広いエリアまでさまざまです。</p> <p><b>郊外のエイリアス</b> ニュージーランドの郊外のエイリアスを返します。正式に認識されている郊外名の代替名。</p> <p><b>原点</b> 元の緯度および経度座標を返します。</p> <p>これらの出力フィールドの詳しい説明については、<a href="#">ニュージーランド (NZL)</a> の「<a href="#">カスタム出力フィールド</a>」セクションを参照してください。</p>
大文字と小文字が混在する出力住所	USA	出力データは大文字と小文字が混在する形で返されます。デフォルトは無効です。選択されていない場合、出力データは大文字で返されます。【すべての使用可能な情報を返す】が選択されている場合は、有効になりません。
最後の行を修正して出力	USA	出力の最終行の要素を修正して、住所が一致しなかったり存在しなかったりした場合でも、適切な ZIP Code または Soundex による近似一致を提供します。デフォルトは無効です。【すべての使用可能な情報を返す】が選択されている場合は、有効になりません。



オプション名	国のサ ポート	説明
地図上のポイント（緯度と経度） を integer 値として返す	USA	緯度と経度の値を、小数フォーマットではなく、整数フォーマットで返します。デフォルトは無効です。 <b>【すべての使用可能な情報を返す】</b> が選択されている場合は、有効になりません。

## オプション名

国のサ  
ポート 説明

---

<b>USA</b>	米国には、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。
<b>中央線</b>	ジオコードの親セグメントについての追加情報が含まれている中央線マッチに関する情報を返します。
<b>交差</b>	交差点に対するマッチから結果として得られる情報を返します。
<b>Census</b>	Census 出力フィールドには、住所に関する米国国勢調査情報が格納されます。
<b>DPV</b>	DPV® データ出力フィールドには、DPV® データを使用して検出されたマッチに関する情報が格納されます。これらのフィールド値は、DPV® データに対するマッチング時にのみ返されます。デフォルトは無効です。
<b>LACS</b>	USPS® Locatable Address Conversion System (LACS) の結果を提供します。LACS は、地方配送路の住所の通り名に沿った住所への変更、PO Box 番号の再割り当て、または通り名に沿った住所の変更に伴って変更された住所を修正します。デフォルトは無効です。
<b>Suite Link</b>	SuiteLink は Postal Service™ によってメンテナンスされている、企業住所を扱った情報のデータベースであり、既知の補助的な (スイート) 情報を追加します。SuiteLink は、入力企業名、通り番号の場所、および 9 桁の ZIP+4 を使用して、その企業のユニット タイプ ("STE") およびユニット番号を返します。デフォルトは無効です。
	注: 完全一致検索モードでは無視されます。
<b>郵便</b>	郵便データ出力フィールドには、標準都市名や米国の配達ルートなど、住所の詳細な郵便情報が格納されます。
<b>短い住所</b>	短い住所の出力フィールドには、省略形の住所フィールドが格納されます。
<b>セグメント</b>	セグメント出力フィールドには、データプロバイダによって識別される通りセグメントに関する情報が格納されます。
<b>Others</b>	マッチに関する追加情報を返します。

これらの出力フィールドの詳しい説明については、『[米国 \(USA\)](#)』の「[カスタム出力フィールド](#)」セクションを参照してください。

---

オプション名	国のサ ポート	説明
	XWG	World Geocoder には、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。
	都市ランク	1 (最高) から 10 (最低) までの都市ランクを返します。ゼロ (0) はランクが使用できないことを意味します。

## デフォルト リターン フィールド

以下の表に、デフォルトで返されるフィールドを示します。特に記載のない限り、すべての国でこれらのフィールドが返されます。フィールドに国固有の戻り値がある場合は、注記にあるリンクを参照してください。

出力フィールド名	説明
フォーマット済み通り住所	フォーマット済みのメイン住所行。
フォーマット済みロケーション住所	フォーマット済みの最後の住所行。
Place Name	企業、会社、組織、事業、または建物名。
住所番号	家または建物番号。
通り	通り名。

出力フィールド名

説明

---

精度コード

## 出力フィールド名

## 説明

ジオコードの精度を表すコード。

一致カテゴリには、次のものがあります。

- Z1** 郵便番号 1 セントロイドとの郵便番号の一致。
- Z2** 郵便番号 2 セントロイドとの郵便番号の部分的な一致。
- Z3** 郵便番号 2 セントロイドとの郵便番号の一致。
- G1** エリア名 1 セントロイドとの地理的な一致。
- G2** エリア名 2 セントロイドとの地理的な一致。
- G3** エリア名 3 セントロイドとの地理的な一致。
- G4** エリア名 4 セントロイドとの地理的な一致。

'S' カテゴリの一致は、レコードが単一の住所候補に一致したことを意味します。

- SX** 交差点に位置するポイント。
- SC** 最も近いセグメントから予測された家レベルに位置するポイントと一致。
- S0** 座標はありませんが、住所の一部がソースデータと一致した可能性があります。
- S4** ジオコードは、通り セントロイドに位置します。
- S5** ジオコードは、通り住所に位置します。
- S7** ジオコードは、家の場所のポイント間を補間した通り住所に位置します。
- S8** 家の場所に位置するポイントと一致。

追加のマッチ情報は、HPNTSCSZAという形式をとります。該当するコンポーネントが一致しなかった場合は、その文字の箇所にダッシュ (-) が表示されます。





- H** 家番号。
- P** 通りの前置方位記号。
- N** 通り名。
- T** 通りタイプ。
- S** 通りの後置方位記号。
- C** 都市の名前。
- Z** 郵便番号。
- A** ジオコーディング データセット。

出力フィールド名	説明
	<p><b>U</b> カスタム ユーザ辞書。</p> <p>注: 国固有の意味と値の詳細については、「<a href="#">グローバル結果コード (223ページ)</a>」を参照してください。</p>
<p>精度レベル</p>	<p>ジオコードの精度を表すコード。次のいずれかです。</p> <p><b>0</b> この候補住所の座標情報はありません。</p> <p><b>1</b> 補間された通り住所。</p> <p><b>2</b> 通りセグメントの中間点。</p> <p><b>3</b> 郵便番号 1 セントロイド。</p> <p><b>4</b> 部分郵便番号 2 セントロイド。</p> <p><b>5</b> 郵便番号 2 セントロイド。</p> <p><b>6</b> 交差点。</p> <p><b>7</b> POI (point-of-interest)。 (データベースに POI データが含まれる場合)</p> <p><b>8</b> 州/省セントロイド。</p> <p><b>9</b> 郡セントロイド。</p> <p><b>10</b> 都市セントロイド。</p> <p><b>11</b> 地方セントロイド。</p> <p><b>12-15</b> 未指定のカスタム項目用に予約されています。</p> <p><b>16</b> 結果は住所ポイント。</p> <p><b>17</b> 住所ポイント データを使って候補セグメント データを修正することによって、結果が生成されています。</p> <p><b>18</b> 結果は、中央線オフセット機能を使用して投影された住所ポイント。中央線オフセット機能を使用するには、ポイントと通り範囲の両方のデータベースが必要です。</p> <p>注: 米国ではこのフィールドは返されません。米国のジオコーディングの精度情報については、<a href="#">ロケーションコード (206ページ)</a>を参照してください。</p>
<p>識別子</p>	<p>通りレベルまたはポイントレベルの候補の場合は通常、セグメント ID です。</p>



## Management Console でのデータセットの設定

ある国のデータセット構成を設定するには、**[Country Filter (国フィルタ)]** フィールドでその国を選択し、**[Dataset Configuration (データセットの設定)]** タブをクリックして、目的の構成変更を行います。

<b>Country</b>	3文字のISO国コード。列の一番上にある順序コントロール  によって、国をアルファベットの昇順または降順にソートできます。
<b>データソース</b>	ジオコーディング データセットのベンダーです。列の一番上にあるソート コントロール  を使用して、表示をベンダー別に制限できます。すべてのベンダー データセットを再表示するには、 <b>[Clear all (すべてクリア)]</b> を使用します。
<b>含める</b>	マッチング時にデータセットを含めたり除外したりできます。
<b>Type</b>	データセットのタイプです。ジオコーディング データセット (AD) またはカスタム ユーザ辞書 (UD) のどちらかになります。
<b>ヴィンテージ</b>	ジオコーディング データセットがリリースされた日付です。
<b>地域</b>	国を表示する広範囲の領域。例えば、ヨーロッパ、アメリカなどがあります。列の一番上にあるソート コントロール  を使用して、表示を地域別に制限できます。すべてのデータセットを再表示するには、 <b>[Clear all (すべてクリア)]</b> を使用します。
	他に非表示の情報フィールドが 2 つあり、左側の列のデータセットの横にある矢印コントロール  をクリックすることにより表示できます。
<b>説明</b>	ジオコーディング データセットの簡単な説明です。
<b>Path</b>	ジオコーディング データセットのインストール場所のパス。

## Enterprise Designer でのデータセットの設定

ある国のデータセット構成を設定するには、**[国]** パネルでその国を選択し、**[検索順序]** パネルで適切な構成変更を行います。


<b>データソース</b>	ジオコーディング データセットのベンダーです。
<b>含める</b>	マッチング時にデータセットを含めたり除外したりできます。
<b>タイプ</b>	データセットのタイプです。ジオコーディング データセット (AD) またはカスタム ユーザ辞書 (UD) のどちらかになります。



ヴィンテージ	ジオコーディング データセットがリリースされた日付です。
説明	ジオコーディング データセットの簡単な説明です。



### ジオコーディング データセットの検索順序を設定するには:

最初の検索順序は、ジオコーディング データセットがインストールされた順序によって決まります。

検索順序を設定する国をクリックします。次に、テーブル内のデータセットをクリックし、上下の矢印を使用してその位置を移動します。先頭行にあるデータセットが検索とマッチングで最初に使用され、一番下の行にあるものが最後に使用されます。順序を元の検索順序にリセットするには、**[更新]**  ボタンを使用します。



## プレビュー

**Management Console** では、**Global Geocoding** モジュールの **[プレビュー]** タブで、そのモジュールの **Global Geocoding** ステージの結果をプレビューできます。プレビューは、どのオプションを指定するかを決める際に便利です。これは、モジュールから返されるデータに対して、それぞれのオプションがどのように影響するかを直ちに確認できるためです。



1. **Management Console** を開きます。
2. **[サービス]** メニューに移動し、**[Global Geocoding]** を選択します。
3. **[Global Geocode]** をクリックします。
4. **[プレビュー]** タブをクリックします。
5. テスト データを各フィールドに入力するか、ファイルからテスト データをインポートします。
  - a) データを手動で入力する場合は、入力レコードの各フィールドにテスト データを入力します。他のレコードを追加するには、**[Input Records (入力レコード)]** の下の **[追加]** ボタン  をクリックします。
  - b) データをインポートしている場合は、**[Input Records (入力レコード)]** の下の **[インポート]** ボタン  をクリックします。  
**[Import Data (データのインポート)]** ポップアップが表示されます。

**[File name (ファイル名)]** フィールドで、データを取得するファイルを指定または参照できます。次に、ドロップダウンから **[Field separator (フィールド区切り文字)]** の記号を選択します。**[OK]** をクリックして、インポート処理を完了します。

データを入力する際は、次の点に注意してください。

- すべてのフィールドにデータを入力する必要はありません。フィールドを空のままにすると、空の文字列がプレビューに使用されます。
- フィールドに null 値を渡した場合の影響をプレビューするには、フィールド名の上にカーソルを合わせて、そのフィールドの横に表示される **[無効化]** アイコン  をクリックします。フィールドを再び有効にするには、フィールド名の上にカーソルを合わせて、**[再有効化]** アイコン  をクリックします。
- 複数のレコードを同時にプレビューできます。
- 住所情報の入力方法に関係なく、**[Country (国)]** フィールドに 3 文字の ISO コードを入力する必要があります。
- テスト データをファイルからインポートする場合は、次の点に注意してください。
  - ファイルの最初の行は、ヘッダーレコードでなければなりません。ヘッダ内のフィールド名は、モジュールで必要とされるフィールド名と一致する必要があります。
  - レコードはいくつでもインポートできます。
  - フィールドの区切り文字がスペースの場合、フィールド値を引用符で囲む必要があります。スペースをフィールドの区切り文字に使うファイルの例を以下に示します。

```
AddressLine1 AddressLine2 City StateProvince PostalCode
"One Global View" "" "Troy" "NY" "12180"
"3001 Summer St" "" "Stamford" "CT" "06926"
"224 N Michigan Ave" "Suite 300" "Chicago" "IL" ""
```

- すべてのレコードを削除するには、プレビュー エリアの上部にある **[削除]** ボタン  をクリックします。
  - 個々のレコードを削除するには、入力レコード名 ("Input Record 1" など) の上にカーソルを合わせてレコード名の横に表示される **[削除]**  ボタンをクリックします。
6. **[プレビューを実行]** をクリックします。
- サービスによって入力レコードが処理され、表示された **[Output Records (出力レコード)]** 列に結果が表示されます。
7. 出力データをプレビューして、モジュールから適切な結果が得られることを確認します。必要に応じて、モジュールの設定に変更を加えて、**[プレビューを実行]** を再度クリックすることができます(データを再度入力する必要はありません)。

## プレビュー フィールド

テスト レコードは手動で入力するか、ファイルからデータをインポートすることで入力できます。一部のフィールドは必須ではありません。最も単純な入力方法は、多くの場合、住所全体を **[AddressLastLine]** フィールドに入力し、さらに **[Country (国)]** フィールドに 3 桁の ISO 国コードを入力することです。

例えば、[AddressLastLine] フィールドに「**4750 Walnut St Boulder CO 80301**」を、[Country (国)] フィールドに「**USA**」を入力します。

フィールド名	説明
MainAddressLine	主要な住所情報。通常は通り住所や交差点を入力します。
AddressLastLine	追加の住所情報。通常は、都市、州または省、および郵便番号を入力します。 他のフィールドが全く入力されていない場合、AddressLastLine の内容は単一行入力として処理され、複数の住所フィールド要素をまとめて入力することができます。住所フィールドの入力順序は、その国の通常の住所書式に従う必要があります。
PlaceName	入力住所に関連する建物名、場所名、会社または企業名、POI (ポイント情報) このフィールドの国固有のサポートについては、付録の項目を確認してください。 例えば、Empire State Building や Pitney Bowes などです。
AreaName1	最大の地理的地域を指定します。通常は、州または省です。このフィールドの国固有の使用については、付録の項目を確認してください。
AreaName2	二次的な地理的地域を指定します。通常は、郡または地区です。このフィールドの国固有の使用については、付録の項目を確認してください。
AreaName3	都市または町の名前を指定します。このフィールドの国固有の使用については、付録の項目を確認してください。
AreaName4	都市の下位区分、または地方を指定します。このフィールドの国固有の使用については、付録の項目を確認してください。
PostCode1	各国の標準フォーマットで表記された主要郵便番号。

フィールド名	説明
PostCode2	特定の国で使用される補助的な郵便番号。 例えば、米国では ZIP+4 コードの 4 桁部分を使用されます。このフィールドの国固有の使用については、付録の項目を確認してください。
Country	その国の 3 文字の ISO コード。 このフィールドは、すべてのレコードで必須です。
AddressNumber	家またはビルの番号。
StreetName	通り名。
UnitType	住所内のユニットのタイプの指定。例えばアパートメントやオフィス スイートなどです。
UnitValue	ユニットの数。

# 5 - グローバル リバース ジオコード

## このセクションの構成

---

入力、優先設定、出力フィールド

70

## 入力、優先設定、出力フィールド

リバース ジオコード サービス ステージは、緯度/経度座標を入力として受け取り、そのポイントに対する最良マッチとなる住所情報を返します。

### グローバル リバース ジオコードの入力フィールド

以下の表は、リバース ジオコーディング入力フィールドを定義したものです。

フィールド名	タイプ	説明
x	Double	緯度 (単位: 度)。必須例: -79.391165
y	Double	経度 (単位: 度)。必須例: 43.643469
country	String	3文字の ISO 国コード。例: CAN。これはオプションです。ISO コードの一覧は、 <a href="#">国参照一覧と ISO 3166-1 国コード</a> (235ページ) を参照してください。

### リバース ジオコーディングでのグローバル デフォルト値

グローバル デフォルト値の設定は **Management Console** と **Enterprise Designer** の両方で行うことができます。 **Management Console** でオプションを設定するときに保存した設定は、 **Global Reverse Geocode** ステージを使用するすべての手順に適用されます。 **Enterprise Designer** では、 **Global Reverse Geocode** ステージの特定のインスタンスに適用されるオプションを設定します。

#### Management Console でのグローバル デフォルトの設定

##### グローバル デフォルト値の入力

次に説明する手順は、 **Management Console** でグローバル デフォルト値を入力する方法です。多くの場合、グローバル デフォルト値を入力することは、既存のデフォルト値をそのまま使用することです。

1. **[Services (サービス)]** タブで、**[Global Geocoding Module (グローバル ジオコーディング モジュール)]** を選択します。
2. **[Global GeoCoding Module (グローバル ジオコーディング モジュール)]** で、リストから **[Global Reverse Geocode (グローバル リバース ジオコード)]** ステージを選択します。
3. **[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで **[Global Defaults (グローバル デフォルト)]** を選択します。
4. グローバル デフォルトを入力するタブをクリックします。

選択したタブによっては、いくつかの設定があり、選択したり有効化することができます。ドロップダウン コントロールでは複数のオプションを選択でき、チェックボックスを使用すると、別のオプションを有効化できます。また、値を手動で入力できるフィールドもいくつかあります。詳細については、「[国オーバーライドの設定 \(72ページ\)](#)」を参照してください。

5. **[Save(保存)]**  をクリックします。

## Enterprise Designer でのグローバル デフォルトの設定

### グローバル デフォルト値の入力

次に説明する手順は、Enterprise Designer でグローバル デフォルト値を入力する方法です。多くの場合、グローバル デフォルト値を入力することは、既存のデフォルト値をそのまま使用することです。Enterprise Designer で設定するすべてのオプションは、Global Reverse Geocoding ステージの1つのインスタンスに特有のものであり、Management Console で行われた設定をオーバーライドすることに注意してください。

1. Enterprise Designer を起動します。
2. **[Tasks (タスク)]** パネルで、作成する新しいタイプのデータフローを選択します。また、既存のデータフローを開いて、変更することもできます。
3. **[Palette (パレット)]** パネルの **[Stages (ステージ)]** リストで、**[Global Reverse Geocode (グローバル リバース ジオコード)]** ステージアイコンを選択し、**[New Dataflow (新しいデータフロー)]** パネルにドラッグします。
4. そのステージアイコンをダブルクリックして、**[Global Reverse Geocode Options (グローバル リバース ジオコードのオプション)]** ウィンドウを開きます。
5. **[Filters (フィルタ)]** パネルで **[Global Defaults (グローバル デフォルト)]** をクリックします。
6. グローバル デフォルトを入力するカテゴリを開くために、矢印をクリックします。

選択したカテゴリによっては、いくつかの設定があり、選択したり有効化することができます。ドロップダウン コントロールでは複数のオプションを選択でき、チェックボックスを使用すると、別のオプションを有効化できます。また、値を手動で入力できるフィールドもいくつかあります。

7. 選択が終わったら、[OK] をクリックし、**[保存]**  ボタンをクリックしてデータフローを保存します。

## 国オーバーライドの設定


グローバルジオコーディングの値を設定するとき、いくつかのグローバル デフォルト値を 国単位でオーバーライドすることができます。Management Console で設定したオーバーライドは、基本的な設定であり Enterprise Designer で Global Geocoding ステージを使用するすべてのデータフローへの適用に 使用します。

注：このオーバーライドの機能は、Management Console によってのみ使用できます。Enterprise Designer ではサポートされていません。


### リバース ジオコーディング用の国オーバーライドの設定



#### 国オーバーライドの入力


以下の手順では、国固有のオーバーライドを入力、表示、および削除する方法を説明します。

1. **[サービス]** タブで、**[Global Geocode]** を選択します。
2. **Global GeoCode** モジュールで、リストから **Global Reverse Geocode** ステージを選択します。
3. **[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで **[Global Defaults (グローバル デフォルト)]** を選択します。
4. 国オーバーライドを作成するタブをクリックします。
5. オーバーライドを作成するオプションの横にある **[追加]**  アイコンをクリックします。

**[Override Value (オーバーライド値)]** ポップアップが表示されます。

6. このポップアップで、**[追加]**  アイコンをクリックして、オーバーライドを追加します。

ドロップダウンが表示され、このオプションの **[国]** 列にある **[追加]**  アイコンが、数字を強調表示した  アイコンに変わります。これは、そのオプションに1つオーバーライドがあることを示しています。オーバードライブは、データセットで利用可能なすべて国に対して作成できます。数字のアイコンは、オーバーライドを追加するごとに数字が増やされます。

7. ドロップダウンで、オーバーライドを作成する国を選択します。
8. チェックボックスをオンにして、オーバーライドを有効化します。
9. ポップアップを閉じるには、グレーの **[閉じる]**  アイコンをクリックします。
10. **[保存]** をクリックします。



### すべての国オーバーライドの表示

1. **[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで **[Overrides (オーバーライド)]** を選択します。
2. オーバーライドを表示するタブをクリックします。

そのタブに、オプションのすべてのオーバーライドが初期のグローバル設定とともに表示されます。初期のグローバル設定では、**[Country (国)]** 列に **[ALL (すべて)]** が設定されています。さらにこのオプションに関連付けられたオーバーライドの数を示す数字が強調表示されたアイコン **①** が表示されます。デフォルトのグローバル設定の下に、各オーバーライドが一覧表示され、**[Country (国)]** 列には対応する国コードが表示されます。**[国]** 列の横に、赤い **[削除] ✖** アイコンも表示されます。**[Setting (設定)]** 列に各オーバーライドのチェックボックスが表示され、オーバーライドが有効かどうかを示されます。

### 国オーバーライドを国別に表示

1. **[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで、オーバーライドを表示する国を選択します。
2. オーバーライドを表示するタブをクリックします。

初期のグローバル設定に加えて、選択した国固有のオーバーライドが表示されます。初期のグローバル設定では、**[Country (国)]** 列に **[ALL (すべて)]** が設定されています。さらにこのオプションに関連付けられたオーバーライドの合計数を示す数字が強調表示されたアイコン **②** が表示されます。デフォルトのグローバル設定の下に、国固有のオーバーライドが一覧表示され、**[Country (国)]** 列には対応する国コードが表示されます。**[国]** 列の横に、赤い **[削除] ✖** アイコンも表示されます。**[Setting (設定)]** 列に各オーバーライドのチェックボックスが表示され、オーバーライドが有効かどうかを示されます。

### 国オーバーライドの削除

1. **[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで、オーバーライドを削除する国を選択します。
2. 国オーバーライドを削除するタブをクリックします。

国固有のオーバーライドがその横の赤い **[削除] ✖** アイコンとともに表示されます。

3. 削除するオーバーライドの削除アイコンをクリックします。  
オーバーライドがリストから消えて、強調表示された数字の数が減ります。
4. **[保存]** をクリックします。

## フィルタ

フィルタはオプションと設定の表示を制御します。

### Management Console でのフィルタ

**[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウン内のオプションは、タブでのオプションおよび設定の表示をフィルタします。

#### グローバル デフォルト

**[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウン内の **[グローバル デフォルト]** を選択すると、タブにはすべての国に共通のオプションが表示されます。グローバルデフォルトオプションを変更した場合、特定の国へのオーバーライドを入力しない限り選択内容はすべての国に適用されます。

オーバーライドは、ジオコーディング データセットがインストールされていて、カスタム オプションや戻り値を持つ特定の国に設定することができます。ほとんどの国はグローバル デフォルトによって処理されます。

#### オーバーライド

**[Country Filter (国フィルタ)]** ドロップダウンで **[Overrides (オーバーライド)]** を選択すると、入力したすべてのオーバーライドを確認できます。

#### 国の一覧

ここでは、ジオコーディング データセットがインストールされていて、国固有の追加のマッチング オプションや戻り値を持つ国の一覧が示されます。国を選択すると、その国固有のオプションや戻り値がタブに表示されます。ほとんどの国はグローバル デフォルトによって処理されます。

### Enterprise Designer でのフィルタ

フィルタ パネル内のオプションは、右側のパネルでのオプションおよび設定の表示を決定します。

#### グローバル デフォルト

フィルタ パネル内の **[グローバル デフォルト]** をクリックすると、右側のパネルにはすべての国に共通のオプションが表示されます。

グローバルデフォルトオプションを変更した場合、選択内容はすべての国に適用され、国ごとには変更できません。その後、ある国を選択してそのオプションを表示した場合、変更されたグローバル デフォルト オプションは GUI で非アクティブになります。

## 国の一覧

ジオコーディングデータセットがインストールされていて、カスタムオプションや戻り値を持つ国の一覧を示します。国をクリックすると、選択された国のカスタムオプションや戻り値が右側のパネルに表示されます。ほとんどの国はグローバル デフォルトによって処理されます。

## リバース ジオコーディング オプション

リバース ジオコーディング カテゴリは、検索およびマッチング条件を設定できるオプションを提供します。以降のセクションでは、リバース ジオコーディングの [グローバル デフォルト](#) オプション (すべての国で使用できます) と [国固有のリバース ジオコーディング オプション](#) (一部の国にのみ適用されます) について説明します。

### [Management Console](#) のグローバル デフォルト

グローバル デフォルト オプションには、国ごとにオーバーライドを作成できます。それらのオプションには、[Country (国)] 列の値の横に **+** が表示されます。オーバーライドの作成方法については、「[国オーバーライドの設定 \(40ページ\)](#)」を参照してください。

### [Enterprise Designer](#) のグローバル デフォルト

グローバル デフォルト オプションを変更した場合、選択内容はすべての国に適用され、国ごとには変更できません。その後、ある国を選択してそのオプションを表示した場合、変更されたグローバル デフォルト オプションは GUI で非アクティブになります。

表 3: オプション

オプション名	国のサポート	説明
検索距離	すべて	入力座標に対するマッチを検索する半径の距離を設定します。この値は、フィートまたはメートルの単位で指定できます。デフォルトは 150 メートルです。最大値は 5280 フィート (1 マイル)、1609 メートルです。

オプション名	国のサ ポート	説明
--------	------------	----

通りオフセット

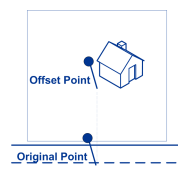
すべて

**通りオフセット**

通りレベルのジオコーディングに使う通りセグメントからのオフセット距離を指定します。オフセット距離は、ジオコードが通りの中央に位置付けられるのを防ぐために、通りレベルのジオコーディングで使われます。通りレベルのジオコーディングを行うと、住所が位置する通りの中心点の緯度/経度が返されますが、これを補正するのがオフセットです。住所が指し示す建物は通りの真上に建っているわけではないので、路上のポイントに相当する住所のジオコードが返されるのは不都合です。ジオコードは、通りに面して建つ建物の場所を表している必要があります。

例えば、50 フィートのオフセットは、ジオコードが通りの中心から50 フィート離れた場所を表すことを意味します。距離は、住所の通りセグメントから垂直方向に計算されます。また、オフセットは、通りをはさんで向かい合う住所が同じポイントになるのを防ぐ目的にも使われます。デフォルト値は7メートルです。

以下に、オフセットポイントと元のポイントとの比較図を示します。



距離単位には、フィートまたはメートルを選択できます。

オプション名	国のサ ポート	説明
コーナー オフセット	すべて	<p data-bbox="678 357 901 409"><b>コーナー オフセット</b></p> <p data-bbox="678 430 1427 577">通りレベルでのマッチングに使う通りの終端からのオフセットを指定します。この値は、通りの角の住所に交差点と同じジオコードが与えられるのを防ぐために使われます。角に対するジオコードポイントのオフセット位置を定義します。デフォルト値は 7 メートルです。</p> <p data-bbox="678 588 1315 619">以下に、通りの終点とオフセット終点の比較図を示します。</p> <div data-bbox="682 640 1161 924" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="678 934 1291 976">距離単位には、フィートまたはメートルを選択できます。</p>
座標系	すべて	<p data-bbox="678 1039 1427 1144">ジオメトリの変換先の座標系を指定します。形式は、European Petroleum Survey Group (EPSG) コードまたは SRID コードである必要があります。デフォルトは EPSG:4326 です。</p>

## 国固有のリバース ジオコーディング オプション

オプション名	国のサ ポート	説明
検索オプション	USA	<p>これらのオプションは、マッチング時に使用する制約を設定します。</p> <p><b>最も近い住所</b>      最も近い住所に対するマッチングを試みます。デフォルトでは有効です。</p> <p><b>最も近い交差点</b>      最も近い交差点に対するマッチングを試みます。デフォルトは無効です。</p> <p><b>範囲に該当しない最も近いセグメント</b>      最も近い範囲外セグメントに対するマッチングを試みます。デフォルトは無効です。</p> <p><b>最も近いポイントへの一致を優先</b>      最も近いフィーチャ (通りのセグメントまたは交差点や、ポイント住所) ではなく、検索範囲内の最も近いポイント住所へのマッチングを試みます。デフォルトは無効です。</p> <p style="text-align: right;">注：この機能では、少なくとも1つのポイント データ セットと1つの通り データ セットがロードされている必要があります。この条件が満たされていない場合は、最も近いフィーチャに対してマッチングが行われます。</p>
複数の一致を保持	USA	<p>返される候補の最大数を設定します。</p> <p><b>有効</b>      すべてのマッチ候補を返します。</p> <p><b>無効</b>      最良のマッチ候補のみを返します。こちらがデフォルトです。</p>

## 戻り値

戻り値カテゴリでは、マッチと共に返すフィールドを選択できます。以降のセクションでは、[グローバル デフォルト](#) 戻り値 (すべての国で使用できます) と [国固有の戻り値](#) (一部の国にのみ適用されます) について説明します。

Management Console では、グローバル デフォルトに国固有のオーバーライドをセットアップできます。これらのオーバーライドのセットアップについては、[国オーバーライドの設定 \(40ページ\)](#) を参照してください。

## グローバル デフォルト

オプション名	国のサ ポート	説明
すべての使用可能な情報を返す	すべて	<p>有効になっている場合は、利用可能なすべてのリターンフィールドを返し、国固有のオプションも含め、利用可能なすべてのオプションが有効になります。無効になっている場合は、以下に示すものからリターンフィールドを選択できます。デフォルトは無効です。</p> <p><b>パース済み住所</b> mainAddressLine、areaName&lt;1-4&gt;、郵便番号、国など、個別の住所フィールドを返します。これらのフィールドのいくつかの意味は、国によって異なる場合があります。返されるパース済み住所フィールドとその定義の一覧については、「<a href="#">付録 A - 国固有の情報</a>」の該当する国のセクションを参照してください。</p>



国固有の戻り値

オプション名	国のサ ポート	説明
AUS		オーストラリアには、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。
原点		GNAF の元の緯度/経度座標、およびユーザ辞書にある元の緯度/経度座標 (該当する場合) を返します。
レベルおよ びロット		住所のレベルタイプおよび番号と住所のロット識別子を返します。
GNAF 識別 子		GNAF (Geocoded National Address File) ジオコーディング データセットに対する一致から次の GNAF 識別子フィールドを返します。GNAF PID、Principal PID、Meshblock ID、Geocontainment、Geofeature、Address class、SA1、および Parcel ID。
通り タイプ の略語		デフォルトである完全なスペルの通り タイプの代わりに、省略形の通り タイプが返されます。
通りの入り 口		GNAF ジオコーディングデータセットから返される座標は、標準ポイントまたは通りの入り口ポイントとして返すことができます。標準ポイントは、使用できる最も精度の高いポイントであり、デフォルトで返されます。このオプションは、候補の場所の入り口に配置し直されたポイントを返します。通常、これはルーティングアプリケーションに適しています。
これらの出力フィールドの詳しい説明については、『 <a href="#">オーストラリア (AUS)</a> (102ページ)』の「 <a href="#">カスタム出力フィールド</a> 」セクションを参照してください。		

## オプション名

国のサ  
ポート 説明

**CAN** カナダには、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。

**フォーマット  
済み範囲** 住所のフォーマット済み範囲を返します。

注：このフィールドは、郵便番号セントロイド候補に対してのみ返されます。

**Census** マッチングが行われた住所の場所について、次の **Census** フィールドを返します。Centrus Tract (CT)、Census Metropolitan Area (CMA)、Census Division (CD)、Census Subdivision (CSD)、および Census Dissemination Area (DA)。

これらの出力フィールドの詳細な説明については、[カナダ \(CAN\)](#) の「[カスタム出力フィールド](#)」セクションを参照してください。

**IND** インドには、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。

**農村部ステータス** 候補の住所が農村部(村)にある場合に表示されます。

**POI カテゴリ** POI (ポイント情報) カテゴリ。銀行、ATM、レストランといった POI の種類を表すリターンフィールドです。

**ブロック** ブロック情報を返します。

**地方下位区分** 地方 (areaName4) の下のレベルの行政区分を返します。

これらの出力フィールドの詳細な説明については、[インド \(IND\)](#) の「[カスタム出力フィールド](#)」セクションを参照してください。

**JPN** 日本には、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。

**住所コード** 一意の住所を表すポイント ID を返します。

**住所データ** chooaza (町・大字)、chomoku (丁目)、go (号) および banchi (番地) 住所フィールドを返します。

これらの出力フィールドの詳細な説明については、[日本 \(JPN\)](#) の「[カスタム出力フィールド](#)」セクションを参照してください。

## オプション名

国のサ  
ポート 説明

---

NZL ニュージーランドには、リターン フィールドに関する次の追加オプションがあります。

**UFI** ニュージーランドの UFI を返します。この一意識別子 (UFI) は、ジオコーディングされた住所が属する通りセグメントを識別します。UFI は、New Zealand Post によって割り当てられる最大 7 桁の数字列であり、各郵便配達ポイントを一意に識別します。

**メッシュ ブロック** ニュージーランドの Meshblock 識別子を返します。Meshblock は、ニュージーランド統計局が統計データを収集するために作成した最も小さい地理的な単位です。Meshblock のサイズは、街区の一部から地方の広いエリアまでさまざまです。

**郊外のエイリアス** ニュージーランドの郊外のエイリアスを返します。正式に認識されている郊外名の代替名。

**原点** 元の緯度および経度座標を返します。

これらの出力フィールドの詳細な説明については、[ニュージーランド \(NZL\) の「カスタム出力フィールド」](#) セクションを参照してください。

---

## オプション名

国のサ  
ポート 説明

**USA** 米国には、リターンフィールドに関する次の追加オプションがあります。

**品質記述子** 結果コードを返します。結果コードは、入力住所と既知の住所とのマッチングや入力住所への場所の割り当てがどの程度適切に行われたかを示します。マッチング試行の全体的なステータスも示します。すべての国については、「[グローバル結果コード](#)」を参照してください。米国には追加の結果コードがあります。詳細については、「[米国のマッチ コードとロケーション コード](#)」を参照してください。

**Census** Census 出力フィールドには、住所に関する米国国勢調査情報が格納されます。

**交差** 交差点に対するマッチから結果として得られる情報を返します。

**セグメント** セグメント出力フィールドには、データ プロバイダによって識別される通りセグメントに関する情報が格納されます。

**その他** マッチに関する追加情報を返します。

これらの出力フィールドの詳しい説明については、『[米国 \(USA\)](#)』の「[カスタム出力フィールド](#)」セクションを参照してください。




## リバース ジオコーディングに使われるデータセット


**[データセットの設定]** では、一覧にあるそれぞれの国についてインストールされているジオコーディング データセットに関する情報を表示できます。マッチング時や優先する検索順序の設定時に含めるデータセットと除外するデータセットを選択できます。

**[データセットの設定]** は、Management Console と Enterprise Designer で動作が異なります。これらの違いについては、次のセクションの情報を参照してください。

### Management Console でのデータセットの設定

ある国のデータセット構成を設定するには、**[Country Filter (国フィルタ)]** フィールドでその国を選択し、**[Dataset Configuration (データセットの設定)]** タブをクリックして、目的の構成変更を行います。

<b>Country</b>	3文字のISO国コード。列の一番上にある順序コントロール  によって、国をアルファベットの昇順または降順にソートできます。
<b>データソース</b>	ジオコーディング データセットのベンダーです。列の一番上にあるソート コントロール  を使用して、表示をベンダー別に制限できます。すべてのベンダー データセットを再表示するには、[Clear all (すべてクリア)] を使用します。
<b>含める</b>	マッチング時にデータセットを含めたり除外したりできます。
<b>Type</b>	データセットのタイプです。ジオコーディング データセット (AD) またはカスタム ユーザ辞書 (UD) のどちらかになります。
<b>ヴィンテージ</b>	ジオコーディング データセットがリリースされた日付です。
<b>地域</b>	国を表示する広範囲の領域。例えば、ヨーロッパ、アメリカなどがあります。列の一番上にあるソート コントロール  を使用して、表示を地域別に制限できます。すべてのデータセットを再表示するには、[Clear all (すべてクリア)] を使用します。

他に非表示の情報フィールドが2つあり、左側の列のデータセットの横にある矢印コントロール  をクリックすることにより表示できます。

<b>説明</b>	ジオコーディング データセットの簡単な説明です。
<b>Path</b>	ジオコーディング データセットのインストール場所のパス。


### Enterprise Designer でのデータセットの設定

ある国のデータセット構成を設定するには、[国] パネルでその国を選択し、[検索順序] パネルで適切な構成変更を行います。

<b>データソース</b>	ジオコーディング データセットのベンダーです。
<b>含める</b>	マッチング時にデータセットを含めたり除外したりできます。
<b>タイプ</b>	データセットのタイプです。ジオコーディング データセット (AD) またはカスタム ユーザ辞書 (UD) のどちらかになります。
<b>ヴィンテージ</b>	ジオコーディング データセットがリリースされた日付です。
<b>説明</b>	ジオコーディング データセットの簡単な説明です。

### ジオコーディング データセットの検索順序を設定するには:

最初の検索順序は、ジオコーディング データセットがインストールされた順序によって決まります。

検索順序を設定する国をクリックします。次に、テーブル内のデータセットをクリックし、上下の矢印を使用してその位置を移動します。先頭行にあるデータセットが検索とマッチングで最初に使用され、一番下の行にあるものが最後に使用されます。順序を元の検索順序にリセットするには、**[更新]**  ボタンを使用します。

## デフォルト リターン フィールド

以下の表に、デフォルトで返されるフィールドを示します。特に記載のない限り、すべての国でこれらのフィールドが返されます。フィールドに国固有の戻り値がある場合は、注記にあるリンクを参照してください。

出力フィールド名	説明
フォーマット済み通り住所	フォーマット済みのメイン住所行。
フォーマット済みロケーション住所	フォーマット済みの最後の住所行。

出力フィールド名

説明

---

精度コード

## 出力フィールド名

## 説明

ジオコードの精度を表すコード。

一致カテゴリには、次のものがあります。

- Z1** 郵便番号 1 セントロイドとの郵便番号の一致。
- Z2** 郵便番号 2 セントロイドとの郵便番号の部分的な一致。
- Z3** 郵便番号 2 セントロイドとの郵便番号の一致。
- G1** エリア名 1 セントロイドとの地理的な一致。
- G2** エリア名 2 セントロイドとの地理的な一致。
- G3** エリア名 3 セントロイドとの地理的な一致。
- G4** エリア名 4 セントロイドとの地理的な一致。

'S' カテゴリの一致は、レコードが単一の住所候補に一致したことを意味します。

- SX** 交差点に位置するポイント。
- SC** 最も近いセグメントから予測された家レベルに位置するポイントと一致。
- S0** 座標はありませんが、住所の一部がソースデータと一致した可能性があります。
- S4** ジオコードは、通り セントロイドに位置します。
- S5** ジオコードは、通り住所に位置します。
- S7** ジオコードは、家の場所のポイント間を補間した通り住所に位置します。
- S8** 家の場所に位置するポイントと一致。

追加のマッチ情報は、HPNTSCSZAという形式をとります。該当するコンポーネントが一致しなかった場合は、その文字の箇所にダッシュ (-) が表示されます。

- H** 家番号。
- P** 通りの前置方位記号。
- N** 通り名。
- T** 通りタイプ。
- S** 通りの後置方位記号。
- C** 都市の名前。
- Z** 郵便番号。
- A** ジオコーディング データセット。



出力フィールド名	説明
	<p><b>U</b> カスタム ユーザ辞書。</p> <p>注: 国固有の意味と値の詳細については、「<a href="#">グローバル結果コード (223ページ)</a>」を参照してください。</p>
<p>精度レベル</p>	<p>ジオコードの精度を表すコード。次のいずれかです。</p> <p><b>0</b> この候補住所の座標情報はありません。</p> <p><b>1</b> 補間された通り住所。</p> <p><b>2</b> 通りセグメントの中間点。</p> <p><b>3</b> 郵便番号 1 セントロイド。</p> <p><b>4</b> 部分郵便番号 2 セントロイド。</p> <p><b>5</b> 郵便番号 2 セントロイド。</p> <p><b>6</b> 交差点。</p> <p><b>7</b> POI (point-of-interest)。 (データベースに POI データが含まれる場合)</p> <p><b>8</b> 州/省セントロイド。</p> <p><b>9</b> 郡セントロイド。</p> <p><b>10</b> 都市セントロイド。</p> <p><b>11</b> 地方セントロイド。</p> <p><b>12-15</b> 未指定のカスタム項目用に予約されています。</p> <p><b>16</b> 結果は住所ポイント。</p> <p><b>17</b> 住所ポイント データを使って候補セグメント データを修正することによって、結果が生成されています。</p> <p><b>18</b> 結果は、中央線オフセット機能を使用して投影された住所ポイント。中央線オフセット機能を使用するには、ポイントと通り範囲の両方のデータベースが必要です。</p> <p>注: 米国ではこのフィールドは返されません。米国のジオコーディングの精度情報については、<a href="#">ロケーションコード (206ページ)</a>を参照してください。</p>
<p>ソース辞書</p>	<p>候補情報とデータのソースとなる辞書。ソースの辞書は、設定されているどの辞書から候補が得られたかを 0 基準の整数値で示します。辞書が 1 つしかない場合、この値は常に "0" になります。</p>

出力フィールド名	説明
Point	X (経度) および Y (緯度) 座標として指定された、候補のジオコードです。
検索距離	入力座標に対するマッチを検索するために設定された半径の距離です。
検索距離単位	検索距離に対して設定された距離単位です。
Status	<p>マッチング試行の成功または失敗を報告します。</p> <p><b>NULL</b>                      成功</p> <p><b>F</b>                              失敗</p>
Status.Code	<p>住所を処理できなかった場合、このフィールドはその理由を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Internal System Error</li> <li>• No Geocode Found</li> <li>• Insufficient Input Data</li> </ul>
Status.Description	<p>住所を処理できなかった場合、このフィールドは失敗に関する説明を提供します。</p> <p><b>Problem + explanation</b>    Status.Code = Internal System Error の場合にこれが返されます。</p> <p><b>Geocoding Failed</b>            Status.code = No Geocode Found の場合にこれが返されます。</p> <p><b>No location returned</b>        Status.code = No Geocode Found の場合にこれが返されます。</p>

# 6 - グローバル インタラクティブ ジオコード

## このセクションの構成

入力、優先設定、および出力フィールド

92

## 入力、優先設定、および出力フィールド

インタラクティブ ジオコード サービス ステージは、文字の入力により入力文字を受け取り、部分的な情報に一致すると候補を返します。

### グローバル インタラクティブ ジオコードの機能

Global Geocoding モジュール を Spectrum™ Technology Platform アプリケーションに組み込むと、以下の機能を使用できます。

- 入力中の単一の通り住所または場所の名前のマッチング。複数行サポートを使用すると、フィールドをさらに追加して検索を制限し、より正確な候補を返すことができます。
- マッチ モード: 標準 (デフォルト)、近似、および緩和。
- 特定の X/Y 原点からの距離、行政区域やその他の制限入力値、データ タイプ (通りや場所の名前) によるフィルタ検索。
- 候補を X/Y 原点からの距離に基づく順序で返す
- 候補とともに返されるマッチングされたフィールド

住所検索と場所の名前検索のどちらの場合も、インタラクティブ ジオコーディングを使用する Web アプリケーションは、ユーザの入力中に候補を表示できます。入力する文字が増えるほど、より具体的な情報が明らかになり、結果が絞り込まれて、より関連性の高い候補が表示されます。候補には、完全な住所、場所の名前のカテゴリとサブカテゴリが含まれ、距離が提供されている場合は原点からの距離が示されます。

### インタラクティブ リクエスト フィールド

**[プレビュー]** タブでは、Management Console でのテスト レコードの入力を手動またはファイルからのインポートによって行うことができます。MainAddressLine は唯一の必須フィールドです。マッチングの範囲を制限するには、その他のフィールドを使用します。

フィールド名	説明
MainAddressLine	主要な住所情報。通常は通り住所や交差点を入力します。このフィールドは必須です。その他のフィールドはすべてオプションです。

フィールド名	説明
AreaName1	最大の地理的エリアを指定します。通常は、州または省です。このフィールドの国固有の使用については、付録の項目を確認してください。
AreaName3	都市または町の名前を指定します。
PostCode1	各国の標準フォーマットで表記された主要郵便番号。
Country	国のコードまたは正規化された名前。このフィールドは、すべてのレコードで必須です。
Category	POI (ポイント情報) などが含まれているグループ。POI データ (含まれていません) が必要です。
OriginX	X 座標の原点サポートされる座標系は <code>epsg:4326</code> です。
OriginY	Y 座標の原点サポートされる座標系は <code>epsg:4326</code> です。

## マッチングの優先設定

**【マッチング】**内のオプションを使用して、マッチ条件および制約を設定できます。これにより、マッチングを必要に応じて厳しいものにしたたり緩いものにしたたりできます。

オプション	説明
マッチ モード	<p>標準 - 正確なジオコーディング、誤検出マッチの少なさ、および高パフォーマンスという最適なバランスが得られます。このモードは通り名の近似一致 (必ずしも完全一致ではない) を必要とします。</p> <p>近似 - 最も厳しいマッチングルールを使用し、通り名の完全一致を必要とします。</p> <p>緩和 - あいまいな一致を許し、生成される一致候補数は最も多くなります。入力に綴りの間違いや不完全な住所などの問題がないと確信できない場合は、このモードを使用します。</p>
検索タイプ	住所、ポイント情報とカテゴリ、世界の場所で検索するか、[すべて]を選択します。
管理エリア検索	都市、町、郵便番号など、行政区画で検索エリアを限定します。入力時に行政区画を指定します。
住所番号の一致	候補は入力住所番号に一致している必要があります。

## インタラクティブ ジオコーディングの優先設定

### 優先設定

優先設定	タイプ	説明
検索距離	Integer	検索中心点からの距離。デフォルトの距離単位はマイルです。
座標系	文字列	すべてのポイント データで使用する座標系 (epsg:nnnn 形式)。デフォルト設定は epsg:4326 (WGS 84) です。

## データセットの優先設定

優先設定名	説明
住所/ユーザ データセット制約	<p>マッチングにどちらのデータセットを使用するか指定します。</p> <p><b>すべてのデータセットを検索する</b> インストールされているすべてのユーザ データセットと標準住所データセットを検索します。デフォルト</p> <p><b>住所データセットのみを検索する</b> カスタムユーザデータセットと標準データセットの両方がインストールされている場合、標準住所データセットでのみ検索を行います。標準住所データセットがインストールされていない場合、この設定は無視されません。</p> <p><b>ユーザデータセットのみを検索する</b> カスタムユーザデータセットと標準データセットの両方がインストールされている場合、カスタム ユーザデータセットでのみ検索を行います。カスタム ユーザデータセットがインストールされていない場合、この設定は無視されます。</p>
データセット マッチの優先設定	<p>該当する候補がどちらのタイプのデータセットにも見つかった場合、候補のマッチ結果でどちらのデータセットを優先するかを指定できます。</p> <p><b>優先設定なし</b> データセットマッチのタイプを問わず、最高品質のマッチを返します。デフォルト</p> <p><b>住所データセット マッチを優先する</b> 該当する候補がユーザデータセットと標準データセットの両方に見つかった場合は、標準住所データセットの候補を優先します。ただし、最高品質のマッチ候補は、たとえ優先されていないデータセットから見つかったものであっても返されます。</p> <p><b>ユーザ データセット マッチを優先する</b> 該当する候補がユーザデータセットと標準データセットの両方に見つかった場合は、ユーザデータセットの候補を優先します。ただし、最高品質のマッチ候補は、たとえ優先されていないデータセットから見つかったものであっても返されます。</p>

## 戻り値の優先設定

オプション	説明
すべての使用可能な情報を返す	有効になっている場合、使用可能なすべてのリターン フィールドとオプションを返します。
MaxResults が返ります	デフォルトは 1 です。

## 出力フィールド

ジオコード サービス [出力フィールド](#)の出力フィールドを参照してください。



# 7 - グローバル キー検索

## このセクションの構成

入力、優先設定、および出力フィールド

98

## 入力、優先設定、および出力フィールド

グローバルキー検索は、ユニークキーが指定された場合にジオコーディングされた候補を返します。キーは住所に対してユニークなので、住所でマッチングを行うよりも効率的です。

### グローバル キー検索機能

キー検索サービスは、以下の機能を提供します。

- 住所のユニークキーを受け取ります。
- サポートされるキーは、米国 (USA) データ、またはオーストラリア (AUS) の GNAF データのもので (例: P0000GL638OL または GAACT715000223)。
- サポートされるキータイプ: PB\_KEY または GNAF\_PID
- ジオコーディングされたポイントとそのポイントに関する情報を返します。

### キー検索リクエスト フィールド

パラメータ	説明
country	国のコードまたは正規化された名前。
key	住所のユニークな識別子。
type	検索のキーのタイプ。 米国のデータでは PB_KEY、オーストラリアの G-NAF データでは GNAF_PID です。

アプリケーションでキー検索を作成するには、以下のスニペットを使用します。

```
{
  "keys": [
    {
```

```
    "value": "P0000GL638OL",
    "country": "USA"
  },
  ],
  "type": "PB_KEY",
  "preferences": {
    "returnAllCandidateInfo": true
  }
}
```

## キー検索優先設定

フィールド名	説明
座標系	返される候補のジオメトリの座標系。形式は、European Petroleum Survey Group (EPSG) コードまたは SRID コードである必要があります。デフォルトは EPSG:4326 です。

## 戻り値の優先設定

オプション	説明
すべての使用可能な情報を返す	有効になっている場合、使用可能なすべてのリターン フィールドとオプションを返します。
MaxResults が返ります	デフォルトは 1 です。

## 出力フィールド

ジオコード サービス [出力フィールド](#)の出力フィールドを参照してください。

# A - 国固有の優先設定 とフィールド

## このセクションの構成

---

オーストラリア (AUS)	102
カナダ (CAN)	123
フランス (FRA)	126
ドイツ (DEU)	127
英国 (GBR)	128
ニュージーランド (NZL)	129
ポルトガル (PRT)	131
シンガポール (SGP)	132
スウェーデン (SWE)	133
米国 (USA)	134

## オーストラリア (AUS)

### カスタム優先設定

オーストラリアに対して、次の**カスタム優先設定**と**出力フィールド**がサポートされています。

優先設定

説明

優先設定

説明

---

USE\_CENTERLINE\_OFFSET

優先設定

説明

---

に設定するとポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはで、マドジオコデン



優先設定

説明

グ  
の  
み  
で  
サ  
ポ  
ト  
さ  
れ  
ま  
す

優先設定

説明

注：  
中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。

優先設定

説明

があります。

中央線ポイント一致は **S** で始まる結果コードによって示されます

優先設定

説明

---

CENTERLINE\_OFFSET

優先設定

説明

---

■が有効になっている場合中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。ワウドジオ

優先設定

説明

デングのみでサポートされます

優先設定

説明

---

CENTERLINE\_OFFSET\_UNIT

優先設定

説明

---

■が有効になっている場合中央線オフセットの単位のタイプを指定します有効な値は、`sf`、`scm`、`scm`ですデフォルト



優先設定

説明

---

ト値は ~~set~~ です。ソフトウェアコーディングのみでサポートされます。

---

優先設定

説明





---

通りの入り口

優先設定

説明

---

**FAG**  
通りの入口ポイントを返します。デフォルトは無効です。このオプションは、  および   センドウの

優先設定

説明

---

次の場所にあります。  
戻り値の入り口ボックスをオンにします。

---

優先設定

説明

郵便番号一致を強制

都市郊外が一致しなくても郵便番号が一致すればマッチ結果が得られます。デフォルトは無効です。

優先設定

説明

省略形を使用

デフォルトでは完全なスペルで記述される通りタイプの省略形を返します

カスタム出力フィールド

[出力フィールド] フィールド      説明

StreetTypeAbbreviation      デフォルトでは完全なスペルで記述される、通り タイプの省略形。  
このフィールドを出力に含めるには、  
[戻り値] > [省略形を使用] チェック ボックスをオンにします

[出力フィールド] フィールド	説明
OriginalLatitude	元の GNAF 緯度。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [原点]</b> チェック ボックスをオンにします。
OriginalLongitude	元の GNAF 経度。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [原点]</b> チェック ボックスをオンにします。
UDOriginalLatitude	ポイントベースのユーザ辞書からの元の緯度。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [原点]</b> チェック ボックスをオンにします。
UDOriginalLongitude	ポイントベースのユーザ辞書からの元の経度。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [原点]</b> チェック ボックスをオンにします。
GNAFParcelIdentifier	GNAF 小区画識別子。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [GNAF 識別子]</b> チェック ボックスをオンにします。
GNAFPersistentPID	GNAF Persistent Identifier (GNAF PID) は、GNAF の住所を一意に定義する 14 文字の英数字からなる文字列です。PID は GNAF Dictionary の主要な住所フィールドの組み合わせから構成されています。GNAF PID は、以下のよう形式です。 <b>GAACT718519668</b> このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [GNAF 識別子]</b> チェック ボックスをオンにします。
GNAFPrincipalPID	主要住所の Persistent Identifier。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [GNAF 識別子]</b> チェック ボックスをオンにします。

[出力フィールド] フィールド	説明
Geocontainment	<p>返される候補が住所境界の内側にあるか外側にあるかを指定します。境界内にある候補の値は YES、境界外にある候補の値は NO です。</p> <p>このフィールドを出力に含めるには、</p> <p><b>[戻り値] &gt; [GNAF 識別子]</b> チェック ボックスをオンにします。</p>
GeoFeature	<p>このフィールドは、ジオコードのフィーチャー タイプが他の GNAF フィールドに設定されなかった場合に、ジオコードのフィーチャー タイプを返します。GEOFEATURE は、PSMA Data Product Description Version 2.7 (2012 年 8 月) に記載されているジオコード タイプ (GEOCODE_TYPE_AUT コード) に対応しています。</p> <p>このフィールドを出力に含めるには、</p> <p><b>[戻り値] &gt; [GNAF 識別子]</b> チェック ボックスをオンにします。</p>
GNAFAddressClass	<p>GNAF 住所区分。</p> <p>このフィールドを出力に含めるには、</p> <p><b>[戻り値] &gt; [GNAF 識別子]</b> チェック ボックスをオンにします。</p>
GNAFSA1	<p>GNAF Statistical Area Level 1 (SA1) 識別子。</p> <p>このフィールドを出力に含めるには、</p> <p><b>[戻り値] &gt; [GNAF 識別子]</b> チェック ボックスをオンにします。</p>



## [出力フィールド] フィールド

## 説明

## LevelNumber

多層建築の階またはレベルの番号。例を次に示します。

**Floor 2, 17 Jones Street**

GNAF データベースには、オーストラリアの一部の州のレベル情報が含まれています。レベル情報がユニット情報に関連付けられている場合もありますが、常にこの関連付けがあるわけではありません。GNAF データベースでは、複数のレコードが同じレベルに含まれます。入力住所に固有のコンテンツ (ユニット番号など) がある場合のみ、レベル情報が返されます。GNAF 辞書に住所のレベル情報がある場合は、一致した候補と共にその情報が返されます。

入力住所にレベル情報がない場合、あるいは入力のレベル情報が不正確な場合でも、正しいレベル情報が返されます。入力住所にレベル情報があるが、GNAF データベースにはマッチング住所のレベル情報がない場合、GNAF データによって検証されない情報であるとして入力レベル情報が破棄されます。

このフィールドを出力に含めるには、

**[戻り値] > [レベルおよびロット]** チェック ボックスをオンにします。

## LevelType

多層建築の階に使われるラベル。例えば、"Level" または "Floor"。この例で、レベル タイプは "Level" です。

**Suite 3 Level 7, 17 Jones Street**

この例で、Suite 3 はユニットです。

このフィールドを出力に含めるには、

**[戻り値] > [レベルおよびロット]** チェック ボックスをオンにします。

## LotNumber

敷地番号が GNAF 候補に対して返されるのは、適切な物理的または家番号情報を持たない地方住所があるためです。

このフィールドを出力に含めるには、

**[戻り値] > [レベルおよびロット]** チェック ボックスをオンにします。

## MeshblockIdentifier

Meshblock は、オーストラリア統計局 (ABS) が統計データを収集するために作成した最も小さい地理的な単位です。通常、Meshblock には最低 20 から 50 の世帯が含まれています。これは、収集区 (CD: Collection District) の約 5 分の 1 の大きさです。Meshblock ID を使って、独自のデータに属性を追加できます。

このフィールドを出力に含めるには、

**[戻り値] > [GNAF 識別子]** チェック ボックスをオンにします。

## キー検索サービス

キー検索サービスは、以下の機能を提供します。

- 住所のユニーク キーを受け取ります。
- サポートされるキーは、米国 (USA) データ、またはオーストラリア (AUS) の GNAF データのもので (例: USA データの場合は P0000GL638OL、AUS の場合は GAACT715000223)。
- サポートされるキー タイプ: PB\_KEY または GNAF\_PID
- ジオコーディングされた一致あり候補を返します。

## カナダ (CAN)

### カスタム優先設定

カナダに対して、次の**カスタム優先設定**と**出力フィールド**がサポートされています。

優先設定	説明
FORCELDUDEF	<p>郵便番号の最後の 3 桁は <b>Local Delivery Unit</b> を定義します。</p> <p>注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>このオプションは、<b>[Global Geocode]</b> ウィンドウの、次の場所にあります。</p> <p><b>[マッチング] &gt; [LDU 一致を強制]</b> チェック ボックスをオンにします。</p>
ポイントの中央線情報を計算	<p>小区画ポイントから最も近い通り上のポイントを計算します。デフォルトは無効です。ジオコーディング対象ポイントを小区画の端に近づけたい場合のルーティングなど、一部の使用事例で有効になる中央線に沿った新しいポイントの設定を行うには、これを <b>CENTERLINE_OFFSET</b> と共に使用します。</p> <p>注：この機能を利用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>注：中央線マッチの結果コードは <b>SC</b> です。</p>

## 優先設定

## 説明

## 中央線オフセット

中心線マッチングは、ポイントレベルのジオコードを親の通りセグメントにリンクするためにポイントレベル マッチングと併用されます。この機能は、ルーティング アプリケーションで役立ちます。

中央線オフセットは、ポイントを通り中央線から小区画ポイントに向かって移動させる距離を指定します。デフォルトは0メートルです。

距離単位には、フィートまたはメートルを選択できます。

注：中央線マッチングを行うには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

## ポイントの中央線情報を計算

小区画ポイントから最も近い通り上のポイントを計算します。デフォルトは無効です。

注：この機能を利用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。

## USE\_CENTERLINE\_OFFSET

true に設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトは false です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

注：中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。

中央線ポイント一致は、**SC** で始まる結果コードによって示されます。

## CENTERLINE\_OFFSET

USE\_CENTERLINE\_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

## CENTERLINE\_OFFSET\_UNIT

USE\_CENTERLINE\_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、**feet**、**meters** です。デフォルト値は **meters** です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

## カスタム出力フィールド

フィールド名	説明
Census CD	住所がある場所の CD (Census Division)。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [Census]</b> チェック ボックスをオンにします。
Census CMA	住所がある場所の CMA (Census Metropolitan Area)。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [Census]</b> チェック ボックスをオンにします。
Census CSD	住所がある場所の CSD (Census Subdivision)。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [Census]</b> チェック ボックスをオンにします。
Census CT	住所がある場所の CT (Census Tract)。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [Census]</b> チェック ボックスをオンにします。
Census DA	住所がある場所の DA (Dissemination Area)。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [Census]</b> チェック ボックスをオンにします。
Formatted Street Range	住所に対する、書式が整えられた範囲データ。このフィールドは、郵便番号セントロイド候補に対してのみ返されます。 このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [フォーマット済み範囲]</b> チェック ボックスをオンにします。

## フランス (FRA)

### カスタム優先設定

フランスに対して、次のカスタム優先設定がサポートされています。

オプション名	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p>trueに設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p>trueに設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、<b>SC</b> で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、<b>feet</b>、<b>meters</b> です。デフォルト値は <b>meters</b> です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

## ドイツ (DEU)

### カスタム優先設定

ドイツに対して、次のカスタム優先設定がサポートされています。

オプション名	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p>trueに設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p>trueに設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、<b>SC</b> で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、<b>feet</b>、<b>meters</b> です。デフォルト値は <b>meters</b> です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

## 英国 (GBR)

### カスタム優先設定

英国に対して次のカスタム優先設定がサポートされています。

オプション名	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p>trueに設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p>trueに設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、<b>SC</b> で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、<b>feet</b>、<b>meters</b> です。デフォルト値は <b>meters</b> です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>



## ニュージーランド (NZL)

### カスタム優先設定

ニュージーランドに対して、次のカスタム優先設定と出力フィールドがサポートされています。

### カスタム出力フィールド

フィールド	説明
AliasedSuburb	<p>ニュージーランドの郊外のエイリアス。正式に認識されている郊外名の代替名。</p> <p>このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [郊外のエイリアス]</b> チェック ボックスをオンにします。</p>
KEYUFI	<p>ニュージーランド UFI。この一意識別子 (UFI) は、ジオコーディングされた住所が属する通りセグメントを識別します。UFI は、New Zealand Post によって割り当てられる最大7桁の数字列であり、各郵便配達ポイントを一意に識別します。利用可能な場合は UFI が常に返されますが、入力には UFI を使用できません。</p> <p>このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [UFI]</b> チェック ボックスをオンにします。</p>
MeshBlockID	<p>ニュージーランド Meshblock 識別子。Meshblock は、ニュージーランド統計局が統計データを収集するために作成した最も小さい地理的な単位です。Meshblock のサイズは、街区の一部から地方の広いエリアまでさまざまです。</p> <p>このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [メッシュ ブロック]</b> チェック ボックスをオンにします。</p>
OriginalLatitude	<p>元の緯度値。</p> <p>このフィールドを出力に含めるには、 <b>[戻り値] &gt; [原点]</b> チェック ボックスをオンにします。</p>

フィールド	説明
OriginalLongitude	元の経度値。 <b>[戻り値] &gt; [原点]</b> チェック ボックスをオンにします。

## ポルトガル (PRT)

### カスタム優先設定

ポルトガルに対して、次のカスタム優先設定がサポートされています。

優先設定	説明
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p>trueに設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはfalseです。フォワードジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、<b>SC</b> で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、<b>feet</b>、<b>meters</b> です。デフォルト値は <b>meters</b> です。フォワードジオコーディングのみでサポートされます。</p>

## シンガポール (SGP)

### カスタム優先設定

シンガポールに対して、次のカスタム優先設定がサポートされています。

オプション名	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p><code>true</code>に設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトは<code>false</code>です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p><code>true</code>に設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトは<code>false</code>です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、<b>SC</b> で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは <code>0</code> です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、<b>feet</b>、<b>meters</b> です。デフォルト値は <b>meters</b> です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

## スウェーデン (SWE)

### カスタム優先設定

スウェーデンに対して、次のカスタム優先設定がサポートされています。

オプション名	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p><code>true</code>に設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトは<code>false</code>です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p><code>true</code>に設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトは<code>false</code>です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、<b>SC</b> で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは <code>0</code> です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、<b>feet</b>、<b>meters</b> です。デフォルト値は <b>meters</b> です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

## 米国 (USA)

### カスタム優先設定

米国では、[カスタム優先設定](#)と[カスタム出力フィールド](#)がサポートされています。

米国ジオコーディングの[追加トピック](#)については、以下のカスタム テーブルを参照してください。

表 4: カスタム優先設定

優先設定	説明
USE_ADDRESS_POINT_INTERPOLATION	<p>trueに設定すると、住所ポイント補間が有効になります。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 住所ポイント補間機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p>
USE_CENTERLINE_OFFSET	<p>trueに設定すると、ポイント住所の中央線オフセットを計算します。デフォルトはfalseです。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p> <p>注: 中央線の機能を使用するには、ポイントレベルのジオコーディングデータセットがインストールされている必要があります。</p> <p>中央線ポイント一致は、<b>SC</b> で始まる結果コードによって示されます。</p>
CENTERLINE_OFFSET	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線からのオフセット距離を指定します。デフォルトは0です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>
CENTERLINE_OFFSET_UNIT	<p>USE_CENTERLINE_OFFSET が有効になっている場合、中央線オフセットの単位のタイプを指定します。有効な値は、<b>feet</b>、<b>meters</b> です。デフォルト値は <b>meters</b> です。フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。</p>

## カスタム出力フィールド

このセクションには、米国に固有の出力フィールドを示します。特に記載のない限り、これらのフィールドは、フォワードジオコーディングとリバースジオコーディングの両方で返すことができます。

次のカテゴリの出力フィールドが定義されています。

- **品質記述子**
- **パス済み住所**
- **ポイント**
- **中心線**
- **交差点**
- **Census**
- **郵便番号**
- **DPV**
- **Residential Delivery Indicator (RDI) Residential Delivery Indicator (RDI) の出力フィールド**  
(151ページ)
- **LACS<sup>Link</sup>**
- **Suite<sup>Link</sup>**
- **短い住所**
- **セグメント**
- **その他**

これらのカテゴリの1つ以上を出力に含めるには:

- **Management Console** で、**[国フィルタ]** ドロップダウンメニューを使用して **[米国]** を選択します。続いて **[戻り値]** タブで、適切な出力カテゴリ チェック ボックスをオンにします。

すべてのカテゴリ出力フィールドを返すには:

- **Management Console** で、**[国フィルタ]** ドロップダウンメニューを使用して **[米国]** を選択します。続いて **[戻り値]** タブで、**[すべての使用可能な情報を返す]** チェック ボックスをオンにします。

### 品質記述子の出力フィールド

品質記述子出力フィールドには、マッチングとジオコーディングの処理結果に関する情報が格納されます。

フィールド名	説明
信頼性	米国の候補に対する確信値を、その候補のカスタム出力フィールドとして使用できます。キーは "CONFIDENCE" です。
LocationCode	ロケーション コードは、割り当てられたジオコードの精度を示します。ロケーション コードの説明については、付録の <a href="#">住所のロケーション コード</a> (206ページ) を参照してください。
MatchCode	マッチ コードは、参照ファイルと一致した住所の部分、または一致しなかった住所の部分を示します。マッチ コードの説明については、付録の <a href="#">マッチ コード</a> (196ページ) を参照してください。
PostalFallback	米国のフォールバック候補は、正しい MatchCode と LocationCode を返します。これらは、郵便番号レベルのジオコードを示すコードではなく、郵便番号へのフォールバックを示しています。
MMResultCode	この候補に対する MapMarker 結果コード。結果コードについては、付録の「 <a href="#">グローバル結果コード</a> (223ページ)」を参照してください。

### パース済み住所出力フィールド

パース済み住所出力フィールドには、ジオコードによってパースされて正規化された一致住所のコンポーネントが格納されます。

フィールド名	説明
ParsedAddressLine	単一行入力住所の住所行。
ParsedCity	入力住所または出力住所の最終行からの省略形の都市名。ParsedCityName または ParsedPreferredCity からの値。
ParsedCountyName	郡の名前。
ParsedFirmName	USPS データまたは入力企業名からの企業名。交差点マッチングには適用されません。
ParsedHouseNumber	入力住所または出力住所の家番号。交差点マッチングには適用されません。
ParsedLastLine	住所の完全な最終行。



フィールド名	説明
ParsedMainAddress	住所の完全な 1 行目。
Parsed Name	通り名。
ParsedCityName	都市/州レコードからの一致住所の都市名。
ParsedPreferredCity	一致した住所の出力 ZIP Code に対する標準都市名。
ParsedState	州の略語。
ParsedUnitNumber	ユニット番号。交差点マッチングには適用されません。
ParsedUnitType	ユニット タイプ (APT や STE など)。交差点マッチングには適用されません。
ParsedZip	5 桁の ZIP Code。交差点マッチングには適用されません。
ParsedZip4	4 桁の拡張 ZIP Code。
ParsedZip9	9 桁の ZIP Code (ZIP + 4)。
ParsedZip10	ダッシュを区切り文字とする 10 桁の ZIP Code (ZIP + 4)。

### ポイントの出力フィールド

ポイント出力フィールドには、ポイントレベル データを用いたマッチングによって得られたジオコードに関する追加情報が格納されます。

注：特に記載がある場合を除き、フォワード ジオコーディングでのみサポートされます。

フィールド名	説明
APN ID	Assessor's Parcel Number (APN) 識別子。交差点マッチングには適用されません。

フィールド名	説明
NearestDistance	<p>入力場所から一致した通り セグメント、ポイント住所、または交差点までの距離 (フィート単位)。</p> <p>注: リバース ジオコーディング専用です。</p>
Parcen Elevation	<p>小区画セントロイドのジオコードの標高。交差点マッチングには適用されません。</p>
PBKey	<p>Master Location Dataset を使用して住所がマッチしたときに返される一意の住所の識別子。pbKey™ unique identifier は、マッチの属性データを返すための GeoEnrichment データセットに対する検索キーとして使用されます。</p> <p>注: フォワード ジオコーディングとリバース ジオコーディングの両方に対応します。</p> <p>注: このフィールドを返すには、<b>[すべての使用可能な情報を返す]</b> チェック ボックスをオンにします。</p>
Point ID	<p>ポイントレベル データにマッチした場合の一致レコードの一意のポイント ID。一致するレコードがポイントレベル データから取得されていない場合は、空白です。交差点マッチングには適用されません。</p>

### 中心線の実出力フィールド

中心線マッチングは、ポイント レベルのジオコードを親の通りセグメントにリンクするためにポイントレベルマッチングと併用されます。このタイプのマッチングでは、ポイントレベルマッチング単独では取得できない親の通り セグメントに関する追加情報が入手できます。この出力情報には、ポイント データ ジオコードから中心線マッチングまでの方位と距離も含まれます。

注: フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明
CenterlineBearing	<p>中心線候補の場合、ポイント データ マッチから中心線マッチまでのコンパス方向 (小数度単位)。真北 0 度から時計回りに計測されます。</p>
CenterlineLeftBlock	<p>中心線候補の場合、通り左側からの国勢調査細分区 ID。交差点マッチングには適用されません。</p>

フィールド名	説明																				
CenterlineRightBlock	中心線候補の場合、通り右側からの国勢調査細分区 ID。交差点マッチングには適用されません。																				
CenterlineLeftSFXBlock	中心線候補の場合、Census 2010 Geography の現在の左のブロック接尾語。一致するレコードがポイントレベル データから取得されている場合、このフィールドは空白になります。																				
CenterlineRightSFXBlock	中心線候補の場合、Census 2010 Geography の現在の右のブロック接尾語。一致するレコードがポイントレベル データから取得されている場合、このフィールドは空白になります。																				
CenterLineDatatype	<p>中心線候補の場合、中心線マッチを得るために使用したデータ タイプ。</p> <table border="0"> <tr> <td><b>0</b></td> <td>USPS</td> </tr> <tr> <td><b>1</b></td> <td>TIGER</td> </tr> <tr> <td><b>2</b></td> <td>TomTom Streets ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td><b>6</b></td> <td>NAVTEQ Streets ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td><b>7</b></td> <td>TomTom Points ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td><b>8</b></td> <td>Centrus Points ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td><b>9</b></td> <td>補助ファイル</td> </tr> <tr> <td><b>10</b></td> <td>ユーザ辞書</td> </tr> <tr> <td><b>11</b></td> <td>HERE Points ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td><b>12</b></td> <td>Master Location Data</td> </tr> </table>	<b>0</b>	USPS	<b>1</b>	TIGER	<b>2</b>	TomTom Streets ジオコーディング データセット	<b>6</b>	NAVTEQ Streets ジオコーディング データセット	<b>7</b>	TomTom Points ジオコーディング データセット	<b>8</b>	Centrus Points ジオコーディング データセット	<b>9</b>	補助ファイル	<b>10</b>	ユーザ辞書	<b>11</b>	HERE Points ジオコーディング データセット	<b>12</b>	Master Location Data
<b>0</b>	USPS																				
<b>1</b>	TIGER																				
<b>2</b>	TomTom Streets ジオコーディング データセット																				
<b>6</b>	NAVTEQ Streets ジオコーディング データセット																				
<b>7</b>	TomTom Points ジオコーディング データセット																				
<b>8</b>	Centrus Points ジオコーディング データセット																				
<b>9</b>	補助ファイル																				
<b>10</b>	ユーザ辞書																				
<b>11</b>	HERE Points ジオコーディング データセット																				
<b>12</b>	Master Location Data																				

フィールド名	説明
CenterlineAlias	<p>インデックス エイリアスによって中心線マッチを見つけたことを示す 3 文字。</p> <p>最初の文字は、以下のとおりです。</p> <p><b>N</b> 通常の通り マッチ</p> <p><b>A</b> エイリアス マッチ (建物、エイリアス、企業名などを含む)</p> <p>次の 2 文字は、以下のとおりです。</p> <p><b>01</b> 基本インデックス (通常の住所マッチ)</p> <p><b>02</b> USPS の通り名エイリアス インデックス</p> <p><b>03</b> USPS の建物インデックス</p> <p><b>05</b> Statewide Intersection エイリアス (Usw.gsi、Use.gsi、または Us.gsi ファイルを使用する場合)</p> <p><b>06</b> 空間データの通り名エイリアス (Us_pw.gsi、Usw.gsi、Us_pe.gsi、Use.gsi、Us_ps.gsi、Usp.gsi、Us_psw.gsi、または Us_pse.gsi ファイルの使用が必要な場合)</p> <p><b>07</b> 代替インデックス (ZIP9.gsu、ZIP9E.gsu、および ZIP9W.gsu を使用する場合)</p> <p><b>08</b> LACS<sup>Link</sup></p> <p><b>09</b> 未使用</p> <p><b>09</b> 補助ファイルとの一致</p> <p><b>10</b> Centrus Alias インデックス (usca.gsi 使用時)</p> <p><b>11</b> POI インデックス (poi.gsi 使用時)</p> <p><b>12</b> USPS 優先エイリアス</p> <p><b>13</b> ZIPMove マッチ (us.gsz 使用時)。</p> <p>us.gsz データ ファイルには、再編成された ZIP+4 コードが含まれ、都市名や金融番号が変更されています。具体的には、ZIPMove で金融エリアの変更が可能になっています。これは、入力された都市が複数の金融エリアにある場合や ZIPMove データに古い住所が含まれている場合を除き、CASS 検索では金融エリアを変更できないためです。</p> <p><b>14</b> 拡張中心点マッチ (us_cent.gsc または bldgcent.gsc 使用時)</p>
CenterLineLatitude	中心線候補の場合、整数値としての緯度 (1/1,000,000 度単位)。
CenterLineLongitude	中心線候補の場合、整数値としての経度 (1/1,000,000 度単位)。

フィールド名	説明
CenterlineName	中心線候補の場合、主要通り名。
CenterlineNearestDistance	中心線候補の場合、ポイントレベル マッチから中心線マッチまでの距離 (フィート単位)。
CenterlinePostDirectional	中心線候補の場合、通りの後置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
CenterlinePreDirectional	中心線候補の場合、通りの前置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
CenterlineQCity	中心線候補の場合、州、都市、または Finance Number。
CenterlineRoadClass	中心線候補の場合、道路クラス コード。 <b>0</b> 補助道路、メイン データ ファイル <b>1</b> 幹線道路、メイン データ ファイル <b>10</b> 補助道路、補足ファイル <b>11</b> 幹線道路、補足データ ファイル
CenterlineSegmentHiRange	中心線候補の場合、セグメントに含まれる家番号の最大値。
CenterlineSegmentLoRange	中心線候補の場合、セグメントに含まれる家番号の最小値。
CenterlineSegmentDirection	中心線候補の場合、セグメントの向き。 <b>F</b> 番号は順方向です。 <b>R</b> 番号は逆方向です。
CenterlineSegmentID	中心線候補の場合、データ ベンダーからの一意のセグメント ID。

フィールド名	説明
CenterlineSegmentParity	中心線候補の場合、セグメントの奇偶性。奇偶性とは、セグメントの奇数番号が通りのどちら側にあるかを示すものです。 <b>L</b> 通りの左側 <b>R</b> 通りの右側 <b>B</b> 通りの両側 <b>U</b> 不明
CenterlineType	中心線候補の場合、通り タイプ。

### 交差点の出力フィールド

交差点出力フィールドには、交差点マッチングにおける 2 つめのセグメントに関するデータが格納されます。

フィールド名	説明
BlockLeft2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの通り左側からの国勢調査細分区 ID。
BlockRight2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの通り右側からの国勢調査細分区 ID。
BlockSFXLeft2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Census 2010 Geography の現在の左のブロック接尾語。
BlockSFXRight2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Census 2010 Geography の現在の右のブロック接尾語。
CBSADivisionName2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Core Based Statistical Area (CBSA) 区分名。
CBSADivisionNumber2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Core Based Statistical Area (CBSA) 区分番号。
CBSAName2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Core Based Statistical Area (CBSA) 名。

フィールド名	説明																				
CBSANumber2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Core Based Statistical Area (CBSA) 番号。																				
CountyName2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの郡名。																				
County2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの FIPS 郡コード。																				
CSAName2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Combined Statistical Area (CSA) 名。																				
CSANumber2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの Combined Statistical Area (CSA) 番号。																				
DataType2	<p>交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントのマッチングに使用したデータのタイプ。</p> <table border="0"> <tr> <td><b>0</b></td> <td>USPS</td> </tr> <tr> <td><b>1</b></td> <td>TIGER</td> </tr> <tr> <td><b>2</b></td> <td>TomTom Streets ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td><b>6</b></td> <td>HERE Streets ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td><b>7</b></td> <td>TomTom Points ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td><b>8</b></td> <td>Centrus Points ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td><b>9</b></td> <td>補助ファイル</td> </tr> <tr> <td><b>10</b></td> <td>ユーザ辞書</td> </tr> <tr> <td><b>11</b></td> <td>HERE Points ジオコーディング データセット</td> </tr> <tr> <td><b>12</b></td> <td>Master Location Data</td> </tr> </table>	<b>0</b>	USPS	<b>1</b>	TIGER	<b>2</b>	TomTom Streets ジオコーディング データセット	<b>6</b>	HERE Streets ジオコーディング データセット	<b>7</b>	TomTom Points ジオコーディング データセット	<b>8</b>	Centrus Points ジオコーディング データセット	<b>9</b>	補助ファイル	<b>10</b>	ユーザ辞書	<b>11</b>	HERE Points ジオコーディング データセット	<b>12</b>	Master Location Data
<b>0</b>	USPS																				
<b>1</b>	TIGER																				
<b>2</b>	TomTom Streets ジオコーディング データセット																				
<b>6</b>	HERE Streets ジオコーディング データセット																				
<b>7</b>	TomTom Points ジオコーディング データセット																				
<b>8</b>	Centrus Points ジオコーディング データセット																				
<b>9</b>	補助ファイル																				
<b>10</b>	ユーザ辞書																				
<b>11</b>	HERE Points ジオコーディング データセット																				
<b>12</b>	Master Location Data																				
MetroFlag2	<p>住所がある Core Based Statistical Area (CBSA) が大都市圏か小都市圏かを示します。次のいずれかです。</p> <table border="0"> <tr> <td><b>Y</b></td> <td>住所は Metropolitan Statistical Area (大都市統計圏) にあります。大都市圏の人口は 50,000 人以上です。</td> </tr> <tr> <td><b>N</b></td> <td>住所は大都市統計圏内にありません。小都市圏内にあります。小都市圏の人口は 10,000 ~ 49,999 人です。</td> </tr> <tr> <td><b>空白</b></td> <td>空白です (郡は CBSA を含みません)。</td> </tr> </table>	<b>Y</b>	住所は Metropolitan Statistical Area (大都市統計圏) にあります。大都市圏の人口は 50,000 人以上です。	<b>N</b>	住所は大都市統計圏内にありません。小都市圏内にあります。小都市圏の人口は 10,000 ~ 49,999 人です。	<b>空白</b>	空白です (郡は CBSA を含みません)。														
<b>Y</b>	住所は Metropolitan Statistical Area (大都市統計圏) にあります。大都市圏の人口は 50,000 人以上です。																				
<b>N</b>	住所は大都市統計圏内にありません。小都市圏内にあります。小都市圏の人口は 10,000 ~ 49,999 人です。																				
<b>空白</b>	空白です (郡は CBSA を含みません)。																				

フィールド名	説明
Name2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの通り名。
PostDirectional2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめの通りの後置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
PreDirectional2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめの通りの前置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
RoadClass2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの道路クラス コード。 <b>0</b> 補助道路、メイン データ ファイル <b>1</b> 幹線道路、メイン データ ファイル <b>10</b> 補助道路、補足ファイル <b>11</b> 幹線道路、補足データ ファイル
SegHiRange2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの家番号の最大値。
SegLoRange2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの家番号の最小値。
SegmentDirection2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの方向。 <b>F</b> 番号は順方向です。 <b>R</b> 番号は逆方向です。
SegmentID2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの、プレミアム データ ベンダーによるセグメント ID (TLID) またはユニーク ID。
SegmentParity2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの奇偶性。奇偶性とは、セグメントの奇数番号が通りのどちら側にあるかを示すものです。 <b>L</b> 通りの左側 <b>R</b> 通りの右側 <b>B</b> 通りの両側 <b>U</b> 不明
Type2	交差点一致の場合、交差点の 2 つめのセグメントの通り タイプ。



### Census の出力フィールド

Census 出力フィールドには、住所に関する米国国勢調査情報が格納されます。

フィールド名	説明
Block	<p>15桁の国勢調査細分区 ID/国勢調査 FIPS コード。ssccccttttttgbbb という構文を使用します。ここで、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ss</b> — 2桁の FIPS 州コード</li> <li>• <b>ccc</b> — 3桁の FIPS 郡コード</li> <li>• <b>tttttt</b> — 6桁の FIPS 国勢統計区コード (ピリオドを除く)</li> <li>• <b>g</b> — 1桁の FIPS ブロック コード</li> <li>• <b>bbb</b> — FIPS ブロック コード</li> </ul> <p>交差点マッチングには適用されません。</p>
County	FIPS 郡コード。
StateFIPS	FIPS 州コード。

### 郵便の出力フィールド

郵便出力フィールドには、住所の詳細な郵便情報が格納されます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明				
AltFlag	<p>代替/基本レコードのインジケータ。</p> <table> <tr> <td><b>A</b></td> <td>Alternate</td> </tr> <tr> <td><b>B</b></td> <td>基本</td> </tr> </table>	<b>A</b>	Alternate	<b>B</b>	基本
<b>A</b>	Alternate				
<b>B</b>	基本				
CART	配達ルート ID。交差点マッチングには適用されません。				
CheckDigit	郵便ラベルのバーコードの末尾の 1 桁のコード。				
CountyStateKey	USPS 都市/州キー (USPS 都市/州製品におけるロケールを一意に識別する英数字の値)。				

フィールド名	説明
DFLT	<p>Highrise DFLT または Rural Routes のリターン ステータスを示します。</p> <p><b>Y</b> Highrise DFLT と Rural Routes の一方が Y を返したことを示します。</p> <p><b>空白</b> Highrise DFLT と Rural Routes の両方が N または空白を返したことを示します。</p>
DPBCCode	配達ポイント バーコード。
EWSMatch	<p>EWS マッチングが行われたかどうかを次のように示します。</p> <p><b>Y</b> EWS データに一致したため、一致が拒否されました。</p> <p><b>空白</b> 入力レコードが EWS データに一致しませんでした。</p>
Govt Flag	<p>政府機関の建物のインジケータ。</p> <p><b>A</b> 市政府の建物</p> <p><b>B</b> 連邦政府の建物</p> <p><b>C</b> 州政府の建物</p> <p><b>D</b> 会社専用</p> <p><b>E</b> 市政府の建物で会社専用</p> <p><b>F</b> 連邦政府の建物で会社専用</p> <p><b>G</b> 州政府の建物で会社専用</p> <p>A、B、C、E、F、および G は、代替レコードにのみ有効です (ALT_FLAG=A)。D は、ベースレコードと代替レコードの両方に有効です。</p>
HighriseDFLT	<p>高層レコードにマッチしたかどうかを示します。</p> <p><b>N</b> 高層レコードまたは通り レコードに完全一致しました。</p> <p><b>Y</b> レコードに完全には一致しませんでした。USPS のデフォルト高層レコードまたは通り レコードに一致しました。入力住所が正しく完全であるかを確認してください。</p> <p><b>空白</b> 入力住所に該当しない (PO Box や局留めの住所など) か、一致するものが見つかりませんでした。</p>

フィールド名	説明
LotCode	<p>LOT の昇順および降順値。正規化可能な住所に対してのみ使用できます。CASS モードで実行中で、DPV を初期化していないか、出力住所が DPV で確認されていない場合は、空白です。</p> <p><b>A</b>                    昇順</p> <p><b>D</b>                    降順</p>
LotNumber	<p>4 桁の eLot 番号。正規化可能な入力住所が必要です。CASS モードで実行中で、DPV を初期化していないか、出力住所が DPV で確認されていない場合は、空白です。</p>
MailStop	<p>郵便物集配所を指定する語 (MSC、MS、MAILSTOP、MAIL STOP、ATTN、ATTENTION) の後に現れる住所情報を返します。</p>
PMBDesignator	<p>PMB 指定子。</p>
PMBNumber	<p>PMB 番号。</p>
RuralRoutes	<p>地方配送路のマッチ インジケータ。</p> <p><b>N</b>            地方配送路レコードに完全一致しました。</p> <p><b>Y</b>            完全に一致するレコードは見つかりませんでした。USPS のデフォルト地方配送路レコードに一致しました。入力住所が正しく完全であるかを確認してください。</p> <p><b>空白</b>        入力住所に該当しない (通り住所、P.O.Box、局留めの住所など) か、一致するものが見つかりませんでした。</p>
URBName	<p>プエルトリコの都市化名。</p>
ZipCarrtSort	<p>許可されているカート ソートのタイプを示します。</p> <p><b>A</b>            自動化カート、オプションのカーターのマージともに許可されています。</p> <p><b>B</b>            自動化カートは許可されていますが、オプションのカーターのマージは許可されていません。</p> <p><b>C</b>            自動化カートは許可されていませんが、オプションのカーターのマージは許可されています。</p> <p><b>D</b>            自動化カート、オプションのカーターのマージともに許可されていません。</p>

フィールド名	説明
ZipClass	<p>ZIP 分類コード。</p> <p><b>空白</b> 標準 ZIP Code</p> <p><b>M</b> 軍施設の ZIP Code</p> <p><b>P</b> ZIP Code は私書箱専用</p> <p><b>U</b> ユニーク ZIP Code(ユニーク ZIP Code は、独自の ZIP Code を与えられるのに十分な量の郵便物がある会社、機関、または事業体に割り当てられる ZIP Code です)。</p>
ZipFacility	<p>USPS の都市/州名の施設コードを返します。</p> <p><b>A</b> Airport Mail Facility (AMF、空港の郵便施設)</p> <p><b>B</b> 支店</p> <p><b>C</b> Community Post Office (CPO、コミュニティの郵便局)</p> <p><b>D</b> Area Distribution Center (ADC、エリア流通センター)</p> <p><b>E</b> Sectional Center Facility (SCF、部門センター施設)</p> <p><b>F</b> Delivery Distribution Center (DDC、配達流通センター)</p> <p><b>G</b> General Mail Facility (GMF、一般の郵便施設)</p> <p><b>k</b> Bulk Mail Center (BMC、大口郵便センター)</p> <p><b>M</b> 郵便為替部門</p> <p><b>N</b> 非郵便コミュニティ名、以前の郵便施設、または場所名</p> <p><b>P</b> 郵便局</p> <p><b>S</b> 駅</p> <p><b>U</b> Urbanization</p>

### DPV の出力フィールド

DPV データ出力フィールドには、DPV データを使用して検出されたマッチに関する情報が格納されます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明
DPVCMRA	<p>Delivery Point Validation CMRA のインジケータ。</p> <p><b>Y</b> CMRA テーブルで住所が検出されたことを示します。</p> <p><b>N</b> CMRA テーブルで住所が検出されなかったことを示します。</p> <p><b>空白</b> DPV がロードされていません。</p>
DPVConfirm	<p>DPV データと一致したかどうかを示します。</p> <p><b>N</b> 何も確認されませんでした。</p> <p><b>Y</b> すべて確認済み (ZIP+4、プライマリ、およびセカンダリ)</p> <p><b>S</b> ZIP+4 およびプライマリ (家番号) が確認済み。</p> <p><b>D</b> ZIP+4 およびプライマリ (家番号) が確認済みで、デフォルトマッチ (HI_RISE_DFLT = Y)、セカンダリは確認されませんでした。</p> <p><b>空白</b> USPS ZIP+4 データに一致しない入力住所であるか、DPV データがロードされていません。</p>
DPVFalsePOS	<p>DPV 誤検出インジケータ。</p> <p><b>Y</b> 誤検出マッチがありました。</p> <p><b>空白</b> 誤検出マッチはありません。</p>
DPVFootNote1	<p>一致した DPV レコードに関する情報。</p> <p><b>AA</b> ZIP+4 が一致しています。</p> <p><b>A1</b> ZIP+4 が一致していません。</p> <p><b>空白</b> 住所がハッシュ テーブルに存在しないか、DPV データがロードされていません。</p>

フィールド名	説明
DPVFootNote2	<p>一致した DPV レコードに関する情報。</p> <p><b>BB</b> すべての DPV カテゴリが一致しています。</p> <p><b>CC</b> プライマリ/家番号は DPV に一致しましたが、セカンダリ/ユニット番号は一致しませんでした (存在しますが無効です)。</p> <p><b>M1</b> プライマリ/家番号が欠落しています。</p> <p><b>M3</b> プライマリ/家番号が無効です。</p> <p><b>N1</b> プライマリ/家番号が DPV と一致しましたが、セカンダリ番号が欠落しています。</p> <p><b>P1</b> PS、RR、または HC Box 番号が欠落しています。</p> <p><b>P3</b> PS、RR、または HC Box 番号が無効です。</p> <p><b>F1</b> すべて軍施設住所です。</p> <p><b>G1</b> すべて局留め住所です。</p> <p><b>U1</b> すべて一意の ZIP Code 住所です。</p> <p><b>空白</b> 住所がハッシュ テーブルに存在しないか、DPV データがロードされていません。</p> <p>注：ユニーク ZIP Code は、独自の ZIP Code を与えられるのに十分な量の郵便物がある会社、機関、または事業体に割り当てられる ZIP Code です。</p>
DPVFootNote3	<p>一致した DPV レコードに関する情報。</p> <p><b>R1</b> CMRA に一致しましたが、PMB の指定がありません。</p> <p><b>R2</b> CMRA に一致し、PMB が指定されています (PMB 123 または #123)。</p> <p><b>空白</b> 住所がハッシュ テーブルに存在しないか、DPV データがロードされていません。</p>
DPVNoSTAT	<p><b>Y</b> 住所は、CDS 前処理に対して有効です。</p> <p><b>N</b> 住所は、CDS 前処理に対して有効ではありません。</p> <p><b>空白</b> DPV がロードされていないか、DPV が確認されませんでした。</p>

フィールド名	説明
DPVShutdown	<b>Y</b> 住所は、誤検出テーブルにありました。
	<b>N</b> 住所は、誤検出テーブルにありませんでした。
	<b>空白</b> 住所がハッシュ テーブルに存在しないか、DPV データがロードされていません。
DPVvacant	<b>Y</b> 住所は空家です。
	<b>N</b> 住所は空家ではありません。
	<b>空白</b> DPV がロードされていないか、DPV が確認されませんでした (したがって、空家かどうかはわかりません)。

### Residential Delivery Indicator (RDI) の出力フィールド

Residential Delivery Indicator (RDI™) は、米国郵政公社 (USPS®) のデータ製品です。これにより、配達の種類が、居住用と事業用のどちらに分類されるかを特定できます。居住地に発送する場合、その郵政公社を利用して発送するとコストを削減できるとともに、通常その他の宅配業者から請求される追加料金がかからずに済みます。

注: RDI を使用するには、Delivery Point Validation (DPV) も有効になっており、米国通りデータセットが読み込まれている必要があります。

フィールド名	説明
RDIRetCode	Residential Delivery Indicator (RDI) のリターン コード <ul style="list-style-type: none"> <li>• Y = 居住用</li> <li>• N = 事業用</li> <li>• 空白 = RDI による処理なし</li> </ul>

### LACS<sup>Link</sup> の出力フィールド

LACS<sup>Link</sup> データ出力フィールドには、LACS<sup>Link</sup> データセットを使用して検出されたマッチに関する情報が格納されます。

注: フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明
LACSLinkFlag	住所に変換フラグが付けられているかどうかを示します。 <b>L</b> 住所に LACS 変換フラグが付けられています。 <b>空白</b> 住所に LACS 変換フラグは付けられていません。
LACSLinkIND	LACS <sup>Link</sup> インジケータ。 <b>Y</b> 一致した LACS <sup>Link</sup> レコード。 <b>N</b> LACS <sup>Link</sup> マッチが見つかりませんでした。 <b>F</b> 誤検出の LACS <sup>Link</sup> レコード。 <b>S</b> LACS <sup>Link</sup> マッチを得るためにセカンダリ情報(ユニット番号)が除去されました。 <b>空白</b> LACS <sup>Link</sup> によって処理されていません。
LACSLinkRetCode	LACS <sup>Link</sup> リターン コード。 <b>A</b> 一致した LACS <sup>Link</sup> レコード。 <b>00</b> LACS <sup>Link</sup> マッチが見つかりませんでした。 <b>09</b> 高層のデフォルトに一致しましたが、LACS <sup>Link</sup> 変換は行われませんでした。 <b>14</b> LACS <sup>Link</sup> マッチが見つかりましたが、LACS <sup>Link</sup> 変換は行われませんでした。 <b>92</b> LACS <sup>Link</sup> マッチを得るためにセカンダリ情報(ユニット番号)が除去されました。 <b>空白</b> LACS <sup>Link</sup> によって処理されていません。
LACSLinkShutdown	<b>Y</b> 誤検出が生じ、LACSLink ライブラリがシャットダウンしました。 <b>N</b> LACSLink ライブラリはシャットダウンしていないか、ロードされていません。

### Suite<sup>Link</sup> の出力フィールド

Suite<sup>Link</sup> 出力フィールドには、Suite<sup>Link</sup> データセットを使用して検出されたマッチに関する情報が格納されます。



注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明
SuiteLink_Ret_Code	<b>A</b> Suite <sup>Link</sup> レコードに一致しました。
	<b>00</b> Suite <sup>Link</sup> に一致しませんでした。
	<b>空白</b> この住所は Suite <sup>Link</sup> によって処理されていません。

### 短い住所の出力フィールド

短い住所出力フィールドには、一致住所の省略形要素が格納されます。

注：フォワード ジオコーディングのみでサポートされます。

フィールド名	説明
ShortAddressline	使用可能な短い通り名とその他の住所行コンポーネントで構成可能な、最短の住所行。
ShortCityName	LASTLINE_SHORT に表示される出力都市名。この値は、CITY に似たロジックによって決まります。可能な限り、この都市名は 13 文字以下です。  この出力都市名は、CASS ルールによって決まります。都市/州名、都市/州名の略語、標準の最終行都市/州名のいずれかになります。
ShortLastline	住所の最終行。可能な限り、このフィールドは 29 文字以下です。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 13 文字の都市名</li> <li>• 2 文字 (カンマと空白)</li> <li>• 2 文字の州の略語</li> <li>• 2 文字の空白</li> <li>• 10 桁の ZIP Code</li> </ul>
ShortStreetName	短い住所行を構成するために使用する短い通り名。  USPS が「30 Character Abbreviation - Cycle M Flow Chart」で定める処理に基づいて、この名前を略記することが試みられます。住所が 30 文字以下に短縮できなかった場合、このフィールドには、NAME フィールドが返す値と同じ通り名が含まれます。

フィールド名	説明
ShortPostDirectional	ADDRLINE_SHORT フィールドからの後置方位記号。
ShortPreDirectional	ADDRLINE_SHORT フィールドからの前置方位記号。
ShortStreetType	ADDRLINE_SHORT フィールドからの通りタイプ。

### セグメントの出力フィールド

セグメント出力フィールドには、データ プロバイダによって識別される通りセグメントに関する情報が格納されます。

フィールド名	説明
LeftBlockID	通り左側からの国勢調査細分区 ID。交差点マッチングには適用されません。
RightBlockID	通り右側からの国勢調査細分区 ID。交差点マッチングには適用されません。
LeftSFXBlock	Census 2010 Geography の現在の左のブロック接尾語。一致するレコードがポイントレベル データから取得されている場合、このフィールドは空白になります。
RightSFXBlock	Census 2010 Geography の現在の右のブロック接尾語。一致するレコードがポイントレベル データから取得されている場合、このフィールドは空白になります。

フィールド名	説明
<b>DataType</b>	マッチを得るために使用したデータのタイプ。 <b>0</b> USPS <b>1</b> TIGER <b>2</b> TomTom Streets ジオコーディング データセット <b>6</b> HERE Streets ジオコーディング データセット <b>7</b> TomTom Points ジオコーディング データセット <b>8</b> Centrus Points ジオコーディング データセット <b>9</b> 補助ファイル <b>10</b> ユーザ辞書 <b>11</b> HERE Points ジオコーディング データセット <b>12</b> Master Location Data
<b>DataTypeName</b>	候補マッチングのためのソース データ ベンダー。
<b>HiRange</b>	範囲内の家番号の最大値。交差点マッチングには適用されません。
<b>HighUnit</b>	範囲内のユニット番号の最大値。交差点マッチングには適用されません。
<b>HiZip4</b>	範囲内の ZIP+4 の最大値。交差点マッチングには適用されません。

フィールド名	説明
IsStreetAlias	<p>最初の文字は、以下のとおりです。</p> <p><b>N</b> 通常の通り マッチ</p> <p><b>A</b> エイリアス マッチ (建物、エイリアス、企業名などを含む)</p> <p>次の 2 文字は、以下のとおりです。</p> <p><b>01</b> 基本インデックス (通常の住所マッチ)</p> <p><b>02</b> USPS の通り名エイリアス インデックス</p> <p><b>03</b> USPS の建物インデックス</p> <p><b>05</b> Statewide Intersection エイリアス (Usw.gsi、Use.gsi、または Us.gsi ファイルを使用する場合)</p> <p><b>06</b> 空間データの通り名エイリアス (Us_pw.gsi、Usw.gsi、Us_pe.gsi、Use.gsi、Us_ps.gsi、Usp.gsi、Us_psw.gsi、または Us_pse.gsi ファイルの使用が必要な場合)</p> <p><b>07</b> 代替インデックス (ZIP9.gsu、ZIP9E.gsu、および ZIP9W.gsu を使用する場合)</p> <p><b>08</b> LACS<sup>Link</sup></p> <p><b>09</b> 未使用</p> <p><b>09</b> 補助ファイルとの一致</p> <p><b>10</b> Centrus Alias インデックス (usca.gsi 使用時)</p> <p><b>11</b> POI インデックス (poi.gsi 使用時)</p> <p><b>12</b> USPS 優先エイリアス</p> <p><b>13</b> ZIPMove マッチ (us.gsz 使用時)。</p> <p>us.gsz データ ファイルには、再編成された ZIP+4 コードが含まれ、都市名や金融番号が変更されています。具体的には、ZIPMove で金融エリアの変更が可能になっています。これは、入力された都市が複数の金融エリアにある場合や ZIPMove データに古い住所が含まれている場合を除き、CASS 検索では金融エリアを変更できないためです。</p> <p><b>14</b> 拡張中心点マッチ (us_cent.gsc または bldgcent.gsc 使用時)</p>
LoRange	範囲内の家番号の最小値。交差点マッチングには適用されません。
LowUnit	ユニット番号の最小値。交差点マッチングには適用されません。
LoZip4	この範囲内の ZIP+4 の最小値。交差点マッチングには適用されません。

フィールド名	説明
NearestDistance	<p>入力場所から一致した通り セグメント、ポイント住所、または交差点までの距離 (フィート単位)。</p> <p>注: リバースジオコーディング専用です。</p>
StreetPostDirectional	後置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
StreetPreDirectional	前置方位記号。空白、N、S、E、W、NE、NW、SW、または SE。
QCity	州、都市、金融番号。
RangeParity	<p>住所範囲での家番号の奇偶性を示します。</p> <p><b>E</b>                      偶数</p> <p><b>O</b>                      奇数</p> <p><b>B</b>                      両方</p>
RecType	<p>範囲レコード タイプを表します。</p> <p><b>A</b>                      補助ファイル</p> <p><b>F</b>                      Firm</p> <p><b>G</b>                      General Delivery</p> <p><b>H</b>                      Highrise</p> <p><b>P</b>                      郵便局/PO Box</p> <p><b>R</b>                      Rural Route</p> <p><b>S</b>                      Street</p> <p><b>T</b>                      TIGER レコードと一致</p> <p><b>U</b>                      ユーザ辞書</p> <p>交差点マッチングには適用されません。</p>

フィールド名	説明
RoadClass	<p>道路クラス コード。</p> <p><b>0</b>          補助道路、メイン データ ファイル</p> <p><b>1</b>          幹線道路、メイン データ ファイル</p> <p><b>10</b>        補助道路、補足ファイル</p> <p><b>11</b>        幹線道路、補足データ ファイル</p> <p>交差点マッチングには適用されません。</p>
SegmentHighRange	セグメントに含まれる家番号の最大値。
SegmentLowRange	セグメントに含まれる家番号の最小値。
SegmentDirection	<p>セグメントの方向。</p> <p><b>F</b>          番号は順方向です。</p> <p><b>R</b>          番号は逆方向です。</p>
SegmentID	<p>プレミアム データ ベンダーからのセグメント ID (TLID) またはユニーク ID。</p> <p>交差点マッチングには適用されません。</p>
SegmentParity	<p>セグメントの奇偶性。奇偶性とは、セグメントの奇数番号が通りのどちら側にあるかを示すものです。</p> <p><b>L</b>          通りの左側</p> <p><b>R</b>          通りの右側</p> <p><b>B</b>          通りの両側</p> <p><b>U</b>          不明</p>
StreetSide	<p>一致した住所は、通りの以下の側に面しています。</p> <p><b>L</b>          通りの左側。</p> <p><b>R</b>          通りの右側。</p> <p><b>B</b>          通りの両側。</p> <p><b>U</b>          どちら側か不明。</p> <p>ここでいう左右とは、セグメントの両端とセグメントの方向 (SEGMENT_DIRECTION) を基準にしたものです。</p>

フィールド名	説明
--------	----

ThoroughfareType	通りタイプ。
------------------	--------

### その他の出力フィールド

その他の出力フィールドには、マッチングに関するその他の情報が格納されます。

フィールド名	説明
--------	----

AUXUserData	補助ファイルから得られるユーザ データ。補助ファイルがない場合は空白です。
-------------	---------------------------------------

CBSADivisionName	Core Based Statistical Area (CBSA) 区分名。
------------------	---

CBSADivisionNumber	Core Based Statistical Area (CBSA) 区分番号。
--------------------	--

CBSAName	住所がある Core Based Statistical Area (CBSA) の名前。 CBSA は、大都市圏と小都市圏の両方を指す総称です。大都市圏は人口が 50,000 人以上で、小都市圏は人口が 10,000 ~ 49,999 人です。詳細については、「 <i>Metropolitan and Micropolitan Statistical Areas</i> 」セクション (米国情勢調査局 Web サイト) を参照してください。 <a href="http://www.census.gov/population/www/metroareas/metroarea.html">http://www.census.gov/population/www/metroareas/metroarea.html</a>
----------	---

CBSANumber	Core Based Statistical Area (CBSA) 番号。
------------	--

CSAName	Combined Statistical Area (CSA) 名。
---------	------------------------------------

CSANumber	Combined Statistical Area (CSA) 番号。
-----------	-------------------------------------

LAT	住所の緯度。
-----	--------

LON	住所の経度。
-----	--------

MatchedDB	マッチしたレコードを表すジオコーディングデータセットのインデックス。
-----------	------------------------------------

MCDName	補助ファイルから得られた MCD (Minor Civil Division) 名。補助ファイルとの一致がない場合は空白です。
---------	---

フィールド名	説明
MCDNumber	補助ファイルから得られた MCD (Minor Civil Division) 番号。補助ファイルとの一致がない場合は空白です。
MetroFlag	住所がある Core Based Statistical Area (CBSA) が大都市圏か小都市圏かを示します。次のいずれかです。 <b>Y</b> 住所は Metropolitan Statistical Area (大都市統計圏) にあります。大都市圏の人口は 50,000 人以上です。 <b>N</b> 住所は大都市統計圏内にありません。小都市圏内にあります。小都市圏の人口は 10,000 ~ 49,999 人です。 <b>空白</b> 空白です (郡は CBSA を含みません)。
ResolvedLine	2 行にわたる住所でどちらの行が住所の解決に使用されたかを示します。



## 米国ジオコーディングの追加トピック

### APN と標高を含む MLD 拡張属性

(米国) この機能により、pbKey を持つ住所指定可能な場所に関連付けられた拡張属性を利用できます。住所が、Master Location Data (MLD) と一致すると、Global Geocoding モジュールから、その住所に関連付けられたその他のプロパティ情報が返ります。こうした情報の例として、Assessor's Parcel Number (APN)、標高、住所タイプ、ロットサイズが挙げられます。APN を使用すると、小区画を特定して、Parcel ID を、資産や保険リスクの属性といった、保険業界のその他の情報にリンクさせることができます。詳細については、出力フィールドをすべて示した次のリストを参照してください。

#### 必要条件

MLD 拡張属性が返るようにするには、以下が必要です。

- Master Location Data データセット
- 通りデータセット
- MLD 拡張属性データセット
- MLD データセットと MLD 拡張属性データセットのヴィンテージは、互いに、4 か月以内であることを推奨します。

#### 設定

- MLD 拡張属性は、Spectrum のジオコーディングモジュールとも、Global Geocoding SDK (GGS) による Global Geocoding API (JAVA または REST) と併用可能です。
- EGM-USA: Management Console で、[出力] または [出力データ] タブを確認して、[MLD 拡張属性] オプションを選択します。出力フィールドが、[プレビュー] タブに表示されます。または、ステージから、Enterprise Designer 経由で返ります。

MLD 拡張属性の出力フィールド (オプション)

フィールド	説明
<b>AddressType</b>	ユニット数に関する住所タイプ: S – 単一のユニット M – 複数のユニット P – 私書箱 X – 不明
<b>APN</b>	Assessor's Parcel Number。
<b>IncorpPlaceInd</b>	自治体として認可された場所インジケータ。 I – 自治体として認可された場所 N – 自治体として認可されていない場所 X – 不明
<b>LotSize</b>	小区画のロット サイズ (平方フィート単位)。存在しなければ 0。
<b>LotSizeMeters</b>	L 小区画のロット サイズ (平方メートル単位)。存在しなければ 0。
<b>MECLatitude</b>	最小内包円の緯度を小数点以下 6 桁まで小数点省略で表記。存在しなければ 0。
<b>MECLongitude</b>	最小内包円の経度を小数点以下 6 桁まで小数点省略で表記。存在しなければ 0。
<b>MECRadius</b>	最小内包円の半径 (平方フィート単位) を整数で表記。例: 1234 は 1,234 フィートを示しています。
<b>MECRadiusMeters</b>	最小内包円の半径 (メートル単位) を小数点以下 1 桁まで表記。
標高	フィート単位の海拔を小数点以下 1 桁まで表記。例: 12.5 フィート

## フィールド 説明

<b>ResidentialBusiness</b>	使用状況のインジケータ: R – 個人使用 B – 企業使用 M – 混在使用 - 個人および企業 X – 不明な使用
<b>TigerFaceID</b>	TIGER Face 識別子。このフィールドは、外部データを使用した、すべての Census ジオコードとの照合に使用可能です。存在しなければ 0。
<b>TigerPlace</b>	TIGER Place コード。存在しなければ 0。
<b>UrbanAreaID</b>	TIGER 都市部識別子。都市部を定義する識別子。存在しなければ 0。
<b>UrbanAreaPop</b>	都市部の Census 人口。存在しなければ 0。
<b>Urbanicity</b>	都市部インジケータ。Census に従い、TIGER UACE コードを使用して住所の都市分類を定義するインジケータ。

### PBKey ZIP 中心点の位置

ジオコードのデフォルト動作は、住所レベルのジオコードがある住所指定可能な場所に対し、Master Location Data からの一致を返すことです。PBKey ZIP 中心点機能により、MLD に対するマッチング時に ZIP 中心点を返すことができます。高品質の場所情報がない住所の場合、このオプションにより pbKey™ unique identifier を利用できるようになります。この識別子により、GeoEnrichment データを使用して追加の住所情報を解読できるだけでなく、運用処理の効率化を実現します。ジオコーディングにおいて、住所の対象範囲と整合性を最大化できます。これらの住所を含めることにより、一致率を高め、一致の誤検出率を低下させます。また、米国の既知の住所すべてで pbKey™ ユニーク ID を利用できるようにします。デフォルトでは無効になっています。有効にするには、適切な CLI コマンドを使用します。詳細については、「[setting コマンド](#)」を参照してください。

注：この機能は Master Location Data でのみ使用できます。

## POI (ポイント情報) マッチング

Master Location Data および HERE Point Addresses に付属するオプションの POI (ポイント情報) インデックス ファイル (*poi.gsi*) は、エイリアス名マッチングの拡張サポートを提供します。

POI マッチングを有効にするには:

1. MLD または HERE Point Addresses データをデータベース リソースとして追加します。
2. **[住所行で建物検索]** チェック ボックスがオンになっていることを確認します。このオプションを有効にし、会社、建物、または POI 名が mainAddress 入力フィールドに指定されていると、POI インデックス ファイルが自動的に検索されます。
3. POI インデックス ファイルとのエイリアス一致が得られた場合は IsStreetAlias 出力フィールドにより、中央線一致の場合は CenterlineIsAlias フィールドにより、A11 が返されます。これらのフィールドの戻り値を有効にするには、[返す値] で **[セグメント]** および **[中央線]** のオプションを選択します。

## Expanded Centroids

Master Location Data (MLD) で一致した住所に対して複数のポイントレベル ジオコードが有効になることがあります。さまざまなタイプのポイントレベル ジオコードの詳細については、[住所のロケーションコード](#) (206ページ) の "APnn" の定義を参照してください。MLD データで複数のポイントレベル ジオコードが有効なときは、マッチした住所データとともに最も品質の高いジオコードが返されます。

**Expanded Centroids** マッチとして返されるロケーション コードは、値が "APnn" で、データ型が "MASTER LOCATION" になります。

拡張中心点マッチは、IsAlias リターン フィールドの "A14" という値で示されます。拡張中心点マッチで返されるロケーションコードは、値が "APnn" で、データタイプが "MASTER LOCATION" になります。

## 拡張マッチ コード

拡張マッチコードにより、家番号、ユニット番号、ユニットタイプの各フィールドにおけるすべての変更に関する追加情報が返されます。また、無視された住所情報があったかどうかを示します。拡張マッチ コードが返るのは、住所レベル マッチ (A、G、H、J、Q、R、S、T または U で始まるマッチ コード) のみです。その場合、3 桁目の 16 進数がマッチ コードに追加されています (「[マッチ コード](#) (196ページ)」を参照)。

注：典型的なマッチ コードは最大 4 文字から成り、最初の英字 1 文字に 2 または 3 桁の 16 進数が続きます。3 桁目の 16 進数は、交差点マッチ、または拡張マッチ コードの一部用に設定されます。

以下は、3 桁目の 16 進数の値についての情報です。

- 交差点マッチについては、「[一致に関する 16 進数 \(199ページ\)](#)」を参照してください。
- マッチ コードについては、「[Definitions for Extended Match Code \(3rd hex digit values\)](#)」を参照してください。

拡張マッチ コードの戻り値は、デフォルトで有効になっており、変更できません。

### 拡張マッチ コードの戻り値

次のいずれかの条件の適用時には、"Address information ignored" が指定されます。

- 入力住所が住所を二重に含む (入力住所に 2 つの完全な住所がある)。例: 4750 Walnut St.P.O Box 50
- 入力の最終行の余計な情報 (都市、州、郵便番号以外) が無視された。例えば、"Boulder, CO 80301 USA" の場合、"USA" がマッチング時に無視されます。

以下のテーブルで、拡張マッチ コードの 3 桁目の 16 進数が返す値について説明します。

入力住所行	出力住所行	拡張コード	説明
4750 WALNUT ST STE 200	4750 WALNUT ST STE 200	0	ユニット番号およびユニット タイプが含まれる場合、行のすべての住所がそれらを含めて一致しています。
4750 WALNUT ST C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST	1	ユニット番号およびユニット タイプが含まれる場合、それらが一致しています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
4750 WALNUT ST UNIT 200	4750 WALNUT ST STE 200	2	ユニット番号が一致しています。ユニット タイプが変更されています。
4750 WALNUT ST UNIT 200 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	3	ユニット番号が一致しています。ユニット タイプが変更されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。

入力住所行	出力住所行	拡張コード	説明
4750 WALNUT ST STE 2-00	4750 WALNUT ST STE 200	4	ユニット番号が、変更または無視されています。
4750 WALNUT ST STE 2-00 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	5	ユニット番号が、変更または無視されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
4750 WALNUT ST STE 400	4750 WALNUT ST STE 400	6	ユニット番号が、変更または無視されています。ユニットタイプが、変更または無視されています。この例では、Suite 400 は入力住所として有効ではありませんが、無効なユニット番号が原因で住所マッチが妨げられません。
4750 WALNUT ST UNIT 2-00 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	7	ユニット番号が、変更または無視されています。ユニットタイプが、変更または無視されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
47-50 WALNUT ST STE 200	4750 WALNUT ST STE 200	8	ユニット番号およびユニットタイプが含まれる場合、それらが一致しています。家番号が、変更または無視されています。
47-50 WALNUT ST STE 200 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	9	ユニット番号およびユニットタイプが含まれる場合、それらが一致しています。家番号が、変更または無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
47-50 WALNUT ST UNIT 200	4750 WALNUT ST STE 200	A	ユニット番号が一致しています。ユニットタイプが変更されています。家番号が、変更または無視されています。
47-50 WALNUT ST UNIT 200 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	B	ユニット番号が一致しています。ユニットタイプが変更されています。家番号が、変更または無視されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
47-50 WALNUT ST STE 20-0	4750 WALNUT ST STE 200	C	家番号が、変更または無視されています。ユニット番号が、変更または無視されています。

入力住所行	出力住所行	拡張コード	説明
47-50 WALNUT ST STE 20-0 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	D	家番号が、変更または無視されています。ユニット番号が、変更または無視されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。
47-50 WALNUT ST UNIT 20-0	4750 WALNUT ST STE 200	E	家番号が、変更または無視されています。ユニット番号が、変更または無視されています。ユニットタイプが、変更または無視されています。
47-50 WALNUT ST UNIT 2-00 C/O JOE SMITH	4750 WALNUT ST STE 200	F	家番号が、変更または無視されています。ユニット番号が、変更または無視されています。ユニットタイプが、変更または無視されています。住所行の余分な情報が無視されています。マッチングで考慮されない余計な情報は返されません。

### 都市のみの最終行マッチング

都市のみの最終行マッチングは、最終行に都市のみが入力された場合の住所マッチングを可能にする機能です。都市名は、mainAddress(単一行住所入力の場合)、LastLine、またはareaName3のいずれかのフィールドに入力されている必要があります。

最終行に都市のみが入力されている場合は、入力された都市が存在するすべての州が検索されます。そのため、最終行に都市と州が入力されている場合と比べて、マッチ件数(マッチコード E023 または E030 が返されるケース)は多くなる可能性があります。

#### 制約:

- 都市のみの最終行マッチング機能は、CASS モードではサポートされていません。
- 都市のみの最終行マッチング機能は、ユーザ辞書に対するマッチングではサポートされていません。
- 都市のみの最終行に対してマッチングを行う際には、**[都市名よりも郵便番号を優先]**のマッチングオプション設定は無視されます。
- 都市のみの最終行マッチングは、誤検出マッチが返されることを防ぐために、緩和マッチモードでは実行しないことを強く推奨します。

### 最終行の修正

**[最後の行を修正して出力]**が有効になっている場合は、住所が一致しなかったり存在しなかったりした場合でも、出力の最終行の要素が修正されて、適切な ZIP Code または Soundex による近似一致が提供されます。この機能はデフォルトで無効になっています。



最終行の修正が有効になっている場合は、以下の要素が修正されます。

- **都市の修正** - 都市の修正は、入力された ZIP Code に基づいて行われます。ただし、都市と州に対する一致が存在する場合は、両方の検索エリアが保持されます。ZIP Code が入力されていないときは、入力された州が正しいか、正式名で正しく表記されている必要があります。返されるロケーションコードと座標は、出力 ZIP Code に基づいて設定されます。

- 入力された都市が誤っている場合:

HAUDENVILLE MA 01039

戻り値: LASTLINE=HAYDENVILLE, MA 01039 LAT= 42396500 LON= -72689100

- **州の修正** - 州は、正式名で正しく表記されているときは省略形になり、ZIP Code が存在するときは修正されます。州の入力にはいくつかのバリエーションがあり、ILL、ILLI、CAL は認識されますが、MASS は認識されません。米国のジオコードはバリエーションの省略形を変更と見なさないため、ILL から IL はマッチコードで変更として識別されません。さらに、ZIP Code が 1 つしかない都市の ZIP Code の出力は変更と見なされません。

- 入力された都市が存在する場合:

Bronx NT, 10451

戻り値: LASTLINE= BRONX, NY 10451

Bronx NT

戻り値: LASTLINE= BRONX NT

修正に必要な ZIP Code がない。

- 入力された都市が存在しない場合 - ZIP Code に対応する都市が返される:

60515

戻り値: LASTLINE=DOWNERS GROVE, IL 60515

MATCH\_CODE=E622

ILLINOIS 60515 (または ILL 60515 または IL 60515 または ILLI 60515)

戻り値: LASTLINE=DOWNERS GROVE, IL 60515

MATCH\_CODE=E222

- **ZIP Code の修正** - ZIP Code は、有効な都市/州が特定され、その都市に ZIP Code が 1 つしかない場合にのみ修正されます。

- 入力されている場合:

HAUDENVILLE MA 01039

戻り値: LASTLINE=HAYDENVILLE, MA 01039

- 入力が誤っている場合 - ZIP Code の修正は行われず、両方の検索エリアが保持される:



HAUDENVILLE MA 01030

戻り値: LASTLINE=HAYDENVILLE, MA 01030

都市と ZIP Code が対応していない。

- 入力されていない場合:

DOWNRS GROVE, IL

戻り値: LASTLINE=DOWNERS GROVE, IL

都市に複数の ZIP Code がある。

LILSE IL

戻り値: LASTLINE=LISLE, IL 60532

都市に ZIP Code が 1 つしかない。

DOWNERS GROVE LL

戻り値: LASTLINE=DOWNERS GROVE LL,

修正に必要な ZIP Code がない。

DOWNRS GROVE, LL

戻り値: LASTLINE=DOWNRS GROVE, LL

修正に必要な ZIP Code がない。

LILSE ILLINOIS

戻り値: LASTLINE= LISLE, IL 60532

州が正式名で正しく表記されている。

LISLE ILLINOS

戻り値: LASTLINE= LISLE ILLINOS

州の正式名が誤っており、修正に必要な ZIP Code がない。

注：返されるマッチコードについては、[最終行の修正マッチコード](#)（202ページ）を参照してください。

## 住所範囲マッチング

一部の事業拠点は、住所範囲によって識別されます。例えば、ショッピングプラザの住所が 10-12 Front St. となる場合があります。一般的に、ビジネス郵便の宛先にはこのような事業拠点が指定されます。このような住所範囲は、補間された範囲の中間点にジオコーディングすることができます。

住所範囲は、一部の大都市圏に見られるハイフン (ダッシュ) で結ばれた住所とは異なります。例えば、Queens County (New York City) にハイフンで結ばれた 243-20 147 Ave という住所があるとします。これは (住所範囲ではなく) 単一の住宅を表しており、単一の住所としてジオコーディ

ングされます。ハイフンで結ばれた住所が完全一致として返される場合、Spectrum™ Technology Platform住所範囲マッチの取得は行われません。

住所範囲は実際の配達可能な USPS® 住所ではないため、住所範囲マッチングは Exact モードまたは CASS モードでは利用できません。以下のフィールドは、住所範囲ジオコーディングによって返されません。

- ZIP + 4® (複数セグメントの場合)
- 配達ポイント
- チェック デイジット
- 配達ルート
- レコード タイプ
- 複数ユニット
- デフォルト フラグ

住所範囲マッチングは、以下のガイドラインに従って機能します。

- ハイフンで区切られた 2 つの番号が必要です。
- 最初の番号は 2 つめの番号よりも小さくなくてはなりません。
- 2 つの番号の奇偶性 (奇数か偶数か) は同じでなければなりません。ただし、住所範囲そのものに奇数番号の住所と偶数番号の住所が混在している場合を除きます。
- 2 つの番号は、同じ通りセグメント上にあっても、2 つの異なるセグメント上にあってもかまいません。セグメントは連続していなくてもかまいません。
- 2 つの番号が同じ通りセグメント上にある場合、ジオコーディング後のポイントは、住所範囲のほぼ中間点に補間されます。
- 2 つの番号が異なるセグメント上にある場合、ジオコーディング後のポイントは、最初のセグメント上の有効な最後の家番号に基づきます。ZIP Code と FIPS コードは、最初のセグメントに基づきます。
- すべての場合において、ポイントを通りの正しい側に配置するために奇偶性が評価されます。

## サポートされていないオプション

- [カスタム モードの必須一致フィールド] 設定を使用したマッチング時には、[都市/町の下位区分] および [州/省の下位区分] オプションがサポートされません。

# B - カスタム データ セット ビルダ

## このセクションの構成

---

カスタム データセット ビルダ	172
フィーチャ	172
制限事項	172
ソース データの必要条件	173
カスタム データセット ビルダを使用する前に	173
カスタム データセット ビルダのコマンド	174
カスタム データセットの構築	176
Spectrum との統合	176
1ヶ国用の設定ファイルの作成	177
サポートされているすべての国に対応する設定ファイルの作成	179
ジオコーディング設定のカスタマイズ	179
ユーザ定義フィールドへのアクセス方法	187
カスタム データセット ビルダのサポート対象国	187

## カスタム データセット ビルダ

Pitney Bowes のカスタム データセット ビルダは、スタンドアロンのコマンド ライン ユーティリティで、ユーザがカスタムのデータセットを作成し、住所データを Spectrum Global Geocoding モジュール (GGM) と統合するために使用できます。このように作成されたカスタム データセットは、GGM の標準のデータセットの補足として使用できます。また、特定のデータセットに固有の機能を満たすため、ジオコーディングの動作を強化し、最適化する目的にも利用できます。

### カスタム データセット ビルダのワークフロー

- パッケージを展開します。ソース データが要件を満たしていることを確認します。
- サポートされている国と言語を確認します。1ヶ国用またはサポートされているすべての国に対応するサンプルのジオコーディング設定を作成します。ジオコーディング設定をカスタマイズします。
- カスタム データセットを構築します。データセットを Spectrum と統合します。

## フィーチャ

カスタム データセット ビルダは、次の機能をサポートしています。

- 特定のデータセットに固有のデータを含む、サポートされている国の通りおよび住所ポイントのフォワード ジオコーディング。
- 米国を除く、サポートされているすべての国でのリバース ジオコーディング。
- Global Geocoding モジュールでサポートされている 100 を超える国と言語でのデータ統合。  
「[カスタム データセット ビルダのサポート対象国](#)」を参照してください。
- MapInfo TAB のソース ファイル入力形式 (Native および NativeX) がサポートされています。

## 制限事項

カスタム データセット ビルダを使う前に、以下の点を考慮してください。

- カスタム データセット ビルダは、特殊文字 (□, # \$ % など) が含まれる TAB ファイル名をサポートしていません。カスタム データセット ビルダで使う TAB ファイルの名前に特殊文字が使われている場合は、名前を変更する必要があります。
- カスタム データセット ビルダは、バイト オーダー マーク (BOM) Unicode 文字をサポートしていません。メモ帳など、一部のエディタでは、テキストを UTF-8 形式で保存すると BOM が追加されるため、JSON ファイルを編集するときは BOM を追加しないエディタ (Notepad++ など) を使う必要があります。
- 複数の TAB ファイルを使用する国のデータの作成はサポートされていません。
- オプションのパラメータ `-usePackagedLib` は、Spectrum バージョン 2019.1 以降、および SPD バンドル OCT2019 以降でのみ動作します。

## ソース データの必要条件

ソース データは、次の条件を満たす必要があります。

- ソース ファイルは MapInfo TAB (Native または NativeX) でなければなりません。
- データのソース レコードは、ポイント ジオメトリまたはライン ジオメトリ (セグメントで構成されたデータ) を含んでいる必要があります。TAB ファイルで緯度と経度を表形式で (個別の列で) 使用できる場合は、それらの列を使用してジオメトリを生成する必要があります。
- データは、すべての必須のフィールドが含まれるスキーマに納められている必要があります。これらのフィールドは、データセットのビルドプロセス中にマッピングされます。特定のレコードで必須のフィールドの値が空白の場合、そのレコードはデータセットにインポートされません。
- 検索エリア コード (SAC) フィールドは郵便番号にマッピングされるのが理想的です。これは、ほとんどのケースで最も論理的なグループ分けです。ただし、米国、ドイツ、およびカナダでは必要ありません。
- Spectrum 2019.1 以降が必要です。また、SPD バンドルのバージョンは OCT2019 以降でなければなりません。

## カスタム データセット ビルダを使用する前に

カスタム データセット ビルダは、Spectrum Technology Platform および Global Geocoding モジュールをインストールすると使用できるようになります。場所は

server\modules\GlobalGeocode\customdatasetbuilder. です。ドキュメント (このドキュメント) はそのディレクトリにあります。

## カスタム データセット ビルダのコマンド

**注:** カスタム データセット ビルダのコマンドを使う前に、インストールされているすべての Global Geocoding モジュール データセットへのパスを調べる必要があります。

カスタム データセット ビルダのコマンドは、コマンド ラインを使用して、ツールのインストール場所のルートから実行されます。各コマンドの先頭には - (ハイフン) を付加します。使用できるコマンド

- **help:** カスタム データセット ビルダが提供しているコマンドの一覧をユーザに表示するとともに、コマンドを使用してユーザのデータを効果的に取り込む方法について示します。

```
java -Xmx512m -jar cdb-<version>.jar -help
```

- **findCountryWithLanguage:** このコマンドを使用すると、カスタム データセット ビルダでのカスタム データ作成でサポートされている国を把握できます。さらに、データの言語についての情報も提供されます。いずれの情報もテキストファイルに書き出されます (cdb-<バージョン>.jar と同じ場所に配置されます)。ユーザは後でこのテキスト ファイルを使用して、国およびサポートされる言語ごとの初期設定を生成できます。

```
java -Xmx512m -jar cdb<version>.jar
-findCountryWithLanguage-folderLocation="$folderLocation" -usePackagedLib
```

**findCountryWithLanguage** コマンドのパラメータは以下のとおりです。

- **folderLocation:** この値は、すべての SPD が抽出形式で配置される、親フォルダの場所です。
- **usePackagedLib:** SPD のライブラリではなく、カスタム データセット ビルダ ツールにバンドルされているライブラリを使用するオプションのパラメータ (米国では必須)。
- **createConfig:** このコマンドを使用すると、ユーザは国固有の設定 (JSON ファイル) を作成できます。これには、ユーザ データを取り込むためのユーザ データ情報の詳細なマッピングが含まれています。

```
java -Xmx512m -jar cdb<version>.jar-createConfig
-folderLocation="$folderLocation"
-country="$country_code"-dataType="$data_type" -language="$language_code"
-userProfile="basic/advance"-usePackagedLib
```



createConfig コマンドのパラメータは以下のとおりです。

- **folderLocation**: この値は、すべての SPD が抽出形式で配置される、親フォルダの場所です。
- **country**: ユーザが提供する必要がある設定を生成する場合に必要な必須の情報で、設定ファイルを作成する国です。国情報は、3 文字の ISO コードでのみ指定できます。
- **language**: ユーザが取り込むデータの言語を指定するためのオプションのフィールドです。このフィールドは、Pitney Bowes ジオコーディング ソフトウェアの現在のオフリングと一致している必要があります。このフィールドの値は、デフォルトで "en" (ラテンまたはプレーンな英語) に設定されています。
- **datatype**: 取り込むデータのタイプを指定するオプションのパラメータです。範囲データは "Street" にマッピングされ、ポイントデータは "AP" にマッピングされます。例: datatype=Street
- **userProfile**: オプションのパラメータです。ユーザの技術的能力に応じて、basic または advanced を指定します。デフォルト値は basic です。basic を指定すると、高度な設定を含まないデフォルトの JSON が作成されます。

ユーザ プロファイルとして advanced を指定すると、basic で提供されるすべての設定に加えて、追加の設定要素が提供されます。DEU、CAN、および USA ではサポートされません。

- **usePackagedLib**: SPD のライブラリではなく、カスタム データセット ビルダ ツールにバンドルされているライブラリを使用するオプションのパラメータ (米国では必須)。
- **buildAll**: buildAll コマンドを使用すると、createConfig コマンドと同様に、サポートされているすべての国および言語の設定を一度に作成できます。

```
java -Xmx512m -jar cdb-^<version>.jar -buildAll -folderLocation=
"$folderLocation" -userProfile="basic/advance" -usePackagedLib
```

buildAll コマンドのパラメータは以下のとおりです。

- **folderLocation**: この値は、すべての SPD が抽出形式で配置される、親フォルダの場所です。
- **userProfile**: オプションのパラメータです。ユーザの技術的能力に応じて、basic または advanced を指定します。デフォルト値は basic です。basic を指定すると、高度な設定を含まないデフォルトの JSON が作成されます。

ユーザ プロファイルとして advanced を指定すると、basic で提供されるすべての設定に加えて、追加の設定要素が提供されます。DEU、CAN、および USA ではサポートされません。

- **usePackagedLib**: SPD のライブラリではなく、カスタム データセット ビルダ ツールにバンドルされているライブラリを使用するオプションのパラメータ (米国では必須)。

- **createDictionary**: ユーザは、**createConfig** コマンドに説明されているすべての関連する設定を完了した後、このコマンドを使用して、ユーザ データを Pitney Bowes ジオコーディング ソフトウェアで利用可能な形式に取り込むビルド処理を開始できます。

```
java -Xmx512m -jar cdb<version>.jar -createDictionary  
-folderLocation="$folderLocation"  
-configFilePath="$configFilePath" -usePackagedLib
```

**createDictionary** コマンドのパラメータは以下のとおりです。

- **configFilePath**: 引数は、JSON ファイルの絶対パスです。
- **folderLocation**: この値は、すべての SPD が抽出形式で配置される、親フォルダの場所です。
- **usePackagedLib**: SPD のライブラリではなく、カスタム データセット ビルダ ツールにバンドルされているライブラリを使用するオプションのパラメータ (米国では必須)。

## カスタム データセットの構築

カスタム データセットの構築では、カスタマイズされた JSON ファイルを入力として使用します。また、ビルドコマンドを実行して、出力としてデータセットを構成するバイナリファイルを作成します。

カスタム データセットを構築するには、コマンド プロンプトから次のコマンドを実行します。

```
java -Xmx512m -jar cdb-<version>.jar -createDictionary  
-configFilePath="$configFilePath"
```

カスタム データセット ビルダは、データセットを構築し、指定されたフォルダに配置します。

## Spectrum との統合

カスタム データセットをビルドし、適用する国のインストール先フォルダに配置した後で、このデータセットを選択して **Spectrum Management Console** で使用できます。



## 1 ケ国用の設定ファイルの作成

1 ケ国用のサンプル設定ファイルを作成すると、デフォルトの JSON ファイルが用意されます。このファイルを変更して、カスタム データセットの構築に使用できます。

1 ケ国用のサンプル設定ファイルを作成するには、コメント プロンプトで次のコマンドを実行します。

```
java -Xmx512m -jar cdb-<version>.jar -createConfig  
-folderLocation="$folderLocation" -country="$country_code"  
-dataType="$data_type" -language="$language_code"  
-userProfile="basic/advance"
```

個別のパラメータの詳細については、「[カスタム データセット ビルダのコマンド](#)」を参照してください。

カスタム データセット ビルダにより、その国用の JSON ファイルが作成されます。

### フランスの設定

カスタム データセット ビルダは、他の国で使用するのと同様のコマンドを使用した、フランス、フランスの海外領土であるグアドループ (GLP)、フランス領ギアナ (GUF)、マルティニーク (MTQ)、マヨット (MYT)、レユニオン (REU)、およびモナコ公国 (MCO) のデータの作成をサポートしています。

これらの領土の住所をジオコーディングする場合は、フランスの住所と同様に、関連するすべての設定を指定します (領土のコードではなく国コード FRA を指定するなど)。親の国コード (FRA) とともに、これらの領土の一致候補が返ります。

#### 必要条件

- データは TAB 形式 (Native または NativeX) にする必要があります。

#### 結果:

- 通りジオコーディングのカスタム データセットを使用する場合、結果コードには、ユーザ データセットを表す "U" が含まれており、候補が標準住所データセットから作成された場合に付けられる "A" と区別されます。例えば、S5HPNTSCZA の代わりに S5HPNTSCZU となります。

#### 制限:

- カスタム データセット ビルダで作成されたデータは、現時点ではインタラクティブ ジオコーディングをサポートしていません。

## 米国の設定

米国のデータによってカスタム データセットを作成する場合は、USA\_DataManagerSettings.properties に特定の値を指定する必要があります。このプロパティ ファイルは、`cdb-<バージョン>.jar` ファイルと同じ場所にあります

```
java -Xmx512m -jar cdb-<version>.jar -createDictionary
-folderLocation="$folderLocation" -configFilePath="$configFilePath"
-usePackagedLib
```

注: 米国のデータを作成するには、通りデータセットのインストールが必要です。さらに、`-usePackagedLib` パラメータを使用する必要があります。このためには、Spectrum 2019.1 以降、および SPD バンドルのバージョン OCT2019 以降が必要です。

DICTIONARY\_PATH1: この値は、米国の住所辞書が展開された形式で存在するフォルダのパスになります。

LIB\_PATH: この値は、GGM モジュールの bin で使用可能な OS 固有 DLL のパスになります。

例: LIB\_PATH="..\Spectrum\server\modules\GlobalGeocode\bin"

usePackagedLib: 米国のデータを作成するには、このパラメータが必須です。このパラメータを指定すると、SPD のライブラリではなく、カスタム データセット ビルダ ツールにバンドルされているライブラリが使用されます。

### 必要条件

- Spectrum 2019.1 以降が必要です。
- SPD バンドルのバージョン OCT2019 以降が必要です。
- 通りデータセットが既にインストールされている必要があります。
- データは TAB 形式 (Native または NativeX) にする必要があります。

### 結果:

- 通りジオコーディングのカスタム データセットを使用する場合、結果コードには、ユーザ データセットを表す "U" が含まれており、候補が標準住所データセットから作成された場合に付けられる "A" と区別されます。例えば、S5HPNTSCZA の代わりに S5HPNTSCZU となります。

### 制限:

- カスタム データセット ビルダで作成されたデータは、現時点ではインタラクティブ ジオコーディングをサポートしていません。

## サポートされているすべての国に対応する設定ファイルの作成

すべての国用のサンプル設定ファイルを作成すると、デフォルトの JSON ファイルが用意されます。このファイルを変更して、カスタム データセットの構築に使用できます。

サポートされているすべての国に対応するサンプル設定ファイルを作成するには、コメント プロンプトで次のコマンドを実行します。

```
java -Xmx512m -jar cdb-<version>.jar -buildAll -folderLocation=  
"$folderLocation" -userProfile="basic/advance"
```

## ジオコーディング設定のカスタマイズ

ジオコーディング設定をカスタマイズするには、サンプルの JSON ファイルで指定されている設定のプロパティを変更します。JSON ファイルでは、次の 2 種類のプロパティが利用されます。

- ビルド時プロパティは、データ作成とジオコーディングの両方に使用されます。
- 実行時プロパティは、ジオコーディングでのみ利用可能です。

注：カスタムのジオコーディング設定は、特定のデータセットにのみ適用されます。それ以外のデータセットの動作には影響しません。

ジオコーディング設定をカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. 編集する JSON ファイルをテキスト ファイル エディタで開きます。
2. 必要なプロパティ キー値を変更します。
3. ファイルを閉じます。

次の一連のプロパティを確認して、データセットの JSON ファイルをカスタマイズできるかどうかを検討してください。

## configuration

このビルド時プロパティ セットは、データセットの設定を定義します。プロパティは次のとおりです。

- **country** – このプロパティは、データセットが適用される国を指定します。値は 3 文字の ISO 国コード (すべて大文字) です。例: **AUT**。
- **dataName** – このプロパティは、データセットの名前を指定します。使用できる値は、**AP** および **STREET** (大文字) です。**AP** は住所ポイントを表します。**STREET** は通り データを表します。
- **dataProviderName** – このプロパティは、データを提供するベンダーを指定します。このプロパティは変更しないことをお勧めします。
- **dataReader** – このプロパティは、データ リーダーを指定します。値は **Tab** です。このプロパティは変更しないことをお勧めします。
- **dictionaryType** – このプロパティは、データセット タイプを指定します。値は **Street** です。このプロパティは変更しないことをお勧めします。
- **dataLanguage** – このプロパティは、データセットで使用する言語を指定します。値は 2 文字の略語です。例: **en**この値は変更しないことをお勧めします。

設定プロパティの例を以下に示します。

```
"Configuration": {
  "country": "AUT",
  "dataName": "STREET",
  "dataProviderName": "TA",
  "dataReader": "Tab",
  "dictionaryType": "Street",
  "dataLanguage": "en"
}
```

注：プロパティと値はどちらも引用符で囲みます。

## field

このビルド時プロパティ セットは、データセットのフィールド形式を定義します。プロパティは次のとおりです。

- **StreetName**: 通り フィールドを指定します。
- **PostCode**: 郵便番号フィールドを指定します。
- **AreaName1**: このプロパティは、州/省フィールドを指定します。

- AreaName1 (米国固有): 州の略語のフィールドにマッピングされます。
- AreaName2: このプロパティは、郡フィールドを指定します。
- AreaName3: このプロパティは、都市フィールドを指定します。
- AreaName4: このプロパティは、地方フィールドを指定します。
- StartingAddressNumber: このプロパティは、道路の左側と右側に割り振られた住所番号範囲の最初の番号を指定します。
- EndingAddressNumber: このプロパティは、道路の左側と右側に割り振られた住所番号範囲の最後の番号を指定します。
- StreetSideIndicator: このプロパティは、道路の左側と右側に割り振られた偶数や奇数の住所番号構造を指定します。マッピングされるフィールドには、以下の表に示すいずれかの値が含まれている必要があります。それ以外の値がマッピングされると、データ作成エラーが発生することがあります。

フィールドの値	説明	例
0 または 1	住所番号範囲がない	
2	偶数の範囲 From Left – To Left (2-10)	2、4、6、8、10
3	奇数の範囲 From Left – To Left (1-9)	1、3、5、7、9
4	混在 From Left – To Left (1-10)	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10

- geometry\_name: このプロパティは、キー **GeometryName** と値 “GEOM” をペアにします。
- StreetAdditionalFields: このプロパティは、追加の通り候補情報が必要かどうかを指定します。
- RangeAdditionalFields: このプロパティは、追加の範囲情報が必要かどうかを指定します。
- UnitAdditionalFields: このプロパティは、追加のフィールドをユニットレベルで指定します。
- PostalAdditionalFields: このプロパティは、追加のフィールドを行政区画レベルで指定します。

次のプロパティは、上記のプロパティに従属します。

- **Comments:** プロパティに関する説明。
- **keys:** このプロパティは、特定のフィールドの1つまたは複数のキーを指定します。上記のいずれかのプロパティにネストします。既存のキーは生成時のまま変更しないことをお勧めします。レベルの異なる追加のフィールドについては、追加してもかまいません。
- **values:** このプロパティは、カスタム データソース内でフィールドがマッピングされるフィールドの名前を指定します。上記のいずれかのプロパティにネストします。
- **altValues:** オプションのフィールド。マッピングされるキーの代替値を指定します。

カナダ固有の altValue: カナダの郵便番号は 6 桁です。この 6 桁のうち、前半の 3 桁は values にマッピングされ、後半の 3 桁は altValues にマッピングされます。

```
"PostCode" : {
  "keys": ["LeftPostCode", "RightPostCode"],
  "values": ["PostalCode", "PostalCode"],
  "altValues": ["PostalCode_AddOn", "PostalCode_AddOn"]
}
"PostCode" : {
  "keys": ["LeftPostCode", "RightPostCode"],
  "values": ["PostalCode", "PostalCode"],
  "altValues": ["PostalCode_AddOn", "PostalCode_AddOn"]
}
"PostCode" : {
  "Comments" : "Mapping for Post Code and Extended Post Code from source data.",
  "keys" : [ "LeftPostCode", "RightPostCode" ],
  "values" : [ "Left_postalcode_5", "Right_postalcode_5" ],
  "altValues" : [ "Left_postalcode_3", "Right_postalcode_3" ]
},
```

シンガポール: 郵便番号は 2 つのフィールドでマッピングされます。最初のフィールドには先頭の 2 桁の郵便番号が入ります。2 番目のフィールドには残りの 4 桁が入ります。

住所ポイントの場合、value と altValue は **postcode2**、**postcode4** になります。

通り データの場合: **l\_postcode2/l\_postcode4/r\_postcode2/r\_postcode4**

```
"PostCode" : {
  "Comments" : "Mapping for Post Code and Extended Post Code from source data.",
  "keys" : [ "LeftPostCode", "RightPostCode" ],
  "values" : ["l_postcode2", "r_postcode2"],
  "altValues" : ["l_postcode4", "r_postcode4"]
},
```

フィールド プロパティの例を以下に示します。

```

"field": {
  "StreetName": {
    "Comments" : "Mapping for Street Name and Street Name Alias from source
data.",
    "keys" : "StreetName",
    "values" : "STRASSE",
    "altValues" : ""
  },
  "PostCode" : {
    "Comments" : "Mapping for Post Code and Extended Post Code from source
data.",
    "keys" : [ "LeftPostCode", "RightPostCode" ],
    "values" : [ "PLZ", "PLZ" ],
    "altValues" : [ "", "" ]
  },
  "AreaName3" : {
    "keys" : [ "LeftAreaName3", "RightAreaName3" ],
    "values" : [ "ORT", "ORT" ],
    "altValues" : [ "", "" ]
  },
  "AreaName4" : {
    "keys" : [ "LeftAreaName4", "RightAreaName4" ],
    "values" : [ "ORTSTEIL", "ORTSTEIL" ],
    "altValues" : [ "", "" ]
  },
  "StreetSideIndicator" : {
    "Comments" : "Mapping for Street Side Indicator from source data.",
    "keys" : [ "LeftStreetSideIndicator", "RightStreetSideIndicator"
],
    "values" : [ "", "" ]
  },
  "StartingAddressNumber" : {
    "Comments" : "Mapping for Starting Address Number from source data.",
    "keys" : [ "FromLeftStartingAddressNumber",
"FromRightStartingAddressNumber" ],
    "values" : [ "HAUSNR_VON", "HAUSNR_VON" ]
  },
  "EndingAddressNumber" : {
    "Comments" : "Mapping for Ending Address Number from source data.",
    "keys" : [ "ToLeftEndingAddressNumber",
"ToRightEndingAddressNumber" ],
    "values" : [ "HAUSNR_VON", "HAUSNR_VON" ]
  },
  "StreetAdditionalFields" : {
    "Comments" : "Mapping for Additional Fields at Street level from
source data.",
    "keys" : [ "sub_locality", "sub_town" ],
    "values" : [ "ORTSTEIL", "ORT" ]
  },
  "RangeAdditionalFields" : {

```

```

    "Comments" : "Mapping for Additional Fields at Range level from source
data.",
    "keys" : [ "RangeIdentifier" ],
    "values" : [ "ORTSTEIL" ]
  },
  "UnitAdditionalFields" : {
    "Comments" : "Mapping for Additional Fields at Unit level from source
data.",
    "keys" : [ "UnitIdentifier" ],
    "values" : [ "ORTSTEIL" ]
  },
  "PostalAdditionalFields" : {
    "Comments" : "Mapping for Additional Fields at Postal level from
source data.",
    "keys" : [ "PostalIdentifier" ],
    "values" : [ "ORTSTEIL" ]
  },
  "geometry_name" : {
    "Comments" : "Mapping for Geometry from source data.",
    "keys" : "GeometryName",
    "values" : ""
  }
}

```

## dataReader

このビルド時プロパティ セットは、データセットのデータ リーダー プロパティを定義します。プロパティは次のとおりです。

- **tab**: このプロパティは、リーダーが **TAB** ファイル リーダーであることを示します。

次のプロパティは、上記のプロパティに従属します。

- **TABFile**: このプロパティは、**TAB** ファイルを指定します。これは **tab** プロパティにネストします。
- **inputPath**: このプロパティは、カスタム ソース データへのパスを指定します。 **tab** プロパティの場合、これは完全なファイル パスです。

dataReader プロパティの例を以下に示します。

```

"dataReader": {
  "Comments": "Mapping for input file path and TAB file name."
  "tab" : {
    "inputPath" : "<InputTabFileFolder>/AUT_TAB",
    "TABFile" : "AT_scheme_dummy_sample1"
  }
}

```



## 出力

このビルド時プロパティは、カスタム データセットの出力パスを定義します。例:

```
"output" : {  
  "outputPath" : "<FolderLocation>/AUT_UD"  
}
```

## errata

このビルド時プロパティは、検索エリア コード (Sac) を作成するためのフィールド マッピングを定義します。

例:

```
"errata" : {  
  "SacFromFile" : [ "PostalCode", "PostalCode" ]  
}
```

SacFromFile JSON では数値でなければなりません。郵便番号はほとんどの国で数値であり、SacFromFile の定義に使用できます。郵便番号が数値でない国の場合、カスタム データセットビルダでは論理的なグループ化が可能なフィールドが必要になります。

## advancedConfigs

この実行時プロパティセットは、カスタム設定値を定義します。Abbreviations、Post\_StreetTypes、Pre\_StreetTypes の各サブセットを含んでおり、それらはキーと編集可能な値を含んでいます。

この設定は、userProfile="Advance" の場合にのみ使用できます。

### Abbreviations

このプロパティを使用すると、国固有の略語を設定できます。

例:

```
"Abbreviations" : [ "Wien:Wien", "Freih:Frh", "LIMITED:LTD",  
  "INDUSTRIES:IND", "FOOTBALL:F", "OÖ:Oberösterreich", "haus:hs",  
  "Hauptbahnhof:Hbf", "Sankt%:St", "European+Economic+Interest+Group:EEIG",  
  "Dekan:Dek", "BUILDING:BLD", "NÖ:Niederösterreich"]
```

SacFromFile JSON では数値でなければなりません。郵便番号はほとんどの国で数値であり、SacFromFile の定義に使用できます。郵便番号が数値でない国の場合、カスタム データセットビルダでは論理的なグループ化が可能なフィールドが必要になります。

### Post\_StreetType

このプロパティを使用すると、通り名の後に記述されることが多い国固有の通りタイプを設定できます。

例:

```
"Post_StreetTypes" : [
  "CHAUSÉE:chaussee,CHAUSSEE,CHAUSSEE.,CHAUSSÉ,CHAUSSÉ.,CHAUSSÉ,CH.,CHAUSS.,CHAUS.,CHAUS,CHAUSS",
  "PROM:PROM,promenade,Prom.", "WEG:WEG,weg,Weg.", "DAMM:DAM,damm,Damm.",
  "RING:RNG,ring,Ring.", "BOULEVARD:BD,boulevard,boulevard.,BD.",
  "GASSE:GA,gasse,Gasse.,g.", "PLATZ:PL,platz,platz.,PL.",
  "PROMENADE:PROM,promenade",
  "STRAÙE:STR,STRAÙE,STRASSE,STRASS,STRASE,STRABE,STREET" ]
```

### Pre\_StreetTypes

このプロパティを使用すると、通り名の前に記述されることが多い国固有の通りタイプを設定できます。

```
"Pre_StreetTypes" : [ "Rue:R." ]
```

以下は advancedConfigs プロパティを示しています。

```
"advancedConfigs" : {
  "Post_StreetTypes" : [
    "CHAUSÉE:chaussee,CHAUSSEE,CHAUSSEE.,CHAUSSÉ,CHAUSSÉ.,CHAUSSÉ,CH.,CHAUSS.,CHAUS.,CHAUS,CHAUSS",
    "PROM:PROM,promenade,Prom.", "WEG:WEG,weg,Weg.", "DAMM:DAM,damm,Damm.",
    "RING:RNG,ring,Ring.", "BOULEVARD:BD,boulevard,boulevard.,BD.",
    "GASSE:GA,gasse,Gasse.,g.", "PLATZ:PL,platz,platz.,PL.",
    "PROMENADE:PROM,promenade",
    "STRAÙE:STR,STRAÙE,STRASSE,STRASS,STRASE,STRABE,STREET" ],
  "Abbreviations" : [ "Wien:Wien", "Freih:Frh", "LIMITED:LTD",
    "INDUSTRIES:IND", "FOOTBALL:F", "OÖ:Oberösterreich", "haus:hs",
    "Hauptbahnhof:Hbf", "Sankt%:St", "European+Economic+Interest+Group:EEIG",
    "Dekan:Dek", "BUILDING:BLD", "NÖ:Niederösterreich" ],
  "Pre_StreetTypes" : [ "Rue:R." ]
```

## ユーザ定義フィールドへのアクセス方法

設定 JSON ファイルに追加のフィールドをマッピングし、Global Geocoding モジュールを通してジオコーディングを行うときに利用できます。

ユーザ定義フィールドにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. Enterprise Designer で、GlobalGeocode ステージを使用してデータフローを作成します。
2. [Write to File オプション] の [フィールド] タブで、[追加] ボタンを使用してフィールドを追加します。JSON で定義されているのと同じ名前を使用してください。
3. データフローを保存して、住所をジオコードします。出力にユーザ定義フィールドが含まれます。

## カスタム データセット ビルダのサポート対象国

Country	ISO 国コード
アルバニア	ALB
アルジェリア	DZA
Angola	AGO
アルゼンチン	ARG
Aruba	ABW
オーストラリア	AUS
オーストリア	AUT
バハマ	BHS

Country	ISO 国コード
Bahrain	BHR
Barbados	BRB
Belarus	BLR
ベルギー、ルクセンブルク	BEL
Belize	BLZ
Benin	BEN
Bermuda	BMU
ボリビア	BOL
ボスニア・ヘルツェゴビナ	BIH
Botswana	BWA
ブラジル	BRA
Brunei Darussalam	BRN
Bulgaria	BGR
Burkina Faso	BFA
Burundi	BDI
Cameroon	CMR
カナダ	CAN
チリ	CHL
中国	CHN

Country	ISO 国コード
コロンビア	COL
コンゴ-ブラザビル	COG
コンゴ-キンシャサ	COD
コスタリカ	CRI
Croatia	HRV
Cuba	CUB
キプロス	CYP
チェコ共和国	CZE
デンマーク	DNK
Dominican Republic	DOM
Ecuador	ECU
Egypt	EGY
El Salvador	SLV
Estonia	EST
フィンランド	FIN
フランス、フランス領ギアナ、グアドループ、マルティニーク、マヨット、モナコ、レユニオン	FRA、GLP、GUF、MCO、MTQ、MYT、REU
Gabon	GAB
ドイツ	DEU
Ghana	GHA

Country	ISO 国コード
Greece	GRC
Guatemala	GTM
Guyana	GUY
Honduras	HND
Hong Kong	HKG
ハンガリー	HUN
アイスランド	ISL
インド	IND
Indonesia	IDN
イラク	IRQ
アイルランド	IRL
イタリア、バチカン市国、サンマリノ	ITA、VAT、SMR
Jamaica	JAM
日本	JPN
ヨルダン	JOR
Kenya	KEN
Korea	KOR
コソボ	XKX
Kuwait	KWT

Country	ISO 国コード
Latvia	LVA
Lebanon	LBN
Lesotho	LSO
Lithuania	LTU
Macau	MAC
Macedonia	MKD
Malawi	MWI
マレーシア	MYS
Mali	MLI
マルタ	MLT
Mauritania	MRT
Mauritius	MUS
メキシコ	MEX
モンテネグロ	MNE
Morocco	MAR
Mozambique	MOZ
Namibia	NAM
Netherlands	NLD
ニュージーランド	NZL

Country	ISO 国コード
Nicaragua	NIC
Niger	NER
Nigeria	NGA
ノルウェー	NOR
Oman	OMN
Panama	PAN
Paraguay	PRY
Peru	PER
Philippines	PHL
ポーランド	POL
ポルトガル	PRT
Qatar	QAT
ルーマニア	ROU
ロシア	RUS
Rwanda	RWA
Saint Kitts and Nevis	KNA
Saudi Arabia	SAU
Senegal	SEN
セルビア	SRB



Country	ISO 国コード
シンガポール	SGP
Slovakia	SVK
Slovenia	SVN
South Africa	ZAF
スペイン、アンドラ、ジブラルタル	ESP AND GIB
Suriname	SUR
Swaziland	SWZ
スウェーデン	SWE
スイス、リヒテンシュタイン	CHE LIE
台湾	TWN
Tanzania	TZA
Thailand	THA
Togo	TGO
Trinidad and Tobago	TTO
Tunisia	TUN
Turkey	TUR
Uganda	UGA
Ukraine	UKR
United Arab Emirates	ARE

Country	ISO 国コード
英国	GBR
米国	USA
ウルグアイ	URY
ベネズエラ	VEN
Viet Nam	VNM
イエメン	YEM
Zambia	ZMB
Zimbabwe	ZWE

# C - 結果コード

## このセクションの構成

---

米国のマッチコードとロケーションコード	196
グローバル結果コード	223

## 米国のマッチコードとロケーションコード

### マッチコード

ジオコーダは、データベースと一致した住所の部分、または一致しなかった住所の部分を示すマッチコードを返します。

ジオコーダがマッチングを行うことができない場合、マッチコードは "E" で始まり、残りの数字は住所が一致しなかった理由を示します。"Ennn" コードの説明については、[一致しなかった場合の "Ennn" マッチコード \(201ページ\)](#) を参照してください。こうした -> この数字が示しているのは、一致しなかった特定の住所要素ではなく、住所が一致しなかった理由です。

次の表には、マッチコードの値が記されています。マッチコードの [16 進数の説明](#) については、[一致に関する 16 進数 \(199ページ\)](#) を参照してください。

コード	説明
Ahh	"Shh" と同じですが、エイリアス名レコードまたは代替レコードに対する一致を示します。
Chh	通りの住所は一致しませんでした。入力された ZIP Code または都市に基づく通り セグメントが特定されました。
D00	一致したのは私書箱または局留めの配達のみが扱われている小さな町です。
Gxx	補助ファイルに一致しました。
Hhh	家番号が変更されました。
Jhh	ユーザ定義辞書に一致しました。

コード	説明
Nxx	<p>最も近い住所に一致しました。リバース ジオコーディングで使用されます。以下に、N でのみ使用される値を示します。</p> <p><b>NS0</b>      最も近い通り中央一致 (補間された最も近い通りセグメント)</p> <p><b>NS1</b>      最も近い番号なし通りセグメント</p> <p><b>NP0</b>      最も近いポイント住所</p> <p><b>NX0</b>      最も近い交差点</p>
P	Reverse APN Lookup に成功しました。
Qhh	固有の ZIP Code を持つ USPS 範囲レコードに一致しました。固有の ZIP Code 値に一致する場合は、CASS ルールによって入力 ZIP の変更が禁止されています。
Rhh	住所範囲に一致しました。
Shh	USPS データに一致しました。住所の USPS リストに直接一致したという理由で、最良の住所一致と見なされます。"S" は、一致した住所が空白の ZIP + 4 を持つ場合に少数の住所に対して返されます。
Thh	通りセグメント レコードに一致しました。
Uhh	USPS データに一致しましたが、社名またはその他の情報なしには ZIP + 4 コードを解決できません。CASS モードでは "E023" (複数一致) エラー コードが返されます。
Xhhh	<p>2つの通りの交差点 (例えば、"Clay St &amp; Michigan Ave") に一致しました。1 桁目の 16 進数は最終行の情報を、2 桁目の 16 進数は交差点の最初の通りを、3 桁目の 16 進数は交差点の 2 番目の通りを参照しています。</p> <p>注: USPS では、交差点を配達可能な住所として使用できません。</p>
Yhhh	"xhhh" と同じですが、エイリアス名レコードは 1 つまたは両方の通りで使用されました。

コード	説明
Z <sup>1</sup>	住所は与えられませんが、提供された ZIP Code を検証しました。

---

<sup>1</sup> [最後の行を修正して出力] が有効になっている場合は、

## 一致に関する 16 進数

次の表に、マッチ コード値の 16 進数の説明を示します。

コード	1 桁目の 16 進数の意味:	2 桁目と 3 桁目の 16 進数の意味:
0	最終行に変更はありません。	住所行に変更はありません。
1	ZIP Code が変更されました。	通りタイプが変更されました。
2	都市が変更されました。	前置方位記号が変更されました。
3	都市および ZIP Code が変更されました。	通りタイプおよび前置方位記号が変更されました。
4	州が変更されました。	後置方位記号が変更されました。
5	州および ZIP Code が変更されました。	通りタイプおよび後置方位記号が変更されました。
6	州および都市が変更されました。	前置方位記号および後置方位記号が変更されました。
7	州、都市、および ZIP Code が変更されました。	通りタイプ、前置方位記号、および後置方位記号が変更されました。
8	ZIP + 4 が変更されました。	通り名が変更されました。
9	ZIP および ZIP + 4 が変更されました。	通り名および通りタイプが変更されました。

コード	1桁目の 16 進数の意味:	2桁目と 3桁目の 16 進数の意味:
A	都市および ZIP + 4 が変更されました。	通り名および前置方位記号が変更されました。
B	都市、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。	通り名、通りタイプ、および前置方位記号が変更されました。
C	州および ZIP + 4 が変更されました。	通り名および後置方位記号が変更されました。
D	州、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。	通り名、通りタイプ、および後置方位記号が変更されました。
E	州、都市、および ZIP + 4 が変更されました。	通り名、前置方位記号、および後置方位記号が変更されました。
F	州、都市、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。	通り名、通りタイプ、前置方位記号、および後置方位記号が変更されました。



## 一致しなかった場合の "Ennn" マッチ コード

次の表は、アプリケーションで一致が見つからなかった場合、またはエラーが発生した場合に返される値を説明したものです。

コード	"nnn" の値	説明
Ennn <sup>2</sup>		エラー、つまり一致しなかったことを示します。この状況が起こり得るのは、入力された住所がデータベース内に存在しないか、形式に誤りがあって正しくパースできない場合です。エラー コードの最後の 3 桁は、アプリケーションがデータベースと照合できなかった住所の部分を示します。
	nnn = 000	まったく一致しませんでした。
	nnn = 001	低レベルのエラーです。
	nnn = 002	データ ファイルが見つかりませんでした。
	nnn = 003	GSD ファイルの署名またはバージョン ID が正しくありません。
	nnn = 004	古い GSD ファイルです。CASS モードでのみ発生します。
	nnn = 010	都市および州、または ZIP Code が見つかりません。
	nnn = 011	入力 ZIP がディレクトリ内にありません。
	nnn = 012	入力都市がディレクトリ内にありません。
	nnn = 013	入力都市がディレクトリ内で一意ではありません。
	nnn = 014	ライセンス対象エリア外です。Group1 ライセンス テクノロジーを使用している場合にのみ発生します。
	nnn = 015	レコード数を使い果たし、ライセンスが無効になっています。
	nnn = 020	マッチングする通りがディレクトリ内に見つかりません。
	nnn = 021	交差点マッチング用の交差する通りがありません。

コード	"nnn" の値	説明
	nnn = 022	マッチングするセグメントがありません
	nnn = 023	未解決の一致です。
	nnn = 024	マッチングするセグメントがありません(022 と同じ)。
	nnn = 025	交差点マッチングに使用する交差する通りの候補が多すぎます。
	nnn = 026	複数行マッチングの試行時に住所が見つかりませんでした。
	nnn = 027	無効な方向指示が試行されました。
	nnn = 028	レコードが EWS データにも一致したので、アプリケーションによって一致が拒否されました。
	nnn = 029	範囲は一致せず、単一の通りセグメントが見つかりました。
	nnn = 030	範囲は一致せず、複数の通りセグメントが見つかりました。

### 最終行の修正マッチ コード

**最終行の修正** (167ページ) で述べたように、**【最後の行を修正して出力】**が有効になっている場合は、住所が一致しなかったり存在しなかったりした場合でも、出力の最終行の要素が修正されて、適切な ZIP Code または Soundex による近似一致が提供されます。

コード	値	説明
Zh		住所は入力されませんでした。指定された ZIP Code を検証しました。
	h = 0	最終行に変更はありません。
	h = 1	ZIP Code が変更されました。

<sup>2</sup> **【最後の行を修正して出力】**が有効になっている場合は、詳細については、「**最終行の修正マッチコード** (202ページ)」を参照してください。

コード	値	説明
	h = 2	都市が変更されました。
	h = 3	都市および ZIP Code が変更されました。
	h = 4	州が変更されました。
	h = 5	州および ZIP Code が変更されました。
	h = 6	州および都市が変更されました。
	h = 7	州、都市、および ZIP Code が変更されました。
	h = 8	ZIP + 4 が変更されました。
	h = 9	ZIP および ZIP + 4 が変更されました。
	h = A	都市および ZIP + 4 が変更されました。
	h = B	都市、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。
	h = C	州および ZIP + 4 が変更されました。
	h = D	州、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。
	h = E	州、都市、および ZIP + 4 が変更されました。
Ehnn		エラー、つまり一致しなかったことを示します。この状況が起こり得るのは、入力された住所がデータベース内に存在しないか、形式に誤りがあって正しくパースできない場合です。エラーコードの2桁目は、最終行を修正するために最後の行の情報に対して行われた変更の詳細を示す16進数です。エラーコードの最後の2桁は、アプリケーションがデータベースと照合できなかった住所の部分を示します。
	h = 0	最終行に変更はありません。
	h = 1	ZIP Code が変更されました。

コード	値	説明
	h = 2	都市が変更されました。
	h = 3	レコードが EWS データにも一致したので、アプリケーションによって一致が拒否されました。
	h = 4	州が変更されました。
	h = 5	州および ZIP Code が変更されました。
	h = 6	州および都市が変更されました。
	h = 7	州、都市、および ZIP Code が変更されました。
	h = 8	ZIP + 4 が変更されました。
	h = 9	ZIP および ZIP + 4 が変更されました。
	h = A	都市および ZIP + 4 が変更されました。
	h = B	都市、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。
	h = C	州および ZIP + 4 が変更されました。
	h = D	州、ZIP、および ZIP + 4 が変更されました。
	h = E	州、都市、および ZIP + 4 が変更されました。
	nn = 00	まったく一致しませんでした。
	nn = 01	低レベルのエラーです。
	nn = 02	データ ファイルが見つかりませんでした。
	nn = 03	GSD ファイルの署名またはバージョン ID が正しくありません。
	nn = 04	古い GSD ファイルです。CASS モードでのみ発生します。

コード	値	説明
	nn = 10	都市および州、または ZIP Code が見つかりません。
	nn = 11	入力 ZIP Code がディレクトリ内にありません。
	nn = 12	入力都市がディレクトリ内にありません。
	nn = 13	入力都市がディレクトリ内で一意ではありません。
	nn = 14	ライセンス対象エリア外です。Group1 ライセンス テクノロジーを使用している場合にのみ発生します。
	nn = 15	レコード数を使い果たし、ライセンスが無効になっています。
	nn = 20	マッチングする通りがディレクトリ内に見つかりません。
	nn = 21	交差点マッチング用の交差する通りがありません。
	nn = 22	マッチングするセグメントがありません
	nn = 23	未解決の一致です。
	nn = 24	マッチングするセグメントがありません(022 と同じ)。
	nn = 25	交差点マッチングに使用する交差する通りの候補が多すぎます。
	nn = 26	複数行マッチングの試行時に住所が見つかりませんでした。
	nn = 27	無効な方向指示が試行されました。
	nn = 28	レコードが EWS データにも一致したので、アプリケーションによって一致が拒否されました。
	nn = 29	範囲は一致せず、単一の通りセグメントが見つかりました。
	nn = 30	範囲は一致せず、複数の通りセグメントが見つかりました。

## ロケーションコード

ロケーションコードは、割り当てられたジオコードの場所の精度を示します。正確に位置付けられた候補が必ずしも理想的な候補とならないことに注意してください。候補の全体的な品質の最適な評価を行うには、ロケーションコードだけでなく、マッチコードや結果コードも調査します。

### 住所のロケーションコード

"A" で始まるロケーションコードは、住所のロケーションコードです。住所のロケーションコードは、道路網セグメント (交差点の場合は 2 つのセグメント) に対して直接作成されたジオコードを示しています。

住所のロケーションコードには、次の文字が含まれます。

1 番目の文字	常に、住所の場所を示す "A" です。
2 番目の文字	次のいずれかになります。
	C 補間された住所ポイントの場所
	G 補助ファイル データの場所
	I アプリケーションは候補レコードから適切なセグメントを推定します
	P ポイントレベルのデータの場所
	R 場所は住所範囲を表します
	S 通り範囲上の場所
	X 2 つの通りの交差点上の場所
3 番目および 4 番目の文字	場所に関するその他の品質を示す数字です。

## 住所ロケーションコードの説明

コード	説明
AGn	ジオコード マッチング用の補助ファイルを示します。 "n" は次のいずれかの値です。
n = 0	ジオコードは小区画または建物の中心を表します。
n = 1	ジオコードはセグメント沿いの補間された住所です。
n = 2	ジオコードはセグメント沿いの補間された住所ですが、通りのどちら側かは補助ファイルのレコードに指定されたデータからは決定できません。
n = 3	ジオコードは通りセグメントの中間ポイントです。
APnn	小区画または建物の中心を表すポイントレベルのジオコード一致を示します。 "nn" は次のいずれかの値です。
nn = 00	ユーザ辞書セントロイドです。ユーザ辞書によって返されるジオコードです。
nn = 02	小区画セントロイド アクセサの小区画(区域または用地)ポリゴンの中心を示します。不整形な小区画の中心がポリゴンの外側に位置する場合、セントロイドはポリゴン内のできるだけ実際の中心に近い場所に手動で配置し直されます。
nn = 04	住所ポイント 現地で収集された住所データを伴う現地収集のGPSポイントを表します。

## コード

## 説明

nn = 05

## 建物ポイント

一致した住所に関連付けられている建物の敷地ポリゴン内の場所を示します。

通常、個人宅の住所は1つの建物で構成されます。離れに建物(車庫、納屋、物置など)がある家屋では、通常、構造ポイントがプライマリ構造にあります。

共同住宅や二世帯住宅には複数の個別の住所があり、建物ごとに複数の構造ポイントを持つことがあります。マルチユニット形態の建物は、通常、ユニットごとの別々の構造ポイントではなく、プライマリ/基本住所に関連付けられた1つの構造ポイントで表されます。

ショッピングモール、工業団地、および学術機関や医療センターの構内は、一般に複合施設全体のプライマリ/基本住所に関連付けられた1つの構造ポイントで表されます。1つの複合施設内の複数の建物に複数の住所が割り当てられている場合、同じ複合施設内で複数の構造ポイントが表されることがあります。

nn = 07

## 手動で配置

住所ポイントは、小区画の通りに面していて中心線からは離れた部分の中間ポイントに重なるように手動で配置されます。

nn = 08

## 正面玄関ポイント

建物への指定された正式な入口を表します。建物に複数の入口があり、正式な入口が指定されていないか容易には決定できない場合は、メイン通りへのアクセスのしやすさと駐車場の有無に基づいて正式な入口が選択されます。

nn = 09

## 私道オフセットポイント

メイン車道からの垂直距離が33～98フィート(10～30メートル)の範囲内にある主要進入路上に位置するポイントを表します。



コード	説明
nn = 10	<p>通りアクセス ポイント</p> <p>道路網からの主要アクセスポイントを表します。この住所ポイントタイプは、私道などの進入路がメイン車道と交差する場所に位置します。</p>
nn = 21	<p>基本小区画ポイント</p> <p>入力ユニット番号とのマッチングができない場合、または複数のユニットがある住所の場所からユニット番号が欠落している場合、「基本」小区画の情報が返され、ユニット番号に対する住所の正規化は行われないので、査定官の割り当てた区画番号などの追加情報は返されません。</p>
nn = 22	<p>バックフィル住所ポイント</p> <p>正確な小区画セントロイドは不明です。割り当てられた住所ロケーションは、2つの既知の小区画セントロイドに基づきます。</p>
nn = 23	<p>仮想住所ポイント</p> <p>正確な小区画セントロイドは不明です。割り当てられた住所ロケーションは、既知の小区画セントロイドと通り セグメント終点からの相対位置です。</p>
nn = 24	<p>補間住所ポイント</p> <p>正確な小区画セントロイドは不明です。割り当てられた住所ロケーションは、通りセグメントの終点に基づきます。</p>
AIn	<p>適切なセグメントはマッチング時に候補レコードから推定されています。</p>
ASn	<p>家屋範囲住所ジオコードこれは利用できる最高精度のジオコードです。</p>
<p>AIn と ASn、および ACnh では、次のように 3 番目の文字 "n" に共通の値が入ります。</p>	
n = 0	<p>最良の場所です。</p>

コード	説明
n = 1	通りのどちら側かは不明です。Census FIPS ブロック ID は左側から割り当てられています。ただし、割り当てられたオフセットはなく、ポイントは通りに直接配置されます。
n = 2	次のどちらかまたは両方を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>住所は補間されて住所範囲にはもともと含まれていなかった TIGER セグメント上に配置されます。</li> <li>元のセグメント名は USPS の綴りに一致するように変更されました。これは具体的には通りタイプ、前置方位記号、および後置方位記号を参照しています。</li> </ul> <p>注：セグメント範囲の補間は TIGER データ向けに完成されたものなので、非 TIGER データでは 2 番目のケースのみに該当します。</p>
n = 3	1 と 2 の両方に該当します。
n = 7	プレースホルダです。セグメントの始点と終点に同じ値が含まれていて形状データが利用できない場合に使用されます。
ACnh	2つの小区画セントロイド(ポイント)の間、小区画セントロイドと通り セグメント終点の間、または 2つの通り セグメント終点の間が補間された、ポイントレベルのジオコードを示します。
ACnh の 4 番目の文字 "h" の値は次のとおりです。	
h = 0	どちらもユーザ辞書から得られた 2つのポイント間の補間を表します。
h = 1	2つのポイント間の補間を表します。下限はユーザ辞書から、上限はユーザ辞書以外から得られたものです。

コード	説明
h = 2	どちらもユーザ辞書から得られた、1つのポイントと1つの通りセグメント終点の間の補間を表します。
h = 3	1つのポイント (下限) と1つの通りセグメント終点 (上限) の間の補間を表します。下限はユーザ辞書から、上限はユーザ辞書以外から得られたものです。
h = 4	2つのポイント間の補間を表します。下限はユーザ辞書以外から、上限はユーザ辞書から得られたものです。
h = 5	どちらもユーザ辞書以外から得られた2つのポイント間の補間を表します。
h = 6	1つのポイント (下限) と1つの通りセグメント終点 (上限) の間の補間を表します。下限はユーザ辞書以外から、上限はユーザ辞書から得られたものです。
h = 7	どちらもユーザ辞書以外から得られた、1つのポイントと1つの通りセグメント終点の間の補間を表します。
h = 8	どちらもユーザ辞書から得られた、1つの通りセグメント終点と1つのポイント間の補間を表します。
h = 9	1つの通りセグメント終点 (下限) と1つのポイント (上限) 間の補間を表します。下限はユーザ辞書から、上限はユーザ辞書以外から得られたものです。
h = A	どちらもユーザ辞書から得られた、2つの通りセグメント終点間の補間を表します。
h = B	2つの通りセグメント終点間の補間を表します。下限はユーザ辞書から、上限はユーザ辞書以外から得られたものです。
h = C	1つの通りセグメント終点 (下限) と1つのポイント (上限) 間の補間を表します。下限はユーザ辞書以外から、上限はユーザ辞書から得られたものです。

コード	説明
h = D	どちらもユーザ辞書以外から得られた、1つの通りセグメント終点と1つのポイント間の補間を表します。
h = E	2つの通りセグメント終点間の補間を表します。下限はユーザ辞書以外から、上限はユーザ辞書から得られたものです。
h = F	どちらもユーザ辞書以外から得られた、2つの通りセグメント終点間の補間を表します。
ARn	住所範囲ジオコードです。"n"は次のいずれかです。
n = 1	ジオコードは、単一の通りセグメント沿いであって範囲内の1番目および2番目の入力家番号の補間された場所の中間に位置します。
n = 2	ジオコードは、単一の通りセグメント沿いであって範囲内の1番目および2番目の入力家番号の補間された場所の中間に位置しますが、通りのどちら側かは不明です。Census FIPS ブロック ID は左側から割り当てられています。ただし、割り当てられたオフセットはなく、ポイントは通り上に直接配置されます。
n = 4	入力範囲は複数のUSPSセグメントにまたがっています。ジオコードは、1番目の入力家番号に対応するセグメントの終点上であって2番目の入力家番号に最も近い端に接している部分に位置します。
n = 7	プレースホルダです。一致したセグメントの始点と終点に同じ値が含まれていて形状データが利用できない場合に使用されます。
AXn	交差点ジオコードです。"n"は次のいずれかです。
n = 3	通りセグメントの中心線から計算された標準的な単一ポイント交差点です。

コード

説明

---

 $n = 8$ 

補間された(分割道路)交差点ジオコードです。交差点のセントロイドを返すを試みます。

---

## 通りセントロイドのロケーションコード

"C" で始まるロケーションコードは、通りセントロイドのロケーションコードです。通りセントロイドのロケーションコードは、Census ID の精度と、返される通りセグメントでのジオコードの位置を示します。通りセントロイドの代替オプションが有効であって住所レベルのジオコードが決定できなかった場合には、通りセントロイドが返される可能性があります。

通りセントロイドのロケーションコードには、次の文字が含まれます。

1 番目の文字	常に "C" です。この文字は、通りセグメントから得られる場所であることを示します。
2 番目の文字	一致する通りセグメントを取得するために使用される、検索エリアに基づく Census ID 精度です。
3 番目の文字	返される通りセグメント上のジオコードの場所です。

次の表に、ロケーションコードの値と説明を示します。

文字の位置	コード	説明
2 番目の文字		
	B	ブロック グループの精度 (最高精度) です。入力 ZIP Code に基づいています。
	T	国勢統計区の精度です。入力 ZIP Code に基づいています。
	C	未分類の Census 精度です。通常、少なくとも郡レベルの精度があります。入力 ZIP Code に基づいています。
	F	不明な Census 精度です。金融エリアに基づいています。
	P	不明な Census 精度です。入力都市に基づいています。

文字の位置	コード	説明
3 番目の文字		
	C	セグメント セントロイドです。
	L	セグメントの低範囲の終点です。
	H	セグメントの高範囲の終点です。

## ZIP + 4 セントロイドのロケーションコード

"Z" で始まるロケーションコードは、ZIP + 4 セントロイドのロケーションコードです。ZIP + 4 セントロイドは、住所に対して決定できなかったジオコードを示します。そのため、その住所の ZIP + 4 の中心の場所が代わりに返されます。ZIP + 4 セントロイドのロケーションコードは、2 つの場所属性、Census ID 精度と位置的精度の質を示します。

ZIP + 4 セントロイドのロケーションコードには、次の文字が含まれます。

1 番目の文字	常に "Z" です。この文字は、ZIP セントロイドから得られる場所であることを示します。
2 番目の文字	Census ID の精度です。
3 番目の文字	場所タイプです。
4 番目の文字	場所および Census ID がどのように定義されたかを示します。完全性のために提供されていますが、おそらくほとんどのアプリケーションでは役に立ちません。

文字の位置	コード	説明
2 番目の文字	B	ブロック グループの精度 (最高精度) です。
	T	国勢統計区の精度です。
	C	未分類の Census 精度です。通常、少なくとも郡レベルの精度があります。
3 番目の文字		



文字の位置	コード	説明
	5	その住所に郵便物を届ける郵便局の場所、5桁の ZIP Code セントロイド、またはロケール(都市)に基づいた場所です。場所の精度の正確な表示については、4番目の文字を参照してください。
	7	ZIP + 2 セントロイドに基づいた場所です。これらの場所は、都市部では複数ブロックエリア、また地方の設定ではもう少し大きなエリアを表すことができます。
	9	ZIP + 4 セントロイドに基づいた場所です。これらは非常に精度の高いセントロイドであり、通常、その場所を適切なブロック面上に配置します。レコードが少数の場合、この場所は ZIP + 4 が位置する通り全体の中心になる可能性があります。場所の精度の正確な表示については、4番目の文字を参照してください。
4番目の文字		
	A	単一のセグメントに一致する住所です。一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所であり、通りの適切な側にオフセットされます。
	a	単一のセグメントに一致する住所ですが、通りのどちら側が適切であるかは不明です。一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所であり、住所範囲が大きくなると、通りの左側にオフセットされます。

文字の位置	コード	説明
	B	すべて同じブロックグループを持つ複数のセグメントに一致する住所です。この ZIP + 4 内に家番号の最大範囲を持つ一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所です。通りの適切な側にオフセットされた場所です。
	b	通りのどちら側が適切かが不明な点を除き、方法論 "B" と同じです。一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所であり、住所範囲が大きくなると、通りの左側にオフセットされます。
	C	すべて同じ国勢統計区を持つ複数のセグメントに一致する住所です。この ZIP + 4 で最大の世帯数を表すブロックグループを返します。この ZIP + 4 内に家番号の最大範囲を持つ一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所です。通りの適切な側にオフセットされた場所です。
	c	通りのどちら側が適切かが不明な点を除き、方法論 "C" と同じです。一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所であり、住所範囲が大きくなると、通りの左側にオフセットされます。
	D	すべて同じ郡を持つ複数のセグメントに一致する住所です。この ZIP + 4 で最大の世帯数を表すブロックグループを返します。この ZIP + 4 内に家番号の最大範囲を持つ一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所です。通りの適切な側にオフセットされた場所です。

文字の位置	コード	説明
	d	通りのどちら側が適切かが不明な点を除き、方法論 "D" と同じです。一致する通りセグメントの中央に割り当てられた場所であり、住所範囲が大きくなると、通りの左側にオフセットされます。
	E	一致する通り名です。家の範囲は使用できません。一致するすべてのセグメントには同じブロックグループがあります。一致するセグメントの中心に最も近いセグメント上に位置する場所です。ほとんどの場合、通り全体の間中ポイント上にあります。
	F	一致する通り名です。家の範囲は使用できません。一致するすべてのセグメントには同じ国勢統計区があります。一致するセグメントの中心に最も近いセグメント上に位置する場所です。ほとんどの場合、通り全体の間中ポイント上にあります。
	G	一致する通り名です (家の範囲は使用できません)。一致するすべてのセグメントには同じ郡があります。一致するセグメントの中心に最も近いセグメント上に位置する場所です。ほとんどの場合、通り全体の間中ポイント上にあります。
	H	方法論 "G" と同じですが、一部のセグメントは同じ郡にはありません。0.05% 未満のセントロイドで使用されます。

文字の位置	コード	説明
	I	方法論 "A"、"a"、"B"、および "b" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。この ZIP + 2 クラスタ内のすべてのセントロイドは同じブロックグループを持ちます。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。
	J	方法論 "A"、"a"、"B"、"b"、"C"、および "c" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。この ZIP + 2 クラスタ内のすべてのセントロイドは同じ国勢統計区を持ちます。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。
	K	方法論 "A"、"a"、"B"、"b"、"C"、"c"、"D"、および "d" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。
	L	方法論 "E" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。この ZIP + 2 クラスタ内のすべてのセントロイドは同じブロックグループを持ちます。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。
	M	方法論 "E" および "F" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。この ZIP + 2 クラスタ内のすべてのセントロイドは同じ国勢統計区を持ちます。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。
	N	方法論 "E"、"F"、"G"、および "H" によって定義される形で作成される ZIP + 2 クラスタ セントロイドです。ZIP + 2 セントロイドに割り当てられる場所です。

文字の位置	コード	説明
	O	ZIP Code は廃止されており、USPS で現在使用されていません。史跡が割り当てられています。
	V	この ZIP Code 内の 95% 以上の住所は、単一の国勢統計区内にあります。ZIP Code セントロイドに割り当てられる場所です。
	W	この ZIP Code 内の 80% 以上の住所は、単一の国勢統計区内にあります。適度な国勢統計区の精度です。ZIP Code セントロイドに割り当てられる場所です。
	X	この ZIP Code 内の 80% 未満の住所が単一の国勢統計区内にあります。Census ID は不明確です。ZIP Code セントロイドに割り当てられる場所です。
	Y	地方または人口が少ない地域です。Census コードは不明確です。USGS 場所ファイルに基づいた場所です。
	Z	P.O.箱または局留めの住所です。Census コードは不明確です。その住所に郵便物を届ける郵便局の場所に基づいた場所です。

## 地理的セントロイドのロケーションコード

"G" で始まるロケーションコードは、地理的セントロイドのロケーションコードです。通りセントロイドの代替オプションが有効であって住所レベルのジオコードが決定できなかった場合には、地理的セントロイドが返される可能性があります。地理的セントロイドのロケーションコードは、都市、郡、または州のセントロイドの品質を示します。

地理的セントロイドのロケーションコードには、次の文字が含まれます。

1 番目の文字	常に "G" です。この文字は、地理的セントロイドから得られる場所であることを示します。
2 番目の文字	地理的エリアのタイプです。次のいずれかです。 <b>M</b> 地方自治体 (都市など) <b>C</b> County <b>S</b> 州

## グローバル結果コード

### フォワード ジオコーディングの結果コード

#### 結果コードの全般的な説明

次の表に、返される結果コードの全般的な説明を示します。

結果コード	説明
<p>通りレベルでジオコーディングされた候補は、文字 <b>s</b> で始まる結果コードを返します。コードの 2 番目の位置は、ジオコーディングされたレコードの結果ポイントの位置的な精度を示します。それぞれの国でサポートされる具体的な <b>S</b> 結果コードについては、<a href="#">単一一致の 'S' 結果コード</a> (227ページ) を参照してください。</p>	
S8	住所ポイント候補に関連付けられた単一ポイント、または家番号が同一の住所ポイント候補にポイントが位置付けられた単一一致。補間は必要ありません。
S7	通り セグメント沿いの補間ポイントに位置付けられた単一一致。ポイント辞書と通り セグメント辞書の両方が使用可能でなければなりません。既知のポイントデータを使用できるため、S7補間の精度は S5 結果よりも高くなります。
S6	ZIP セントロイドの位置にポイントが位置付けられた単一一致。
S5	通り住所の位置にポイントが位置付けられた単一一致。通り セグメント データしか使用できないため、この補間の精度は S7で返される結果ほど高くはありません。S5 コードの後には、一致の精度を示す文字とダッシュが続きます。
S4	通り セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。
S3	ZIP+4 <sup>®</sup> セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。Z3の結果と同じ品質の一致です。
S2	ZIP + 2 セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。Z2の結果と同じ品質の一致です。

結果コード	説明
S1	郵便番号セントロイドにポイントが位置付けられた単一致。Z1の結果と同じ品質の一致です。
S0	一切の座標が利用できない単一致(きわめてまれにしか発生しません)。
SX	交差点にポイントが位置付けられた単一致。
SC	元のポイントが関連通り セグメントに向かう方向またはそのセグメントから離れる方向に(通常は垂線に沿って) 指定の距離だけ移動された単一致。この結果コードを返すことができるのは、ポイント辞書と通り セグメント辞書の両方が使用可能で、かつ中央線オフセット機能が使用されている場合に限られます。

結果コード **s** (通り ジオコーディング) は、追加の 8 文字により、住所がデータベース内の住所にどの程度一致するかを示します。これらの文字は、以下の表に示す順序で並びます。一致しないコンポーネントはダッシュで表わされます。

例えば、S5--N-SCZA という結果コードは、通り名、後置方位記号、都市名、および郵便番号が一致する単一致を意味します。ダッシュは、家番号、前置方位記号、および大通りタイプにマッチングがないことを示します。一致する候補は、通り範囲住所データベースに見つかりました。このレコードは、見つかった候補の通り住所の位置にジオコーディングされます。

H	家番号の一致。
P	通りの前置方位記号。 Pは、次の条件が 1 つでも満たされた場合に示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>候補の前置方位記号が、入力の前置方位記号と一致する。</li> <li>前置方位記号と後置方位記号を入れ替えると、候補の後置方位記号と入力の前置方位記号が一致する。</li> <li>入力に前置方位記号が含まれない。</li> </ul>
N	通り名の一致。
T	通り/大通り タイプの一致。



結果コード	説明
S	通りの後置方位記号。 結果コードの s は、次の条件が 1 つでも満たされた場合に示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>候補の後置方位記号が、入力の後置方位記号に一致する。</li> <li>前置方位記号と後置方位記号を入れ替えると、候補の前置方位記号と入力の後置方位記号が一致する。</li> <li>入力に後置方位記号が含まれない。</li> </ul>
C	areaName3 の一致 (通常は都市または町)。
Z	郵便番号の一致。
A または U	住所辞書またはユーザ辞書に対する一致。

**z** カテゴリの一致は、マッチングが郵便番号レベルで成立したことを示します。郵便番号一致が返されるのは、次のどちらかの場合です。

- 郵便番号セントロイドへのマッチングを指定した。結果のポイントは、以下の精度レベルをとり得る郵便番号セントロイドに位置付けられます。
- 通り レベルの一致が見つからず、郵便番号セントロイドへの代替が指定されていました。

注: postCode1 & 2 の具体的な意味については、該当する国のセクションを参照してください。

Z6	Z6の結果は、ポイント ZIP セントロイドに一致したものです。ポイント ZIP は 5 桁です。Z6コードは、こうした特別な ZIP がエリアではなく、実際のポイントの位置であることを示します。Point ZIP には、一意の単一サイト、建物、または組織が含まれます。
Z3	Z3の結果は、ZIP + 4 または postCode2 セントロイドの位置に一致したものです。
Z2	Z2の結果は、ZIP + 2 または部分的に postCode2 セントロイドの位置に一致したものです。
Z1	Z1の結果は、ZIP Code または (postCode1) セントロイドの位置に一致したものです。

地理的レベルでジオコーディングされた候補は、文字 **G** で始まる結果コードを返します。G の後に続く結果コード内の数値は、その候補の精度に関するより詳細な情報を提供します。

注: areaName1-4 の具体的な意味については、該当する国のセクションを参照してください。

結果コード	説明
G1	州セントロイドにポイントが位置付けられた、州/省 (areaName1) の一致。
G2	郡セントロイドにポイントが位置付けられた、郡/地域 (areaName2) の一致。
G3	都市セントロイドにポイントが位置付けられた、都市/町 (areaName3) の一致。
G4	郊外/村セントロイドにポイントが位置付けられた、郊外/村 (areaName4) の一致。

### 単一一致の 'S' 結果コード

以下の表に、国別のsカテゴリ結果コードのサポート状況を示します。's' 結果コードの詳細については、[フォワードジオコーディングの結果コード](#)（223ページ）を参照してください。こうした説明は大多数の国に当てはまります。例外については、次のテーブルの後のセクションで列举および説明します。

- [オーストラリア](#)
- [カナダ](#)
- [米国](#)

黒丸 "•" はsコードがサポートされていることを示します。空欄は sコードがサポートされていないことを示します。

国名	S8	S7	S6	S5	S4	S3	S2	S1	S0	SX	SC	SG
オーストラリア (AUS)	•	•		•	•				•			•
カナダ (CAN)	•	•		•	•	•		•	•		•	
デンマーク (DNK)	•	•		•	•					•		
ドイツ (DEU)	•	•		•	•					•		
英国 (GBR)	•	•		•	•				•	•		
ニュージーランド (NZL)	•	•		•	•					•		
米国 (USA)	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
その他すべての国々	•	•		•	•				•	•	•	

## 米国 — 'S' 精度コードの説明

以下の表に、米国の 's' 精度コードの説明を示します。

精度コード	説明
通りレベルでジオコーディングされた候補は、文字 <b>S</b> で始まる精度コードを返します。コードの 2 番目の位置は、ジオコーディングされたレコードの結果ポイントの位置的な精度を示します。	
S8	住所ポイント候補に関連付けられた単一ポイント、または家番号が同一の住所ポイント候補にポイントが位置付けられた単一一致。補間は必要ありません。
S7	通り セグメント沿いの補間ポイントに位置付けられた単一一致。ポイント/小区画辞書と通り セグメント辞書の両方が使用可能でなければなりません。既知のポイント データを使用できるため、S7の補間の精度は S5 の結果よりも高くなります。
S6	ZIP セントロイドの位置にポイントが位置付けられた単一一致。
S5	通り住所の位置にポイントが位置付けられた単一一致。通り セグメント データしか使用できないため、この補間の精度は S7で返される結果ほど高くはありません。
S4	通り セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。
S3	ZIP + 4® にポイントが位置付けられた単一一致。Z3の結果と同じ品質の一致です。
S2	ZIP+2 セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。ZIP+2 セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。Z2の結果と同じ品質の一致です。
S1	ZIP Code セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。Z1の結果と同じ品質の一致です。
S0	一切の座標が利用できない単一一致 (きわめてまれにしか発生しません)。
SX	交差点にポイントが位置付けられた単一一致。
SC	元のポイントが関連通り セグメントに向かう方向またはそのセグメントから離れる方向に (通常は垂線に沿って) 指定の距離だけ移動された単一一致。この結果コードを返すことができるのは、ポイント ジオコーディング データセットと通り セグメント ジオコーディング データセットの両方が使用可能、かつ中央線オフセット機能が使用されている場合に限られます。

## オーストラリア — 'S' 結果コードの説明

以下の表は、オーストラリアの 'S' 結果コードを説明したものです。

結果コード	説明
	通りレベルでジオコーディングされた候補は、文字 <b>S</b> で始まる結果コードを返します。コードの 2 番目の位置は、ジオコーディングされたレコードの結果ポイントの位置的な精度を示します。
S8	住所ポイント候補に関連付けられた単一ポイント、または家番号が同一の住所ポイント候補にポイントが位置付けられた単一一致。補間は必要ありません。
S8.....G	S8.....G 結果コードは GNAF 信頼レベル 1 または 2 (最高レベルの GNAF 信頼度) の単一一致を表すために使用されます。
S7	候補の通りセグメント沿いの補間ポイントに位置付けられた単一一致。潜在的な候補が住所ポイント候補ではなく、他の住所ポイント候補には家番号が正確に一致するものがない場合、S7 の結果コードが住所ポイント補間を使って返されます。
S7.....G	S7.....G 結果コードは GNAF 信頼レベル 3 の単一一致を表すために使用されます。
S5	通り住所の位置にポイントが位置付けられた単一一致。
S4	形状ポイント パスの中心にポイントが位置付けられた、単一一致 (形状ポイントによって通りのポリラインの形状が定義されます)。
S4.....G	S4.....G 結果コードは、独自の道路特性に基づく GNAF 信頼レベル 4 での単一一致を表すために使用されます。
S0	一切の座標が利用できない単一一致 (きわめてまれにしか発生しません)。
SX	交差点にポイントが位置付けられた単一一致。
SC	元のポイントが関連通り セグメントに向かう方向またはそのセグメントから離れる方向に (通常は垂線に沿って) 指定の距離だけ移動された単一一致。この結果コードを返すことができるのは、ポイント ジオコーディング データセットと通り セグメント ジオコーディング データセットの両方が使用可能、かつ中心線オフセット機能が使用されている場合に限られます。

結果コード	説明
SG	地方 (areaName3) の中心部、または地形特性から導き出された地方レベルのジオコードにポイントが位置付けられた単一致。SG 結果コードは、GNAF 信頼レベル 5 (地方または地区) またはレベル 6 (特定の地域) に関連付けられます。

## カナダ — 'S' 結果コードの説明

以下の表に、カナダの 's' 結果コードの説明を示します。

結果コード	説明
通りレベルでジオコーディングされた候補は、文字 <b>S</b> で始まる結果コードを返します。コードの 2 番目の位置は、ジオコーディングされたレコードの結果ポイントの位置的な精度を示します。	
S8	住所ポイント候補に関連付けられた単一ポイント、または家番号が同一の住所ポイント候補にポイントが位置付けられた単一一致。補間は必要ありません。
S7	候補の通りセグメント沿いの補間ポイントに位置付けられた単一一致。潜在的な候補が住所ポイント候補ではなく、他の住所ポイント候補には家番号が正確に一致するものがない場合、S7 の結果コードが住所ポイント補間を使って返されます。
S5	通り住所の位置にポイントが位置付けられた単一一致。
S4	形状ポイントパスの中心にポイントが位置付けられた、単一一致 (形状ポイントによって通りのポリラインの形状が定義されます)。
S3	FSALDU の郵便セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。
S1	FSA の郵便セントロイドにポイントが位置付けられた単一一致。
S0	一切の座標が利用できない単一一致 (きわめてまれにしか発生しません)。
SC	元のポイントが関連通りセグメントに向かう方向またはそのセグメントから離れる方向に (通常は垂線に沿って) 指定の距離だけ移動された単一一致。この結果コードを返すことができるのは、ポイントジオコーディングデータセットと通りセグメントジオコーディングデータセットの両方が使用可能、かつ中心線オフセット機能が使用されている場合に限られます。

## リバース ジオコーディングの 'R' 結果コード

R カテゴリの一致は、レコードがリバース ジオコーディングで一致したことを意味します。R 結果コードの最初の 3 文字は、見つかった一致のタイプを示します。R のジオコード結果には、一致が得られた辞書を示す追加の文字が含まれます。これは常に、住所辞書を示す A になります。リバース ジオコーディングは (ユーザ辞書ではなく) 住所辞書でのみサポートされます。

### リバース ジオコーディングの 'R' 結果コードの説明

#### リバース ジオコーディング 説明 コード

RG0	地理的レベル: 国レベル (通常は、他の行政区分がデータに存在しない小さな島国にのみ使用されます)。
RG1	地理的レベル: 州または省レベル。(日本では県) フォワード ジオコーディングの G1 に対応します。
RG2	地理的レベル: 県(州または省の下位区分)レベル。(日本では市区町村) フォワード ジオコーディングの G2 に対応します。
RG3	地理的レベル: 都市または町レベル。フォワード ジオコーディングの G3 に対応します。(日本では町大字)
RG4	地理的レベル: 地方(都市/町の下位区分)。フォワード ジオコーディングの G4 に対応します。(日本では丁目小字)
RG5	地理的レベル: 地方の下位区分。
RS4A	リバース ジオコーディングの通りセントロイド候補。住所辞書から返された候補です。
RS5A	リバース ジオコーディングの補間後の通り候補。住所辞書から返された候補です。



## リバース ジオコーディング 説明 コード

---

RS7G	オーストラリアのみ: GNAF 信頼レベル 3 のオーストラリア GNAF 辞書から返された候補です。
RS8A	リバース ジオコーディングのポイント/小区画レベルの精度。住所辞書から返された候補です。
RS8G	オーストラリアのみ: ポイント/小区画レベルの精度。GNAF 信頼レベル 1 または 2 のオーストラリア GNAF 辞書から返された候補です。
RZ	郵便番号レベル: World Boundary Reverse の郵便番号レベル リバース ジオコードは適合率コード "RZ" を返します。

---

# D - ISO 3166-1 国コード ド

## このセクションの構成

国参照一覧と ISO 3166-1 国コード

235

## 国参照一覧と ISO 3166-1 国コード

国名	セクションリンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
ALBANIA	<a href="#">アルバニア共和国 (ALB)</a>	AL	ALB
ALGERIA	<a href="#">アルジェリア (DZA)</a>	DZ	DZA
AMERICAN SAMOA	<a href="#">米国 (USA)</a>	US	USA
ANDORRA	<a href="#">アンドラ (AND)</a>	AD	AND
ANGOLA	<a href="#">アンゴラ (AGO)</a>	AO	AGO
ARGENTINA	<a href="#">アルゼンチン (ARG)</a>	AR	ARG
ARUBA	<a href="#">アルバ (ABW)</a>	AW	ABW
AUSTRALIA	<a href="#">オーストラリア (AUS) (102ページ)</a>	AU	AUS
AUSTRIA	<a href="#">オーストリア (AUT)</a>	AT	AUT
BAHAMAS	<a href="#">バハマ (BHS)</a>	BS	BHS
BAHRAIN	<a href="#">バーレーン (BHR)</a>	BH	BHR
BARBADOS	<a href="#">バルバドス (BRB)</a>	BB	BRB
BELGIUM	<a href="#">ベルギー (BEL)</a>	BE	BEL
BELIZE	<a href="#">ベリーズ (BLZ)</a>	BZ	BLZ
BENIN	<a href="#">ベナン (BEN)</a>	BJ	BEN

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
BERMUDA	<a href="#">バミューダ (BMU)</a>	BM	BMU
BOLIVIA	<a href="#">ボリビア (BOL)</a>	BO	BOL
BOTSWANA	<a href="#">ボツワナ (BWA)</a>	BW	BWA
ボスニア・ヘルツェゴビナ	<a href="#">ボスニア・ヘルツェゴビナ (BIH)</a>	BA	BIH
BRAZIL	<a href="#">ブラジル (BRA)</a>	BR	BRA
BRUNEI DARUSSALAM	<a href="#">ブルネイ・ダルサラーム (BRN)</a>	BN	BRN
BURKINA FASO	<a href="#">ブルキナファソ (BFA)</a>	BF	BFA
BURUNDI	<a href="#">ブルンジ (BDI)</a>	BI	BDI
CAMEROON	<a href="#">カメルーン (CMR)</a>	CM	CMR
CANADA	<a href="#">カナダ (CAN)</a> (123ページ)	CA	CAN
CHILE	<a href="#">チリ (CHL)</a>	CL	CHL
CHINA	<a href="#">中国 (CHN)</a>	CN	CHN
CONGO	<a href="#">コンゴ共和国 (COG)</a>	CG	COG
CONGO, DEMOCRATIC REPUBLIC OF THE	<a href="#">コンゴ民主共和国 (COD)</a>	CD	COD
COSTA RICA	<a href="#">コスタリカ (CRI)</a>	CR	CRI
クロアチア (現地名: HRVATSKA)	<a href="#">クロアチア (HRV)</a>	HR	HRV
CUBA	<a href="#">キューバ (CUB)</a>	CU	CUB
CYPRUS	<a href="#">キプロス (CYP)</a>	CY	CYP

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
CZECH REPUBLIC	<a href="#">チェコ共和国 (CZE)</a>	CZ	CZE
DENMARK	<a href="#">デンマーク (DNK)</a>	DK	DNK
DOMINICAN REPUBLIC	<a href="#">ドミニカ共和国 (DOM)</a>	DO	DOM
ECUADOR	<a href="#">エクアドル (ECU)</a>	EC	ECU
EGYPT	<a href="#">エジプト (EGY)</a>	EG	EGY
EL SALVADOR	<a href="#">エルサルバドル (SLV)</a>	SV	SLV
ESTONIA	<a href="#">エストニア (EST)</a>	EE	EST
FINLAND	<a href="#">フィンランド (FIN)</a>	FI	FIN
FRANCE	<a href="#">フランス (FRA)</a> (126ページ)	FR	FRA
フランス領ギアナ	<a href="#">フランス (FRA)</a> (126ページ)	GF	GUF
GABON	<a href="#">ガボン (GAB)</a>	GA	GAB
GERMANY	<a href="#">ドイツ (DEU)</a> (127ページ)	DE	DEU
GHANA	<a href="#">ガーナ (GHA)</a>	GH	GHA
GREAT BRITAIN	<a href="#">英国 (GBR)</a> (128ページ)	GB	GBR
GREECE	<a href="#">ギリシャ (GRC)</a>	GR	GRC
GUADELOUPE	<a href="#">フランス (FRA)</a> (126ページ)	GP	GLP
GUAM	<a href="#">米国 (USA)</a>	US	USA
GUATEMALA	<a href="#">グアテマラ (GTM)</a>	GT	GTM

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
GUYANA	<a href="#">ガイアナ (GUY)</a>	GY	GUY
HONDURAS	<a href="#">ホンジュラス (HND)</a>	HN	HND
HONG KONG	<a href="#">香港 (HKG)</a>	HK	HKG
HUNGARY	<a href="#">ハンガリー (HUN)</a>	HU	HUN
ICELAND	<a href="#">アイスランド (ISL)</a>	IS	ISL
INDIA	<a href="#">インド (IND)</a>	IN	IND
INDONESIA	<a href="#">インドネシア (IDN)</a>	ID	IDN
IRAQ	<a href="#">イラク (IRQ)</a>	IQ	IRQ
IRELAND	<a href="#">アイルランド (IRL)</a>	IE	IRL
ITALY	<a href="#">イタリア (ITA)</a>	IT	ITA
JAMAICA	<a href="#">ジャマイカ (JAM)</a>	JM	JAM
JAPAN	<a href="#">日本 (JPN)</a>	JP	JPN
JORDAN	<a href="#">ヨルダン (JOR)</a>	JO	JOR
KENYA	<a href="#">ケニア (KEN)</a>	KE	KEN
Kosovo	<a href="#"> Kosovo (XKX)</a>	XK	XKX
KUWAIT	<a href="#">クウェート (KWT)</a>	KW	KWT
LATVIA	<a href="#">ラトビア (LVA)</a>	LV	LVA
LEBANON	<a href="#">レバノン共和国 (LBN)</a>	LB	LBN

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
LESOTHO	<a href="#">レソト (LSO)</a>	LS	LSO
LIECHTENSTEIN	<a href="#">スイス (CHE)</a> を参照してください。	LI	LIE
LITHUANIA	<a href="#">リトアニア (LTU)</a>	LT	LTU
LUXEMBOURG	<a href="#">ベルギー (BEL)</a> を参照してください。	LU	LUX
MACAO	<a href="#">マカオ (MAC)</a>	MO	MAC
マケドニア共和国	<a href="#">マケドニア共和国 (MKD)</a>	MK	MKD
MALAWI	<a href="#">マラウィ (MWI)</a>	MW	MWI
MALAYSIA	<a href="#">マレーシア (MYS)</a>	MY	MYS
MALI	<a href="#">マリ (MLI)</a>	ML	MLI
MALTA	<a href="#">マルタ共和国 (MLT)</a>	ML	MLT
MARTINIQUE	<a href="#">フランス (FRA)</a> (126ページ) を参照してください。	MQ	MTQ
MAURITANIA	<a href="#">モーリタニア (MRT)</a>	MR	MRT
MAURITIUS	<a href="#">モーリシャス (MUS)</a>	MU	MUS
MAYOTTE	<a href="#">フランス (FRA)</a> (126ページ) を参照してください。	YT	MYT
MEXICO	<a href="#">メキシコ (MEX)</a>	MX	MEX
MONACO	<a href="#">フランス (FRA)</a> (126ページ) を参照してください。	MC	MCO
MONTENEGRO	<a href="#">モンテネグロ (MNE)</a>	ME	MNE

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
MOROCCO	<a href="#">モロッコ (MAR)</a>	MA	MAR
MOZAMBIQUE	<a href="#">モザンビーク (MOZ)</a>	MZ	MOZ
NAMIBIA	<a href="#">ナミビア (NAM)</a>	NA	NAM
NETHERLANDS	<a href="#">オランダ (NLD)</a>	NL	NLD
NEW ZEALAND	<a href="#">ニュージーランド (NZL)</a> (129ページ)	NZ	NZL
NICARAGUA	<a href="#">ニカラグア (NIC)</a>	NI	NIC
NIGER	<a href="#">ニジェール (NER)</a>	NE	NER
NIGERIA	<a href="#">ナイジェリア (NGA)</a>	NG	NGA
北マリアナ諸島	<a href="#">米国 (USA)</a>	US	USA
NORWAY	<a href="#">ノルウェー (NOR)</a>	NO	NOR
OMAN	<a href="#">オマーン (OMN)</a>	OM	OMN
PALAU	<a href="#">米国 (USA)</a>	US	USA
PANAMA	<a href="#">パナマ (PAN)</a>	PA	PAN
PARAGUAY	<a href="#">パラグアイ (PRY)</a>	PY	PRY
PERU	<a href="#">ペルー (PER)</a>	PE	PER
PHILIPPINES	<a href="#">フィリピン (PHL)</a>	PH	PHL
POLAND	<a href="#">ポーランド (POL)</a>	PL	POL
PORTUGAL	<a href="#">ポルトガル (PRT)</a> (131ページ)	PT	PRT



国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
PUERTO RICO	<a href="#">米国 (USA)</a>	US	USA
QATAR	<a href="#">カタール (QAT)</a>	QA	QAT
REUNION	<a href="#">フランス (FRA)</a> (126ページ) を参照してください。	RE	REU
ROMANIA	<a href="#">ルーマニア (ROU)</a>	RO	ROU
RUSSIAN FEDERATION	<a href="#">ロシア連邦 (RUS)</a>	RU	RUS
RWANDA	<a href="#">ルワンダ (RWA)</a>	RW	RWA
SAINT KITTS AND NEVIS	<a href="#">セントクリストファー・ネイビス (KNA)</a>	KN	KNA
SAUDI ARABIA	<a href="#">サウジアラビア (SAU)</a>	SA	SAU
SENEGAL	<a href="#">セネガル (SEN)</a>	SN	SEN
SERBIA	<a href="#">セルビア共和国 (SRB)</a>	RS	SRB
SINGAPORE	<a href="#">シンガポール (SGP)</a> (132ページ)	SG	SGP
SLOVAKIA (SLOVAK REPUBLIC)	<a href="#">スロバキア (SVK)</a>	SK	SVK
SLOVENIA	<a href="#">スロベニア (SVN)</a>	SI	SVN
SOUTH AFRICA	<a href="#">南アフリカ (ZAF)</a>	ZA	ZAF
SPAIN	<a href="#">スペイン (ESP)</a>	ES	ESP
SURINAME	<a href="#">スリナム共和国 (SUR)</a>	SR	SUR
SWAZILAND	<a href="#">スワジランド (SWZ)</a>	SZ	SWZ
SWEDEN	<a href="#">スウェーデン (SWE)</a> (133ページ)	SE	SWE

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
SWITZERLAND	<a href="#">スイス (CHE)</a>	CH	CHE
台湾	<a href="#">台湾 (TWN)</a>	TW	TWN
TANZANIA, UNITED REPUBLIC OF	<a href="#">タンザニア連合共和国 (TZA)</a>	TZ	TZA
THAILAND	<a href="#">タイ (THA)</a>	TH	THA
TOGO	<a href="#">トーゴ (TGO)</a>	TG	TGO
TRINIDAD AND TOBAGO	<a href="#">トリニダード・トバゴ (TTO)</a>	TT	TTO
TUNISIA	<a href="#">チュニジア (TUN)</a>	TN	TUN
TURKEY	<a href="#">トルコ (TUR)</a>	TR	TUR
UGANDA	<a href="#">ウガンダ (UGA)</a>	UG	UGA
UKRAINE	<a href="#">ウクライナ (UKR)</a>	UA	UKR
UNITED ARAB EMIRATES	<a href="#">アラブ首長国連邦 (ARE)</a>	AE	ARE
UNITED KINGDOM	<a href="#">英国 (GBR)</a> (128ページ) を参照してください。	GB	GBR
UNITED STATES	<a href="#">米国 (USA)</a>	US	USA
URUGUAY	<a href="#">ウルグアイ (URY)</a>	UY	URY
ベネズエラ	<a href="#">ベネズエラ (VEN)</a>	VE	VEN
バージン諸島	<a href="#">米国 (USA)</a>	US	USA
WORLD GEOCODER	<a href="#">World Geocoder (XWG)</a>	XW	XWG

国名	セクション リンク	ISO 3166-1 Alpha-2 国 コード	ISO 3166-1 Alpha-3 国 コード
YEMEN	<a href="#">イエメン共和国 (YEM)</a>	YE	YEM
ZAMBIA	<a href="#">ザンビア (ZMB)</a>	ZM	ZMB
ZIMBABWE	<a href="#">ジンバブエ (ZWE)</a>	ZW	ZWE

# 著作権に関する通知

© 2019 Pitney Bowes. All rights reserved. MapInfo および Group 1 Software は Pitney Bowes Software Inc. の商標です。その他のマークおよび商標はすべて、それぞれの所有者の資産です。

### USPS® 情報

Pitney Bowes Inc. は、ZIP + 4® データベースを光学および磁気媒体に発行および販売する非独占的ライセンスを所有しています。CASS、CASS 認定、DPV、eLOT、FASTforward、First-Class Mail、Intelligent Mail、LACS<sup>Link</sup>、NCOA<sup>Link</sup>、PAVE、PLANET Code、Postal Service、POSTNET、Post Office、RDI、Suite<sup>Link</sup>、United States Postal Service、Standard Mail、United States Post Office、USPS、ZIP Code、および ZIP + 4 の各商標は United States Postal Service が所有します。United States Postal Service に帰属する商標はこれに限りません。

Pitney Bowes Inc. は、NCOA<sup>Link</sup>® 処理に対する USPS® の非独占的ライセンスを所有しています。

Pitney Bowes Software の製品、オプション、およびサービスの価格は、USPS® または米国政府によって規定、制御、または承認されるものではありません。RDI™ データを利用して郵便送料を判定する場合に、使用する郵便配送業者の選定に関するビジネス上の意思決定が USPS® または米国政府によって行われることはありません。

### データ プロバイダおよび関連情報

このメディアに含まれて、Pitney Bowes Software アプリケーション内で使用されるデータ製品は、各種商標によって、および次の 1 つ以上の著作権によって保護されています。

© Copyright United States Postal Service. All rights reserved.

© 2014 TomTom. All rights reserved. TomTom および TomTom ロゴは TomTom N.V の登録商標です。

© 2016 HERE

Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía)

電子データに基づいています。© National Land Survey Sweden.

© Copyright United States Census Bureau

© Copyright Nova Marketing Group, Inc.

このプログラムの一部は著作権で保護されています。© Copyright 1993-2007 by Nova Marketing Group Inc. All Rights Reserved

© Copyright Second Decimal, LLC

© Copyright Canada Post Corporation

この CD-ROM には、Canada Post Corporation が著作権を所有している編集物からのデータが収録されています。

© 2007 Claritas, Inc.

Geocode Address World データ セットには、  
<http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/legalcode> に存在するクリエイティブ コモンズ アトリビューション ライセンス (「アトリビューション ライセンス」) の下に提供されている GeoNames Project ([www.geonames.org](http://www.geonames.org)) からライセンス供与されたデータが含まれています。お客様による GeoNames データ (Spectrum™ Technology Platform ユーザ マニュアルに記載) の使用は、アトリビューションライセンスの条件に従う必要があります。お客様と Pitney Bowes Software, Inc. との契約と、アトリビューション ライセンスの間に矛盾が生じる場合は、アトリビューションライセンスのみに基づいてそれを解決する必要があります。お客様による GeoNames データの使用に関しては、アトリビューション ライセンスが適用されるためです。



3001 Summer Street  
Stamford CT 06926-0700  
USA

[www.pitneybowes.com](http://www.pitneybowes.com)